nord stage 2

ユーザー・マニュアル Nord Stage 2 HA/SW

OS Version 1.x

安全上のご注意

ご使用になる前に必ずお読みください

ここに記載した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなた や他の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。 注意事項は誤った取り扱いで生じる危害や損害の大きさ、または切迫の程 度によって、内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。これらは、あ なたや他の方々の安全や機器の保全に関わる重要な内容ですので、よく 理解した上で必ずお守りください。

マークについて

製品には下記のマークが表示されています。

WARNING:

TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR ELECTRIC SHOCK DO NOT EXPOSE THIS PRODUCT TO RAIN OR MOISTURE.



マークには次のような意味があります。



このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電 圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。

このマークは注意喚起シンボルであり、取扱説明書などに一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。

火災・感電・人身障害の危険を防止するには

図記号の例

	△ 記号は、注意 (危険、警告を含む)を示しています。 記号の中には、具体的な注意内容が描かれています。 左の図は 「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
8	○記号は、禁止(してはいけないこと)を示しています。 記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。 左の 図は「分解禁止」を表しています。
e	● 記号は、強制(必ず行うこと)を示しています。 記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。 左の 図は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を守ってください

この注意事項を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が予想されます

・電源プラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込む。

電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線を接続する。アース接続を外す場合は、電源プラグをコンセントから取り外してから行う。

- ・電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりを拭き取る。
 感電やショートの恐れがあります。
- 本製品はコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにする。
- ・次のような場合には、直ちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜く。
 - 電源コードやプラグが破損したとき
 - 異物が内部に入ったとき
 - 製品に異常や故障が生じたとき
- \otimes

・本製品を分解したり改造したりしない。

- ・ホコリの多い場所で使用や保管はしない。 ③・風呂場、シャワー室で使用や保管はしない。 ④・雨天時の野外のように、湿気の多い場所や水
 - ・雨天時の野外のように、湿気の多い場所や水滴のかかる場所で、 使用や保管はしない。

・電源コードを無理に曲げたり、発熱する機器に近づけない。ま

大音量で長時間使用すると、難聴になる可能性があります。万一、

聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。

・本製品に異物 (燃えやすいもの、硬貨、針金など)を入れない。

・温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房機器の近)

た、電源コードの上に重いものをのせない。 電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

・大音量や不快な程度の音量で長時間使用しない。

く、発熱する機器の上など)で使用や保管はしない。

・振動の多い場所で使用や保管はしない。

- ・本製品の上に、花瓶のような液体が入ったものを置かない。
- ・本製品に液体をこぼさない。
- 🔊 ・濡れた手で本製品を使用しない。



この注意事項を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性 または物理的損害が発生する可能性があります

- ・正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。
 ・ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。
 ラジオやテレビ等に接近して使用すると、本製品が雑音を受けて 誤動作する場合があります。また、ラジオ、テレビ等に雑音が入る ことがあります。
 - ・外装のお手入れは、乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。
 - ・電源コードをコンセントから抜き差しするときは、必ず電源プラ グを持つ。
- ・本製品を使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。
 電源スイッチをオフにしても、製品は完全に電源から切断されていません。
 - ・付属の電源コードは他の電気機器で使用しない。 付属の電源コードは本製品専用です。他の機器では使用できません。
 - ・他の電気機器の電源コードと一緒にタコ足配線をしない。
 本製品の定格消費電力に合ったコンセントに接続してください。
 ・スイッチやツマミなどに必要以上の力を加えない。
 - 故障の原因になります。
 - ・外装のお手入れに、ベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド 質、強燃性のポリッシャーを使用しない。
 - 不安定な場所に置かない。
 本製品が落下してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。
 - ・本製品の上に乗ったり、重いものをのせたりしない。
 本製品が落下または損傷してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。
 - 本製品の隙間に指などを入れない。
 お客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。
 - ・地震時は本製品に近づかない。
 - ・本製品に前後方向から無理な力を加えない。
 本製品が落下してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。

データについて

操作ミス等により万一異常な動作をしたときに、メモリー内容が消えてし まうことがあります。データの消失による損害については、当社は一切の 責任を負いかねますのでご了承ください。データを他のメディア等へ セーブすることのできる製品では、大切なデータはこまめにセーブする ことをお勧めします。

・修理、部品の交換などで、取扱説明書に書かれていること以外は 絶対にしない。

Nord Stage 2ユーザー・マニュアル目次

1 はじめに

ありがとうございます! 主な特長	5
アドビAcrobat Readerでもご利用できます	5
Nordウェブについて	5
ファクトリー・プリセットに戻すときは	5
0Sアップグレードについて	5
フリー・サウンド	5
商標について	5

2 Nord Stage 2について

オルガン・セクション	6
ピアノ・ライブラリーv5	6
スモール、ミディアム、ラージ	6
ストリング・レゾナンス	6
Nord Triple Pedal	7
、 ペダル・ノイズ	7
シンセ・セクション	7

3 使い始める

接続する	8
プログラム	8
プログラムを選択する	8
シフト・ボタン	8
ソート・モード	9
ノブについて	9
ボタンについて	9
プログラムをエディットする	9
別のピアノ・サウンドを選ぶ	9
メモリー・プロテクトをオフにする	10
プログラムを保存する	10
ライブ・モードについて	10
エフェクトをオンにする	10
別のインストゥルメントをオンにする	11
スロットについて	11
スプリットを作成する	11
ピアノをアッパー・ゾーンにセットする	11
シンセをロワー・ゾーンにセットする	11
シンセ・サウンドをロードする	12
レイヤーを作成する	12
モーフ機能を使う	12
シンセサイザーについて	13
アルペジエイターを使う	13
マスター・クロック	14

4 プログラム・セクション

トランスポーズ・オン/セット	15
スロット・ボタンA&B	15
モノ・アウトプット	15
デュアルKB	15
SHIFT/EXITボタン	16
ライブ・モード	16
プログラム・ボタン	16
プログラムとは?	16
システム、サウンド、MIDI、エクスターナル	16
パニック	16
保存する、別名で保存する	16
プログラムを保存する	17
プログラムに名前をつける	17
カテゴリー	17
バリュー・ダイアル	17
MIDIインジケーター	17
プログラム・バンク・ボタン	18
オルガン、ピアノ、シンセ・イニシャライズ	18
オルガン・スプリット	18
プログラム・ページ・ボタン	18
ペンディング・ロード	18
ソート・モード	18
カーソル、デリート、インサート	18
マスター・クロック	18
モーフ・アサイン	19
モーフ・デスティネーション	19
モーフィングを消去する	19
КВゾーン	19
	_

5 コモン機能

インストゥルメント&エクスターナル・コントロ	1–1120
レベル・エンコーダー	20
オン/オフ・ボタン	20
KBゾーン・セレクト・ボタン	20
スプリットを作成する	20
スプリット・ポイントの設定	21
レイヤーにする	21
オクターブ・シフト	21
ノート・レンジ	21
ピッチ・スティックとサスティン・ペダル	21
ラッチ・ペダルとKBゲート	21
アウトプット・ルーティング	21
デュアル・スロット・セットアップ	21
外部キーボードを使う:デュアルKB	22
さらに多くののキーボードを使用する	22
マスター・レベル	22

6 オルガン

ドローバー・ボタン	23
オルガン・モデルを選択する	23
B3モデル	23
B3ドローバー	24
ビブラート&コーラス	24
パーカッション	24
キー・クリック・コントロール	24
オルガン・プリセット &	24
Voxモデル	25
Voxドローバー	25
ビブラート	25
Farfモデル	25
Farfレジスター	25
ビブラート	26
スウェル・コントロール	26
ロータリー・スピーカー	26

7 ピアノ

ピアノ・サウンド	
ピアノ・セレクト	
タイプ	27
インフォ	27
モデル	27
クラビネット	27
ダイナミクス	
アコースティックス	
ストリング・レゾナンス	
ロング・リリース	
ペダル・ノイズ	
Nord Triple Pedal	
ハーフ・ペダリング	
ソステヌート	
ソフト・ペダル	
スロット・デチューン/Clav EQ	
Clav EQ	
スロット・デチューン	28

8 シンセ

はじめに	29
オシレーター	29
シェイプ	29
シェイプ・モジュレーション	30
ウェーブフォーム・セレクター・ボタン	
アナログ波形	30
三角波	
ノコギリ波	
パルス波	
オシレーター・シンク波形	
フリケンシー・モジュレーション	
FMアルゴリズム	
ウェーブテーブル	32
サンプル	32
スキップ・サンプル・アタック	32
ロード・サウンド	32
フィルター・セクション	32
フィルター・ボタン	32
ローパス - LP 24 & LP 12	32
ハイパス - HP	33
バンドパス- BP	33
ノッチ	
フィルター・フリケンシー	33
KBトラック	33
レゾナンス	
フリケンシー・モジュレーション1 - LFO	33
フリケンシー・モジュレーション2	33
エンベロープ	33
モジュレーション・エンベロープ	33
アンプ・エンベロープ	34
LFO	34
ベロシティ	34
ボイス・セクション	34
ボイス・モード:モノ	34
ボイス・モード:レガート	35
グライド	35
ユニゾン	35
ビブラート	35
シンセ・サウンドを保存する	35
アルペジエイター	35

9 エフェクト

オーバービュー	36
モノ/ステレオとエフェクト・ルーティングについて	36
スロット・エフェクト	36
スロット・エフェクトをオンにする	36
スロット・エフェクトの設定をする	36
(FOCUS)ボタン	37
マスター・クロック	37
エフェクト1	37
A-Pan(オート・パン)	37
Trem(トレモロ)	37
RM(リング・モジュレーション)	37
Wa-Wa(ワウ)	37
A-Wah1&2(オート・ワウ)	37
エフェクト2	38
Phaser 1&2	38
Flanger	38
Vibe	38
Chorus 1&2	38
ディレイ	38
アンプ・シミュレーター/EQ	38
アンプ・モデル	38
Drive	38
EQセクション	38
グローバル・エフェクト	39
コンプレッサー	39
リバーブ	39
ロータリー・スピーカー	39
シグナル・ルーティングについて	39
ロータリー・パラメーター	39

10 エクスターナル・セクション

エクスターナル・セクション40
セッティングする40
エクスターナル・セクションを使う40
オンにする40
キーボード・ゾーン40
オクターブ・シフト40
ピッチ・スティック/サスティン・ペダル・メッセージ40
エクスターナル・パラメーター41
ボリューム41
プログラム・チェンジ41
MIDI CC41
センド・オン・ロード41

11 メニュー

システム・メニュー	42
Global Transpose	42
Fine Tune	
Output Routing	
Organ Audio A/B Output	
Piano Audio A/B Output	
Synth Audio A/B Output	42
Organ Keyboard Trig Point	42
Sustain Pedal Type	42
Sustain Pedal Use As Rotor	42
Rotor/Latch Pedal Type	42
Rotor/Latch Pedal Function	43
Rotor Pedal Mode	43
Ctrl Pedal Type	43
Control Pedal Use as Swell	43
Swell Pedal Type	43
Swell Pedal Dest	43
Memory Protection	43
サウンド・メニュー	

	Organ Key Click B3	.43
	Organ Tonewheel Mode	.43
	Piano Pedal Noise	.43
	Piano String Res	.43
	Synth Vibrato Rate	.43
	Synth Dly Vibrato Amount	.43
	FX Delay Mode	.43
	FX Rotary Speaker Acc	.43
Μ	ב=≮וסוו	44
	MIDI Control Local	.44
	MIDI Slot A/B Channel	.44
	MIDI Organ A/B Channel	.44
	MIDI Piano A/B Channel	.44
	MIDI Synth A/B Channel	.44
	MIDI Dual KB Channel	.44
	MIDI Prog Change Mode	.44
	MIDI Ctrl Change Mode	.44
	Send MIDI Ctrl	.44
I	クスターナル・メニュー	44
	Extern MIDI Mode	.44
	Extern MIDI A/B Channel	.44
	Extern MIDI A/B Volume	.44
	Extern MIDI A/B Prog Change	.44
	Extern MIDI A/B Bank Sel cc 00	.44
	Extern MIDI A/B Bank Sel cc 32	.45
	Extern MIDI A/B CC Number	.45
	Extern MIDI A/B CC Value	.45
	Extern MIDI A/B Send Wheel	.45
	Extern MIDI A/B Send A.Touch	.45
	Extern MIDI A/B Send CtrlPed	.45
	Extern MIDI A/B Vel Curve	.45
	Extern MIDI Send on Load	.45

12 Nord Sound Manager

動作環境	
インストール	46
USB Driverのインストール	
Sound Managerのインストール	
オーバービュー	
ツールバー	
タブ	
パーティション・メモリー・インジケーター	
右クリック	
ファイル・フォーマット	
クイック・ツアー	48
ピアノをNord Stage 2に転送する	
ピアノを消去する	
新しいサウンドをダウンロードする	
ダウンロード・キュー	
サウンドをアップロードする	
パーティション全体をアップロードする	
サウンドをNord Stage 2にダウンロート	ずる49
プログラム・パーティションを編集する	
サーチ・ボックス	
オート・セレクト	
サウンド・マネジャー・リファレンス	50
ツールバー	
メニュー	51
File	
Edit	51
View	51
Help	
タブ	52
Piano - Program	
Search Box	
Loc - Location	
Name	
Category	

Size	.52
Ver - Version Number	.52
Info	.52
Footer Area	.52
Partition Memory Indicator	.52
Cancel Button	.52
Progress Bars	.52
Message/Text Area	.52
最新アップデートやサウンド	.52

13 MIDI

MIDIインプリメンテーションについて	53
Nord Stage 2とMIDIについて	53
外部MIDI機器をコントロールする	53
外部MIDIキーボードを使用する	53
MIDIでレコーディングする	53
Nord Stage 2を音源として使う	54
ローカル・オン/オフ	54
パニック	54
USB MIDI	54
MIDIコントローラー・リスト	55
MIDIインプリメンテーション・チャート	56

| 付録:接続について

オーディオの接続	57
ヘッドフォン	57
オーディオ・アウト1-4	57
モニター・イン	57
USBの接続	57
MIDIの接続	57
MIDI IN	57
MIDI OUT	57
譜面台	
譜面台 ペダルを接続する	58 58
諸面台 べダルを接続する オルガン・スウェル・インブット	58 58
譜面台 ペダルを接続する オルガン・スウェル・インブット ローター・スピード・ペダルを使用する	
譜面台 ペダルを接続する オルガン・スウェル・インブット ローター・スピード・ペダルを使用する ラッチ・ペダルを使用する	58 58 58 58
譜面台	
譜面台	
譜面台 ベダルを接続する オルガン・スウェル・インブット ローター・スピード・ペダルを使用する ラッチ・ペダルを使用する サスティン・ペダル Nord Triple Pedal 3つのペダル	58 58 58 58 58 58 58 58 58 58 58

|| 付録:ファクトリー・プリセット

ファクトリー・プリセットとOS	59
インターナル・メモリー	
ファクトリー・プリセット	
工場出荷時の状態に戻す	
OSアップグレード	

Ⅲ 索引

索引	60
Nord Stage 2 仕様	62

1 はじめに

ありがとうございます!

この度は Nord Stage 2をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます! Nord Stage 2の開発で目標としたのは、Claviaの各製品の要素を取り 込んだステージ・キーボードのフラッグシップ・モデルを作り上げることで した。オリジナルのNord Stageでの成功を受け、Nord Stage 2でもア コースティック/エレクトロメカニカル・キーボードの素晴らしいサウンドを 忠実に再現しただけでなく、シンセサイザー・セクションもこれまで以上に 使いやすくなるよう設計し、幅広いサウンドをお楽しみいただけます。

Nord Stage 2はクラシック・キーボードのサウンドだけでなく、自然な キーボード・レスポンスなどの弾き心地も再現しました。ミディアム・ウェイ テッド・ハンマー・アクション鍵盤を採用した88/76鍵モデル、または73鍵 セミウェイテッド・ウォーターフォール鍵盤を採用したモデルからお選びい ただけ、それぞれ重量はわずか18.5/16.5/9.7kgという軽量設計を実 現しました。

主な特長

Nord Stage 2には次のような主な特長があります:

- B3、Vox、Farf(Farfisa)の3種のクラシック・オルガン・サウンドを忠実 に再現したオルガン・セクション。
- グランド/アップライト・アコースティック・ピアノや、エレピの定番モデル やWurlitzer、Clavinetやエレクトリック・グランドを網羅したピアノ・セク ション。メモリー容量は約500MB。
- アナログ・スタイルのみならず、サンプル・プレイバック、FM、デジタル・ ウェーブフォームも搭載したサブトラクティブ・シンセシス・アーキテク チャーを採用したシンセ・セクション。
- ・幅広く、自由度の高い音作りをサポートするエフェクト・セクション。
- ミディアム・ウェイテッド・ハンマー・アクションを採用した88/76鍵アフ タータッチ付きキーボード・モデル、73鍵セミウェイテッド・ウォーター フォール鍵盤バージョンの3モデルをラインナップ。
- 外部MIDI機器を自在にコントロール可能なエクスターナル・セクション を装備。
- 複数のパラメーターをコントローラーで同時にコントロールできるパワ フルなモーフ機能。
- インストゥルメントごとにスプリットやレイヤーを簡単にセットできるキー ボード・ゾーン機能。

これだけでなく、Nord Stage 2のすべてのセットアップをメモリーできる A/Bの独立したスロット機能も搭載しました。この機能により、6つのインス トゥルメント・セクションと2つの独立したエフェクト・セクションにアクセス できるのです!さらに、二段鍵盤のB3オルガン・エミュレーションや、インス トゥルメントのあらゆるレイヤー(音色を重ねる)やスプリット(鍵盤上の音 域で音色を使い分ける)も簡単に行えるのです。

このマニュアルについて

本マニュアルはリファレンス・マニュアルとして使用できるように制作しま した。また、機能の説明のほかに、その機能やほかの機能と組み合わせて 使用するときに便利なヒントなどもご紹介しています。

アドビAcrobat Readerでもご利用できます

Nordウェブ(www.nordkeyboards.jp)から無料でダウンロードできる 本マニュアルのPDF版もご利用いただけます。PDF版では、リンク機能を 使って目次から調べたいページへジャンプしたり、索引にある用語をクリッ クするだけで説明ページにジャンプできたりすることなどもできます。

Nordウェブについて

Nordウェブ(www.nordkeyboards.jp、www.nordkeyboards.com(英文))では、Nord Stage 2をはじめその他のNord製品の最新情報を満載 してみなさまのアクセスをお待ちしております。Nord Stage 2用最新サ ウンドやソフトウェア・アップグレードなど、すべて無料でダウンロードする ことができます。

ファクトリー・プリセットに戻すときは…

工場出荷時のプログラム、サンプル、ピアノのデータはNord Sound Managerのバックアップ・ファイル形式でNordウェブからダウンロードできます。また、本機に付属のNord DVDにも収録されています。

OSアップグレードについて

Nord Stage 2の最新OSバージョンもNordウェブからダウンロードできますので、Nordウェブに定期的にアクセスして最新情報をチェックしてください。

フリー・サウンド

Nord Stage 2はオープン設計を採用していますので、すべてのピアノや サンプルを入れ替えることが可能です。この入れ替え作業はNord Sound Managerアプリケーションを使用して行います。

また、Nord Stage 2は次々と新たなサウンドが追加されているNord Piano LibraryやNord Sample Libraryと互換性があります。これらの サウンドは本機に付属のNord DVDにも収録されています。さらに、最新 サウンドはNordウェブからダウンロードすることができます。

商標について

本マニュアルに記載のあらゆる商標やブランド名はそれぞれの所有者が 保有する商標であり、Claviaとの一切の関係はありません。また、それらの 商標やブランド名は本機の機能やサウンドを説明するためにのみ使用して います。

2 Nord Stage 2について

素晴らしいサウンド、最大限の表現力。この2つがNord Stage 2の最大の特長です。この2つをゴールとしてNord Stage 2を開発しました。ここでは、その主な機能をご紹介します。

オルガン・セクション

トーンホイール・オルガンのデジタル・モデルを採用した最初の製品を発表してから10年が経ちました。Nord Stage 2のオルガン・セクションは Nord C2コンボ・オルガンに搭載された第三世代のB3オルガン・モデルを 採用しました。

B3サウンドをかつてないほど忠実に再現するNord Stage 2のオルガン・ セクションは、オリジナルB3に内蔵された91枚のトーンホイールからの 信号を膨大な時間をかけて解析するだけでなく、それぞれのトーンホイー ル同士の相関関係も忠実に再現したものをベースにしています。これによ り、単にサウンドだけを再現するに留まらず、オリジナルB3の内部回路で リアルタイムに起きる現象のひとつひとつも忠実に再現しました。そのた め、鍵盤高音部でのオクターブ繰り返しやトーンホイールのエネルギー・ロ スもオジリナルそのままに再現できます。特にエネルギー・ロスによる穏や かなコンプ効果はオルガン・サウンドをオルガン・サウンドたらしめる重要な 要素です。Nord Stage 2では、新品のオリジナルB3と同様にクリーンな タイプから長年使い古したサウンドなど、3種のトーンホイール・モデルを 内蔵しました。

また、1960年代に活躍したVox Continental、Farfisa Compactの2 大トランジスター・オルガンのサウンドも忠実に再現しました。さらに、Nord C2に搭載された最新版のロータリー・スピーカー・シミュレーションも装備 しました。スピーカーに取り付けられたローターやホーンが回転することに より発生する広がりのあるサウンドは、Nord Stage 2のオルガン・サウン ドをさらに迫真のリアル・サウンドに仕立て上げます。そしてコントロール 面では機械式ドローバーに代わりLEDバー・クラフと「ドロー・ボタン」を組 み合わせたパネルを採用し、直感的なサウンド・コントロールが可能になる だけでなく、プリセットの変更時にもセッティングを正しく表示できます。

ピアノ・ライブラリーv5

Nord Stage 2はNord Piano Library v5と互換性があります。膨大な時間をかけて作り上げた最高のピアノ・サウンドをそのままNord Stage 2で使用できます。

ピアノ・サウンドは付属DVDにカテゴリーやサイズ別(アコースティック・ グランド・ピアノおよびアップライト)で収録されています。また、最新ピア ノ・サウンドはNordウェブサイト(www.nordkeyboards.jp または www. nordkeyboards.com)から無料でダウンロードすることができます。

スモール、ミディアム、ラージ

Nord Stage 2(そしてNord Piano Library互換のNord製品)のアコー スティック・グランド・ピアノ、アップライト・ピアノ・サウンドには、エクストラ・ ラージ、ラージ、ミディアム、スモールのサイズがあります。このうち、ラー ジ、ミディアム、スモールは同じベロシティ・レイヤー数、ゾーン数で作成さ れています。つまり、サイズはスモールでもサウンド・クオリティやプレイア ビリティはいつでも最高なのです。

スモール(Sml)は最小限のメモリー・スペースで作成されたピアノですが、 サウンドはその限りではありません。スモールではストリング・レゾナンスは 収録されていませんので、Nord Stage 2でスモール・ピアノを選択した 場合、ストリング・レゾナンス機能は使用できません。

ミディアムでは演奏上重要な位置を占める中音域のストリング・レゾナン スを収録し、それ以外の最低音域や最高音域では収録していません。メモ リー容量とサウンド・クオリティのバランスを取ったバージョンです。

ラージではすべての音域でストリング・レゾナンスを収録し、サウンド・クオ リティはベストですがその分メモリー・スペースもかかります。

また、ピアノ・サウンドの中には全鍵サンプリングのXL(エクストラ・ラージ) バージョンもあります。しかもメモリー・スペースはラージよりもわずかに 大きいだけです。

ストリング・レゾナンス

ストリング・レゾナンスとは、アコースティック・ピアノのすべて、または一部の弦が演奏中の弦の基音(ピッチ)や倍音に共鳴する音響現象のことです。 ミディアムまたはラージのv5ピアノ・サウンドでNord Stage 2のストリング・レゾナンス機能をオンにすると、グランド・ピアノやアップライト・ピアノの内部で醸しだされる豊かな響きが得られます。

また、ストリング・レゾナンスはサスティン・ペダルを使用したときにもその 効果が分かりやすくなります(ミディアム、ラージのアコースティック・ピア ノ・サウンドを使用し、ストリング・レゾナンス機能をオンにした場合のみ)。 サスティン・ペダルを踏んだ状態で演奏すると、演奏したピッチに共鳴する 弦の響きも加わり、さらに豊かなピアノ・サウンドをお楽しみいただけます。

ストリング・レゾナンスが生み出すもうひとつの効果にクレッシェンド効果があります。アコースティック・ピアノでは、同じ鍵盤を同じ強さで何度も打鍵すると、サウンドに変化が起こります。これはすでに振動している弦にハンマーが異なる位相で当たり、音量と音色に微妙な濃淡がつきます。この効果をNord Stage 2でも再現できるのです。

Nord Triple Pedal

Nord Stage 2はかつてない高い機能を誇るNord Triple Pedal(別売 オプション)に対応しています。ペダルを踏んだ時のメカニカル・ノイズをダ イナミックにコントロールしたり、ハーフ・ペダリング・テクニックを使用する ことも可能です。

- △ Nord Triple Pedalをご使用の際は、本機のシステム・メニューで設定を 行ってからご使用ください。
- (SHIFT)ボタンを押しながら、ディスプレイの下にある(SYSTEM/ PROGRAM1)ボタンを押してシステム・メニューに入ります。
- バリュー・ダイアルの上にある(PROGRAM PAGE >)ボタンを押して、「Sustain Pedal Type」を呼び出します。
- (3) バリュー・ダイアルを回して「Triple」を選択します。(SHIFT)ボタン を押すとシステム・メニューから抜けて、Nord Triple Pedalを使用 できます。

サスティン・ペダルは右側のペダルです。ペダルを踏むと、ペダルを離すまですべての音にサスティンがかかります。

左側のペダルはソフト・ペダルです。ウナ・コルダ(Una Corda)とも呼ばれ ています。このペダルを踏むと、演奏中のすべての音量がわずかに下がり、 音色もわずかに丸い音になります。

センターのペダルはラッチ/ソステヌートです。このペダルの機能を使用するには、本機でこの機能のアクティベーションが必要となります。詳しくは、21ページの「ラッチ・ペダルとKBゲート」をご参照ください。

ペダル・ノイズ

アコースティック・グランドやアップライト・ピアノのペダルを踏むと、ペダル 機構内部の各種パーツから様々な音が出ます。これをNord Stage 2で も再現できるのです。サスティン・ペダルを踏むと、ダンパーが弦から外れ る時の音や、その際に出る弦の音が聴こえます。

ペダルを離すと、ダンパーが弦の位置に戻ります。この時にも音が出ます。 Nordサスティン・ペダルはダイナミック方式ですので、ペダル操作の強弱 によりこれらのペダル・ノイズを音量をコントロールすることができます。 例えば、ペダルから足を滑らせて離すとバネによりペダルが強く戻り、ペダ ル・ノイズも大きく出ます。

また、ペダルが下がり切った時に出る「フロア・サウンド」も再現できます。 ペダルを一旦踏み込んだ状態から半分ほど戻してからさらに踏み込むと、 そのサウンドがよく聴き取れます。

ペダルを戻して素早く踏み直すと、弦に触れていたダンパーが急激に外れ ることによりすべての弦が小さく発音するリッチなサウンドが出ます。これ もNord Stage 2で再現できます。また、サスティン・ペダルを強く踏み込 むことで出せる「ストンプ・サウンド」も再現できます。

シンセ・セクション

Nord Stage 2のシンセ・エンジンはNord WaveのDNAを受け継いだ パワフルなものです。クラシックなアナログ・シンセシス、3オペレータ方 式のFMシンセシス、ウェーブテーブル・シンセシスを内蔵し、さらにNord Sample Libraryの膨大なサウンドも使用できます。

Nord Sample Libraryは、MellotronやChamberlinといったテープ式 キーボードのビンテージ・サウンドを含む膨大かつ高品位なサウンド・ライ ブラリーで、これまでNord Wave、Nord Electro 3ユーザーから高い評 価を頂いてきました。このライブラリーはNord Stage 2オーナーにもご 利用いただけます。このライブラリーのサウンドは、Nord Sample Editor ソフトウェア(Mac/PC)を介して本機にロードさせることができます。

ー方アナログ・シンセシスはデュアルSaw、ハード・シンク、パルス・ウェー ブ・モジュレーション、32種類の周波数比を備えた3オペレータFMシン セシスや、62波形を搭載したウェーブテーブル・シンセシス、サンプル・ ベース・シンセシスを内蔵しました。また、サウンドの要となるフィルターは 12/24dBローパス、ハイパス、バンドパス、ノッチを装備したマルチモー ド・フィルターを搭載し、アンプ・エンベロープ、モジュレーション・エンベ ロープ、LFO、ユニゾン・コントロールも装備しました。まさしくパワフルな シンセ・エンジンです。

シンセ・セクションにはさらに、本機のマスター・クロックや外部MIDIクロックに同期可能のアルペジエイターも装備しました。また、シンセLFOやエフェクトもマスター・クロックと同期可能です。

3 使い始める

ここからNord Stage 2の基本的な操作法についてご紹介します。このチャプターは本機を安心してご使用していただけるための、いわばガイド・ツアーとして作成しました。基本的な操作法などを可能な限りシンプルにご紹介しています。なぜなら、読むより弾くほうがお好きだと分かっておりますから!

接続する

- 電源コードを本機に接続し、コンセントに接続します。それからサス ティン・ペダルやヘッドフォン、またはアンプ、ミキサーなどのオーディ オ機器に接続します。
- (2) 本機の電源を入れてから、オーディオ機器の電源を入れます。電源を入れる時はそれぞれの機器のボリュームにご注意ください。

接続に関する詳細は、57ページもご参照ください。

プログラム

プログラム・エリアは、本体パネル中央のディスプレイの周囲にあります。 パネル上のすべてのパラメーターをプログラムとしてメモリーでき、400 個のプログラムをストックしておけます。

プログラムは4つのバンクに分けられ、それぞれのバンクはさらに5プログ ラムずつ20ページに分けられています。すべてのプログラムは書き換え も移動も可能です。

▲ Dバンクに入っている100個のプログラムは、工場出荷時ではAバンクの 100個と同じものが入っています。これで、ご購入後のファクトリー・プログ ラムを消すことなく、すぐに音色エディットをしてAまたはDバンクに保存す ることができます。

ファクトリー・プログラムは付属のNord DVDに収録されています。また、 Nordウェブからもダウンロードできます。プログラム・メモリーを新品の状態に戻したい場合などにご利用ください。

プログラムを選択する

- プログラムはディスプレイの下にある5つの(PROGRAM)ボタンを 押して選択できます。また、ディスプレイの右にあるバリュー・ダイア ルを回すことで選択することもできます。
- 2) プログラムのページはバリュー・ダイアルの上にある(PROGRAM PAGE < / >)ボタンで切り替えることができます。
- プログラム名に「MW」や「AT」と書かれたものがいくつかあります。これら はそれぞれモジュレーション・ホイール、アフタータッチの略で、それらの機 能を使うとサウンドが変化するようになっています。ぜひお試しください。

(3) バンクはディスプレイの上にある A~D の(BANK)ボタンで切り替えることができます。

(BANK)、(PAGE)、または(PROGRAM)ボタンを押すと同時 に新たなプログラムに切り替わります。また、ペンディング・ロード 機能をオンにすることで、(BANK)または(PAGE)ボタンを押し、 (PROGRAM)ボタンを押すまで実際にプログラムが切り替わ らないようにすることも可能です。設定は(SHIFT)を押しながら (PROGRAM PAGE <)を押します。



② (PROGRAM PAGE)を長押しすると、ページがスクロールします。

シフト・ボタン

Nord Stage 2のボタンの多くには「もう ひとつの機能」があり、それらの機能は各ボ タンの下にプリントされています。これらの 機能やパラメーターにアクセスする場合は、 (SHIFT)ボタンを押しながらアクセスした い機能やパラメーターのボタンを押します。



FXTERN

シフト・ボタンは、メニューから抜ける時
 や、保存操作を途中で中止する時にも使
 用します。

ソート・モード

バリュー・ダイアルを回してプログラムを切り替えるときに使用できるソート・モードには3種類があります。初期設定のモードは番号順です。バリューダイアルを回すと、番号順にプログラムが切り替わります。(バンクA、ページ1、プログラム1~5、バンクA、ページ2、プログラム1~5というように)では、その他のソート・モードも見てみましょう。

- 1 (SHIFT)ボタンを押しながら…
- (2) (PROGRAM PAGE >)ボタンを押します。

これでアルファベット順のソート・モードになりました。バリュー・ダイアルを回すとプログラムがアルファベット順に並び替わっていることが分かります。

- (3) 頭文字を変更する場合は、(PROGRAM PAGE)ボタンを押します。
- (SHIFT)ボタンを押しながら(PROGRAM PAGE >)ボタンをもう一度押すと、カテゴ リー別のソート・モードになり、プログラムは カテゴリー内でアルファベット順に並べ替わり ます。

各プログラムは保存をする時、または Nord Sound Managerを使用してカテゴリーに分類することが できます。詳しくは17ページをご参照ください。

- 5 カテゴリーを切り替える時は、(PROGRAM PAGE)ボタンを押します。
- 6 (SHIFT)ボタンを押しながら(PROGRAM PAGE >)ボタンをもう 一度押すと番号順のソート・モードに戻ります。
- ソート・モードはバリュー・ダイアルを回してプログラムを切り替える時にの み有効です。(BANK)、(PAGE)、(PROGRAM)の各ボタンでプログラム を選択する場合は番号順になります。

ノブについて

Nord Stage 2 には2種類のノブがあります。ひとつは周囲に LED があるバリュー・エンコーダー・タイプ。これはそのノブの設定値が LED に表示されます。このタイプのノブが割り当てられているパラメーターはモーフ機能でコントロールすることができます。

もうひとつは右図のようなボリューム・タイプのノブで す。シンセやエフェクト・セクションにあるノブです。プロ グラムを切り替えると、ノブの位置とそのパラメーター の設定値が一致していないことがありますが、ノブを回 すとそのパラメーターの設定値が瞬時にノブを位置を キャッチしてノブの位置と一致します。



ボタンについて



セレクター・ボタンは、丸や三角形の LED が付いたいくつかの選択肢から ひとつを選択するパラメーターに使用しています。ボタンを数回押して選 択肢を順に切り替えて選択できます。

オン/オフ・ボタンは、機能のオン/オフやエフェクトのように一連の機能を まとめてオン/オフする時に使用します。ボタンの近くには LED があり、 オン/オフの状態を表示します。また、LEDはソースやゾーンを表示するも のもあります。

 ののようなエフェクトのオン/オフ・ボタンにはセレクター機能もあります。

 ・度押すとエフェクトがオンになり、すぐにもう一度押すとエフェクトが切り
 替わります。

プログラムをエディットする

プログラムのエディットは、ノブを回したりボタンを押したりして設定値を 変更する、とても簡単なことです。ちょっとやってみましょう。

バンクA、ページ1、プログラム1 (Imperial Grand Piano)を選択し、これをエディットしてみましょう。



ピアノ・セクションのパネルはプログラム/ディスプレイ・エリアの左側にあります。現在選ばれているピアノ・タイプはグランド・タイプですね。

別のピアノ・サウンドを選ぶ

- (2) ピアノ・タイプのセレクター・ボタンを数回押して6種類のタイプを巡回してみましょう。各タイプにはさらに複数のモデルがあります。
- 3 モデルLEDの下にあるピアノ・モデル・ボタンを数回押してピアノ・サウンドを切り替えて少しずつ弾いてサウンドの違いを確かめます。

例えばピアノ・モデルが3種類ある場合、3の次は1となるように、循環して切り替わります。



パラメーターの設定を変更すると、ディスプレイに表示されているプログ ラム・ナンバーの後ろにアスタリスク(*)が付きます。



これは、そのプログラムの設定値が変更されてエディット中で、まだ保存されていないということを表示しています。この時、保存の操作をせずに別のプログラムを選ぶと、それまでのエディット内容は消えてしまい、次に同じプログラムを選んだ時にはエディットする前の状態に戻ります。



KB ZON

 $\mathbf{2}$

PROGRAM PAGE

0 2

メモリー・プロテクトをオフにする

Nord Stage 2はメモリー・プロテクトがオンの状態で出荷され、工場出荷 時プログラムが誤って上書きされないようになっています。メモリー・プロ テクトはシステム・メニューにあり、オフにすることができます。



- (SHIFT)ボタンを押しながら(PROGRAM 1/SYSTEM)ボタン を押します。
- 2 メモリー・プロテクトがディスプレイに表示されるまで(PROGRAM PAGE < / >)を押します。
- (3) バリュー・ダイアルを回してオフにします。
- (4) (SHIFT)ボタンを押してシステム・メニューから抜けます。

システム・メニューの各セッティングに関する詳細は、42ページの「システム・メニュー」をご参照ください。

プログラムを保存する

ディスプレイの左にある(STORE)ボタンを一回押し、保存操作に入ります。



- (STORE)ボタンのLEDが点滅し、プログラムの保存先を指定する 画面がディスプレイに表示されます。
- 3 エディットしたプログラムを元のプログラム番号に上書き保存する場合は、(STORE)ボタンをもう一度押します。別のプログラム番号に保存する場合は、(BANK)、(PAGE)、(PROGRAM)ボタンを使って保存先を指定します。
- ▲ 保存先を指定すると、そのブログラムをキーボードで演奏でき、消してもよいプログラムかどうかを確認することができます。
- (4) プログラムの保存先が決まりましたら、(STORE)ボタンを押してプログラムを保存します。
- (STORE)ボタンを押す前に(SHIFT/EXIT)ボタンを押すと保存作業を中止します。

「保存」と「別名で保存」の操作や、プログラムのカテゴリーの指定に関する 詳細につきましては、17ページをご参照ください。

ライブ・モードについて



Nord Stage 2のライブ・モードは、5つのテンポラリー・プログラム・バッファがあり、各バッファは保存操作を行うことなく自動的に保存作業を行います。

- (LIVE MODE)ボタンを押してライブ・モードを起動すると、以後す べてのパネル・セッティングの変更は、継続的にバックグラウンドで保 存されます。
- (2) Nord Stage 2の電源を切る、または別のプログラムを選択すると、 それまでのパネル・セッティングはライブ・モード・プログラムに保存され、次回に電源を入れた時に(または別のプログラムからライブ・モード・プログラムに戻った時に)電源を切る寸前や、別のプログラムを選択する前のパネル・セッティングを呼び出すことができます。

ライブ・モード・プログラムを通常のプログラムとして保存する場合は、通常の保存操作で保存できます(左ページをご覧ください)。

プログラムを5つのライブ・モード・プログラムのいずれかに入れておくことも可能です。この場合、そのプログラムのセッティングは現在選択されているライブ・モードのセッティングと入れ替わります。

(LIVE MODE)ボタンをもう一度押すとライブ・モードから抜けて、通常の プログラムに戻ります。

エフェクトをオンにする

- (REVERB)ボタンを押してリバーブをオンにします。
- リバーブ・セレクター・ボタンの上にある(DRY/ WET)ノブでリバーブの量を調整します。
- 3 ディレイ・セクションの(SOURCE)ボタンを押し てディレイをオンにします。
- この時、LEDが点灯しているインストゥルメントの信号がディレイに流れます。例えばピアノ・セクションのソースLEDが点灯してない場合は、 (SOURCE)ボタンを何度か押して点灯すると ピアノからの信号がディレイに入ります。
- (5) 2つのバリュー・エンコーダー・タイプ のノブは、ソースごとのディレイのレイ ト/テンポ(ディレイ・タイム)とディレ イの音量を調整します。





ひとつのプログラムで複数のエフェクトを使用している場合、エンコーダーの間にある(FOCUS)ボタンでエディットするエフェクトを選択することができます。また、新たにエフェクトをオンにすると、そのエフェクトが自動的に選択され(フォーカスされ)ます。

 (SHIFT)ボタンを押しながら(SOURCE)ボタンを繰り返し押すと、エフェ クト・ソースを素早く切り替えることができます。

別のインストゥルメントをオンにする

 ピアノがオンの状態で、シンセのバリュー・エンコーダーの下にある (ON/OFF)ボタンを押します。すると、ピアノの音にシンセの音が 重なります。

パネル上にあるすべてのシンセ・パラメーターは、自由にエディットすることができます。各パラメーターの詳細は、29ページからのリファレンス編をご参照ください。

 パラメーターのエディットすることなく設定値だけを確認したい場合は、 (SHIFT)ボタンを押しながらそのパラメーターのノブを回します。すると、 ディスプレイにそのパラメーターの設定値が表示されます。

スロットについて

(PROGRAM)ボタンの下に(SLOT A)、(SLOT B)ボタンがあります。 これらのボタンを使って、Nord Stage 2のすべてのパネル・セッティング を記憶したセットアップに簡単にアクセスすることができます。それぞれ のスロットに、オルガン/ピアノ/シンセ/エクスターナル/エフェクトのセット アップが記憶されています。

スロット・ボタンを活用することにより、2つの異なるサウンドを継ぎ目なく 切り替えたり、オルガンと2種類のピアノやシンセをレイヤーしたりスプリッ トした分厚いサウンドのセッティングを作ることも可能です。では、スプリッ ト作成してそれぞれのゾーンに異なるサウンドを割り当ててみましょう。

☆ (SLOT)ボタンを押しながら、バリュー・ダイアルでコピーしたいサウンド を見つけ(SLOT)ボタンを離すと、そのセッティングをコピーすることがで きます。この操作で、コピーしたいサウンドのセッティングがエディット・バッ ファにコピーされます。そのセッティングをプログラムとしてキープしたい 場合は保存操作を忘れずに行いましょう。

スプリットを作成する

 スロットAがオンになっていることを確認し、(SHIFT)ボタンを押し ながら(BANK C/PIANO INIT)ボタンを押します。

この操作で、ピアノ・セクションとすべてのエフェクトがピアノ・セクションに 接続されます。INIT機能は新たにプログラムを作成する時に素早く行える 便利な機能です。



2) バリュー・ダイアルの上にある(2 KBD ZONE)ボタンを押します。

この操作で、鍵盤が2つのゾーンにスプリット(分割)されます。スプリット・ ポイントは鍵盤上の緑のLEDで表示されます。また、(3 KBD)を押すと 鍵盤が3つのゾーンにスプリットされ、それぞれのスプリット・ポイントで緑のLEDが点灯します。

ピアノをアッパー・ゾーンにセットする

 (SHIFT)ボタンを押しながら(UP-HI)LED が点灯し、(LO)LED が消灯 するまで(PIANO ZONE SELECT) ボタンを数回押します。

この操作で、ピアノが鍵盤上の高音部に

セットされます。必要に応じて〔OCTAVE

SHIFT)ボタンを使って音の高さを調整で



きます。

シンセをロワー・ゾーンにセットする

 (4) (SHIFT)ボタンを押しながら (LO)LEDが点灯し、その他の LEDが消灯するまで(SYNTH ZONE SELECT)ボタンを繰り 返し押します。これでシンセが鍵 盤上の低音部(ロワー・ゾーン)に セットされます。



③ (SHIFT)ボタンを押しながら(SET LO SPLIT)または(SET HI SPLIT) ボタンを繰り返し押すと、スプリット・ポイントの変更ができます。

シンセ・サウンドをロードする



(SHIFT)ボタンを押しながら(LOAD SOUND)ボタンを押します。

この操作でNord Stage 2のシンセ・メモリー・エリアに収録されている 300個のシンセ・パッチから選択できます。

- (2) シンセ・セクションのLEDディスプレイの下にある小さなダイアルで シンセ・パッチを選択します。
- (3) 〔SHIFT〕ボタンを再度押してロード・サウンド・モードを解除します。

レイヤーを作成する

ピアノとシンセのスプリットにさらにサウンドを重ねてみましょう。

- (1) (SLOT B)ボタンを押してス ロットBをオンにします。これで もうひとつのオルガン、ピアノ、 シンセ、エフェクトが使えます。
- (2) 〔SHIFT〕ボタンを押しながら (BANK D/SYNTH INIT) ボタンを押します。

これでシンセがオンになり、スロットB のすべてのエフェクトがシンセに接続 されます。

(3) 〔SHIFT〕ボタンを押しながら (LOAD SOUND)ボタンを押し、オシレーターにある小さなダイ アルでピアノとシンセのスプリットに適したシンセ・パッチを選択しま す。

両方のスロットをオンにする

(4) (SLOT B)ボタンを押しながら (SLOT A)ボタンを押して両方 のスロットがキーボードで演奏で きるようにします。この時、スロッ トAはピアノとシンセのスプリッ ト、スロットBはシンセのレイヤー になります。



PEND

スロット・ボタンの上にあるLEDのうち、 点滅しているほうがパネルでエディット できるスロットです。もう一方のスロッ

トをエディットしたい場合は、エディットしたいほうのスロット・ボタンを押し ます。

ピアノとシンセなど、異なるインストゥルメントを組み合わせてスプリットや レイヤーを作成することが可能ですが、オルガン・セクションではスロット A/Bでひとつのオルガン・モデル(B3、Vox、Farf)しか使用できません。但 し、スロットA/Bを使用してひとつのオルガン・モデルでふたつの異なる音 色をセットして二段鍵盤オルガンのように使用することは可能です。

- エクスターナル・セクションもスプリットやレイヤーに使用できます。つまり、 ģ 外部 MIDI 機器も本機の一部のように組み込むことができます。
- (5)スロットを組み合わせた状態を解除するには、キープしたいほうのス ロット・ボタンを押しながら、オフにしたいほうのスロット・ボタンを押 します。

モーフ機能を使う

モーフ機能を設定すると、モジュレーション・ホイールやコントロール・ペダ ル、アフタータッチで複数の音色パラメーターを同時にリアルタイムにコン トロールすることができます。設定は次の手順で行います:

- (1) ここではドローバーをモジュレーション・ ホイールでコントロールしてみましょう。 (SHIFT)ボタンを押しながら(BANK B/ORGAN INIT)ボタンを押します。
- (2) オルガン・モデルがB3になっているこ とを確認し、ドローバーのうち左から3本 (Sub、Sub3、Fund)を下側のドロ-バー・ボタンで引き出した状態にしま す。



ドローバーを戻したい場合は、上側のドロー バー・ボタンを押します。

- [3] ディスプレイの上部にあ るモーフ・アサイン・グ ループの(WHEEL)ボ タンを押しながら…
- (4)ドローバーの右4本をド ローバー・ボタンで引き 出します。この時、各ド ローバーの量はそれぞ れ LED がひとつ点灯し て表示されます。これは モーフ機能によるコント ロール量を示していま す。



(5)〔WHEEL〕ボタンを離 してモーフ機能の設定 は完了です。モジュレー

ション・ホイールを操作しながら少し弾いてみましょう。

モジュレーション・ホイールの動きに応じてドローバーも動き、音色に変化 が起こります。

- モーフ・ソース(モジュレーション・ホイール、コントロール・ペダル、アフター -à タッチ)は、複数のパラメーターを同時にコントロールすることができます。
- ひとつのモーフ・ソースで一方のパラメーターを上昇させ、同時に他方を下 ò 降させる設定も可能です。これにより例えば、クロスフェードのようなことが できます。
- モーフ機能の詳細につきましては、19ページをご参照ください。

シンセサイザーについて

Nord Stage 2のシンセサイザーの主な機能を見ていきましょう。

- (SHIFT)ボタンを押した ままの状態で、ディスプ レイの上にある(BANK D/SYNTH INIT)ボタン を押します。
- ノコギリ波が選択される まで(OSCILLATOR)ボ タンを押します。



- 3 フィルターの(FREQ)ダ イアルを回しながら少し 弾いてみましょう。
- (4) オシレーター部のLED
 ディスプレイの下にあるオシレーター・セレクター・ダイアルを回して
 ノコギリ波カテゴリーのその他の波形の音も聴いてみましょう。
- 5 LED ディスプレイに「dtn」と表示 されていることを確認します。こ れがデュアル・ソー波形です。
- 6 セレクター・ダイアルの左下にある (SHAPE)ダイアルを回して2つ のノコギリ波のチューニングを半 音単位で変えてみましょう。
- (SHAPE)、(FREQ)ダイアルは周囲 にLEDがついています。このようなダ イアルはモーフ機能でコントロール することができます。
- 7 オシレーター・ボタンを押してサン プル波形(SAMP)を選択します。
- 8 オシレーター・ダイアルを回してサンプルを選択します。

サンプルは、Nord Sample Libraryから追加したり、Nord Sample Editorで 新規作成して追加することも可能です。

サンプルはまずオシレーターで選択して からフィルターやエンベロープなどのパ ラメーターで音色を加工していきます。 サンプルの追加方法など詳細につきまし

ては、46ページの「Sound Manager」をご参照ください。

シンセ音色は(SHIFT)ボタンを押しながら(VIBRATO)ボタンを押すこと
 で他のインストゥルメントとは独立して最大300個まで保存できます。



アルペジエイターを使う

では続いてアルペジエイターを使ってみましょう。

 シンセ・セクションがオンになっていることを確認し、アタック・タイム をOにし、ディケイを250msにし、オシレーターの波形はノコギリ波 を選択し、フィルターは開いた状態((FREQ)を上げる)にします。こ れでパーカッシブなサウンドになります。

必要に応じてMod Env(モジュレーション・エンベロープ)をフィル ターのフリケンシーにアサインすることもできます。

- アルペジエイターの(ON/OFF)ボタンを押してオンにし、鍵盤で コードを押さえながらアルペジエイターの(RATE)ノブを回します。 これで、押さえているコードの構成音によるアルペジオになります。
- 3 コードを押さえたまま(DIRECTION/RANGE)ボタンを押してアル ペジオのタイプを選択します。

ディレクションLED がすべて消えている 時は、アルペジオ・ ディレクションはアッ プ(UP)になえからします。 これは毎谷からて最合い。 最低かって最低かって最低ない。 それレクションにす。 るタイプです。他の ディレクションにはダ ウン、アップ&があります。



(SHIFT)ボタンを押しながら(ARPEGGIATOR)ボタンを数回押してレンジを選択します。

レンジLEDがすべて消えている時は、鍵盤で押さえたコードと同じ オクターブでアルペジオ演奏します。2が点灯している時は元のオク ターブをアルペジオ演奏してから1オクターブ上を演奏し、また元の オクターブに戻ります。3が点灯しているときは2のさらに1オクター ブ上も演奏し、2と3の両方が点灯している状態では3よりもさらに 上のオクターブまで演奏します。

(ARPEGGIO HOLD)ボタンを押すと、鍵盤から手を放してもアル ペジオ演奏をそのまま続けます。

(5)

シンセ・セクションのファクトリー・プログラムにアルペジエイターを使用 したものもあります。ディスプレイに表示されるプログラム名の後ろに 「ARP」と書かれているものや、アルペジオ・カテゴリーのプログラムでア ルペジエイターを使用しています。

マスター・クロック

マスター・クロック機能を使ってアルペジエイターとエフェクトを同期させ てみましょう。

- (SHIFT)ボタンを押しながら(ARPEGGIATOR)ボタンを押して、 アルペジエイターをマスター・クロックに同期させると、マスター・クロックLEDが点灯します。この時、演奏中のアルペジオは停止します が、この後の手順で再び演奏が始まりますのでコードを押さえたま ま、あるいはサスティン・ペダルを踏んだままにしておきましょう。
- (2) (SHIFT)ボタンを押しながら(MST CLK)ボタンを押し、バリュー・ ダイアルでテンボを指定します。テンポはBPM表示です。ここでは120BPMに合わせてみましょう。テンポの指定が済みましたら、 (SHIFT)ボタンをもう一度押してテンポ指定モードを解除します。



- ③ (MST CLK)ボタンを4回タップするとタップ・テンポ入力ができます。
- (3) アルペジオ・レイト・ノブを回すとマスター・クロックに比例した周期 (または音符)でアルペジエイターを演奏させることができます。 ノブを回しながらLCDディスプレイをご覧ください。1/4は1/8の 半分の「スピード」になります。また、数字の後ろにある「T」は三連符 の意味です。ここでは1/8にしましょう。
- ディレイをオンにし、(SOURCE)ボタンを数回押してシンセのLED を点灯させ、シンセ・セクションをディレイのソースにします。

ディレイ・タイムをアルペジオのリズムに合うように慎重に合わせて も良いのですが、他の方法もあります。ディレイ・タイムをアルペジオ と同じクロックに同期させてみましょう。 (SHIFT)ボタンを押しながらエフェクト・ダイアルの間にある (FOCUS/MST CLK)ボタンを押します。すると、MST CLK LED が点灯します。



- (6) エフェクトの(RATE/TEMPO)ダイアルを回し、ディレイ・タイムを 設定します。
- (7) ここではアルペジオの半分の音価(スピードは倍速)の1/16に合わせてみましょう。(AMOUNT)ノブを時計の12時の位置を超えない程度にし、アルペジオの音とディレイ音を聴いてみましょう。

アルペジオ、シンセ・セクションのLFO、ディレイ、2つのエフェクトはこの方 法でマスター・クロックと同期させることができます。

この他にも、マスター・クロックはA/B2つのスロットに共通して使用できますので、それぞれスロット間でアルペジオやLFO、エフェクトの同期を行えます。

マスター・クロックに比例した周期(サブディビジョン)の組み合わせは何通 りも考えられますので、色々と試してみましょう。そしてナイスな組み合わ せが見つかりましたら友だちなどとどんどんシェアしましょう。

1/1よりも大きいサブディビジョンは1小節よりも長い周期になります。また、いくつかをマスター・クロックと同期させ、その他を同期させないという セッティングも行えます。

これで Nord Stage 2のガイド・ツアーは終了です。このツアーで本機の基本的な操作法をご理解いただけたと思います。

次のチャプターからリファレンス編が始まり、その後48ページからは Nord Sound Manager の解説が始まります。

4 プログラム・セクション



プログラム・セクションは、プログラムの保存や呼び出しの他に、システム・メ ニューなどの設定を行うセクションです。プログラム・セクションの下段にあ るボタンのシステム・メニューをはじめとする4つのメニューにつきまして は、42ページからのチャプター11で詳しくご紹介します。

トランスポーズ・オン/セット

Nord Stage 2のトランスポーズは半音単位で最大±6半音まで行えま す。設定は(TRANSPOSE)ボタンを押しながらバリュー・ダイアルで行い ます。もう一度(TRANSPOSE)ボタンを押すとトランスポーズが解除さ れます。

トランスポーズはプログラムごとにメモリーできます。

スロット・ボタンA & B

各プログラムには独立した2つのスロット A/B があります。各スロットに はそれぞれ3つのインストゥルメントとエフェクトのセッティングがメモリー できます。

2つのピアノやスプリット・オルガン(詳細は18ページをご参照ください) など、同じタイプのインストゥルメントを2つ同時に使用する場合は、両方 のスロットをオンにします。

両方のスロットをオンにするには、両方のスロット・ボタンを同時に押します。これにより最大で6つのインストゥルメントと8つのエフェクト(エフェクト1&2、ディレイx2、アンプ・シミュレーター/EQx2)を同時に使用することができます。

片方のスロットLEDが点滅している時、そのスロットがエディット可能な(エ ディット・フォーカス)状態になっています。この状態で音色エディットを行う と、スロットLEDが点滅しているほうの音色が変化します。 この状態でもう一方のスロット・ボタンを押すと、エディット・フォーカスがそのスロットに切り替わります。また、両方のスロットがオンになっている状態を解除して、片方のスロットのみを残したい場合は、残したいほうのスロット・ボタンを押しながら、オフにしたいほうのスロット・ボタンを押します。

別のスロットからセッティングをコピーする

スロット・ボタンを押しながらバリュー・ダイアルを回します。この操作で別のスロットから現在選択しているスロットにセッティングをコピーできます。 この時、ディスプレイにはNord Stage 2にメモリーされたすべてのプロ グラムがスロットごとに表示され、その中からコピーしたいスロットを選択 できます。

モノ・アウトプット

(SHIFT)ボタンを押しながら(SLOT A/MONO OUTPUT)ボタンを押 すと本機のすべてのサウンドとエフェクトがモノラルになります。これはプ ログラムごとではなく、グローバルのセッティングになりますので、電源を 切るか、この設定を解除しない限りすべてのプログラムで有効となります。

- モノ・アウトプットを解除してもすべてのサウンドがステレオになるとは限り ません。オルガン・セクションは常にモノラルですし、一部のピアノ・サウンド や、アナログ・シンセシス、FM、デジタル・ウェーブフォームもモノラルです。 サンプルはステレオのものがほとんどです。
- ステレオのインストゥルメントをモノラルのエフェクトに接続すると、アウト プットはモノラルになります。詳細はエフェクトのチャブターをご覧くださ い。

デュアルKB

デュアルKB機能を使うと、本機のMIDI INに接続した外部MIDIキーボードでスロットBを演奏することができます。

この時、本機のキーボードはスロットAをコントロールし、スロットBは外部MIDIキーボードでコントロールできます。なお、このモードでは本機のキーボードで両方のスロットを演奏することはできません。

この機能は2台のキーボードでNord Stage 2の音源を弾き分けたい場合などに効果的です。

デュアルKBモードのメリットは、面倒なMIDIの設定をすることなく、すぐに 外部MIDIキーボードを使って本機のスロットBをコントロールできる点に あります。また、このモードをオン/オフすることで外部MIDIによる本機の 音源部へのアクセスをオン/オフできるシンプルさも利点です。

もうひとつのメリットは本機のキーボードでスロットAを演奏している間に 外部MIDIキーボードで演奏するスロットBの音色を本機のパネルでコント ロールできる点が挙げられます。例えば、スロットAを本機のキーボードで 演奏しながらスロットBのドローバー・セッティングを調整することも可能で す。

デュアルKBモードは、各スロットの設定も含めてプログラムごとに保存が できます。これで複雑なキーボード・セッティングであっても、ボタンひとつ で設定完了ですから、ライブなどのシチュエーションに最適です。

デュアルKBモードのMIDIチャンネルは本機のMIDIメニューで設定します。
 詳しくは44ページをご参照ください。

SHIFT/EXITボタン

パネル上のボタンには「もうひとつの機能」を備えたものが多くあり、 (SHIFT)ボタンを押しながらアクセスするものがあります。(SHIFT)ボ タンにより、ボタンの下にプリントされている機能を使うことができます。 例えば、(SHIFT)ボタンを押しながら(PROGRAM 3)ボタンを押すと、 MIDIメニューのパラメーターにアクセスできます。

例外的に、キーボード・ゾーンの設定やエフェクト・ソースの選択など、 (SHIFT)ボタンを押さず、代わりにダブルクリックでアクセスできる機能 もあります。

- ③ (SHIFT)ボタンを押しながらノブを回すと、そのパラメーターをエディット することなく保存された設定値をディスプレイで確認することができます。
- ⑤ (SHIFT)ボタンを押しながらセレクター・ボタン((PIANO TYPE)を除く) を押すと、セレクターの選択肢が逆回りで切り替わります。

(SHIFT)ボタンは(EXIT)ボタンとしても機能 します。メニューから抜けたり、保存操作を中止 する時に使用します。



ライブ・モード

ライブ・モードは「自動的に、かつ常にすべてを保存し続けるプログラム・メ モリー」という特殊なものです。ライブ・モードをオンにすると、パネル上の セッティングの変更を絶えず保存し続けます。本機の電源を切ったり、別の 通常のプログラムを選ぶと、その寸前のパネル・セッティングをライブ・メモ リーに保存しますので、次に電源を入れたり、通常のプログラムからライ ブ・メモリーを選択すると、前回自動的に保存したセッティングを呼び出せ ます。Nord Stage 2には5個のライブ・メモリーがあります。

ライブ・メモリーの内容を通常のプログラムに移したい場合は、通常の保存 操作でできます(本ページの「保存、別名で保存」もご参照ください)。

逆に通常のプログラムをライブ・メモリーに移すことも可能です。この場 合、現在選択しているライブ・メモリーの内容が移してくるプログラムの セッティングに入れ替わります。またこの場合、プログラムからライブ・メモ リーに移されたセッティングは、エディットをした時点で自動的に保存され ますのでプログラムとして保存した状態に戻すことはできませんのでご注 意ください。

プログラム・ボタン

5つのプログラム・ボタンで同一ページ内の5つのプログラムを瞬時に選ぶ ことができます。



プログラムとは?

プログラムは本機のほぼすべてのセッティングをメモリーしたものです(シ ステム機能は多くがグローバル・メモリーのため除きます)。Nord Stage 2の内部構造を理解するためにも、次の点にご留意ください:

- 各スロットには3種類のインストゥルメント、4基のエフェクト、エクス ターナル・セクションの設定を独立してメモリーできます(オルガン・モデ ルは常に両方のスロットで共通して使用しますので除きます)。
- プログラムにはA/B両方のスロットのセッティングをメモリーできます。
 つまり、6つのインストゥルメント、8基のエフェクト、2つのエクスターナル・セッティングをひとつのプログラムにメモリーできます。
- またプログラムには、エクスターナルA&B MIDIチャンネル、センド・オン・ロード・セッティング(詳しくは44ページのエクスターナル・メニューをご参照ください)を除くすべてのエクスターナル・メニュー、各インストゥルメントのアウトプット・ルーティング(詳しくは42ページをご覧ください)をメモリーできます。
- グローバル・エフェクト(コンプレッサー/リバーブ)やロータリー・エフェクトは両方のスロットに共通で使用し、そのセッティングはプログラムにメモリーされます。
- スプリット、レイヤー(キーボード・ゾーン)、モーフ・アサインはプログラムの一部としてメモリーされます。

システム、サウンド、MIDI、エクスターナル

プログラム・ボタンは、(SHIFT)ボタンと併用して4つのメニューの入り口 としても機能します。各メニューのセッティングに関する詳細は42ページ 以降のメニューのチャプターをご参照ください。

パニック

(SHIFT)ボタンを押しながら5つ目のプログラム・ボタンを押すと、内部的 にオール・ノート・オフ・メッセージが発生してすべての発音が止まると同時 にパラメーターの一部も強制的にリセットされます。これはMIDIを使用し た時やライブ時に音が止まらなくなった場合に使用します。

保存する、別名で保存する

(STORE)ボタンはエディットしたプログラムを保存する時に使用します。 また、エディットしたプログラムの名前を変えて保存したり、カテゴリーを変 えて保存する時にも使用します。保存動作そのものは、すでにプログラム があるメモリー・ロケーションに上書き保存を行うものです。

プログラムを保存する

プログラム名やカテゴリーを変更せずに保存する手順は次のとおりです:

- (STORE)ボタンを一回押します。すると、(STORE)ボタンと現在 選択しているプログラムのプログラム・ボタンのインジケーターが点 減し、ディスプレイには「Store to X: X: X」(Xはそれぞれ現在選択 しているバンク、ページ、プログラム・ナンバー)とプログラム名が表 示されます。
- (2) 次にこれから保存するプログラムのバンク、ページ、プログラム・ナンバーを選択します。選択にはバリュー・ダイアルを使用します。この時、プログラムを5個のライブ・メモリーのうちひとつに保存することも可能です。保存先を選んでいる時は、選んだ保存先を音に出して確認できますのでキープしておきたかったプログラムを誤って上書きしてしまうことを防げます。
- △ この時点で保存を中止したい場合は、(EXIT)ボタン(SHIFT)を押します。
- (3) 新しいプログラムの保存先が決まりましたら、(STORE)ボタン をもう一度押して保存を確定させます。この時、ディスプレイに 「Program Stored!」のメッセージが短い時間表示されます。

プログラムに名前をつける

プログラムの名前やカテゴリーを変えて保存する、いわゆる別名で保存す る手順は次のとおりです:

- (SHIFT)ボタンを押しながら(STORE AS...)ボタンを一回押し ます。この時、(STORE)ボタンが点滅し、ディスプレイの上の行に 「Name」と表示され、その右には現在のカテゴリー名が、下の行に はエディットしたプログラム名が表示されます。
- (2) バリュー・ダイアルを回してカテゴリーを変更します。
- (3) (PAGE >)ボタンを押して新しいプログラム名の最初の文字の位置 にカーソルを動かします。
- (4) 次の手順で新しい名前を入力します:
- ・左右のカーソル移動は〔PROGRAM PAGE〕ボタンで行います。
- ・文字の入力/変更はバリュー・ダイアルで行います。使用できる文字はアルファベット(大文字、小文字)、数字、スペース、ハイフン(-)です。
- (SHIFT)ボタンを押しながら(INS)ボタン(PAGE >)を押すとカーソルの位置にブランクが入ります。
- (SHIFT)ボタンを押しながら(DEL)ボタン(PAGE <)を押すとカーソルの位置で文字を消去します。
- また、(KB ZONE 2)(KB ZONE 3)ボタンを押しながら入力する方法 もあります。バリュー・ダイアルで文字を選択し、(KB ZONE)ボタンを 離すとカーソルが自動的にひとつ右へ移動します。
- (5) (STORE)ボタンをもう一度押し、通常の保存操作と同じ手順で新し い名前のプログラムが保存されます。
- ▲ (STORE)ボタンをもう一度押す前に保存を中止したい場合は(EXIT)ボタ ン(SHIFT)を押します。
- プログラム名の変更(リネーム)やカテゴリーの変更は Nord Sound Manager でも行えます。詳しくは52ページをご参照ください。

カテゴリー

すべてのプログラムはカテゴリーに分類されています。これは例えばオル ガンの音色を探したいという時に便利です。カテゴリー名は右下の図のよ うにディスプレイの上の行に表示されます。

A:01:1	Grand
Grand	Imperial

カテゴリーは21種類あります。

カテゴリー		
Acoustic	FX	String
Bass	Grand	Synth
Clav	Harps	Upright
Arpeggio	Lead	Vocal
E Piano 1	Organ	Wind
Wurl (E Piano2)	Pad	User
Fantasy	Pluck	None

カテゴリー・ソート・モードを使用して特定のカテゴリーのみをディスプレイ に表示させることもできます。詳しくは18ページをご覧ください。

バリュー・ダイアル

ディスプレイの右にあるバリュー・ ダイアルは、プログラムを選択した り、システム・パラメーターを設定し たり、プログラム名の文字入力に使 用します。



MIDIインジケーター

MIDIインジケーターはMIDI端子から、またはUSBコネクターからMIDI信 号を受信した場合(USB-MIDIがオンの場合)にLEDが光って表示します。

MIDI信号を受信すると早い周期で点滅し、長い周期の点滅はNord Stage 2が実際に使用している(本機が受信して発音できるMIDIチャンネルの信 号を受信した場合など)MIDI信号を表示します。

プログラム・バンク・ボタン

(PROGRAM BANK)A~Dボタンを押してバンクを選択します。1バンク には20ページあり、1ページには5プログラムが入っています。



オルガン、ピアノ、シンセ・イニシャライズ

これらのボタンは(SHIFT)ボタンと併用して現在選択しているプログラム を初期化する時に使用します。「初期化」とは、ひとつのインストゥルメント が音になり、すべてのエフェクトがそのインストゥルメントに接続され、他の インストゥルメントはすべてオフになることを指します。また、オンになった インストゥルメントのセッティングはそのプログラムに保存されているセッ ティングに戻ります。

インストゥルメントがひとつもオンになっていないプログラムでも、すべて のセッティングはプログラムにメモリーされています。

オルガン・スプリット

オルガン・スプリット・イニシャライズは、二段鍵盤のオルガンをシミュレート する際に使用します。本機の鍵盤のロワー・パートをスロットAが、アッパー・ パートをスロットBがそれぞれ担当します。

プログラム・ページ・ボタン

(PROGRAM PAGE <)、(PROGRAM PAGE >)ボタンは20あるプ ログラム・ページの選択に使用します。各ページには5個のプログラムがあ り、各プログラム・バンクには20のページがあります。プログラム・ページ・ ボタンを押すと、瞬時にそのページにあるプログラム・ナンバーをロードし ます。

ペンディング・ロード

バンク・ボタンやプログラム・ページ・ボタン、あるいはバリュー・ダイアルで 瞬時にプログラムが変わってほしくない場合は、ペンディング・ロードが有 効です。(SHIFT)ボタンを押しながら(PROGRAM PAGE <)ボタンを 押します。ペンディング・ロードがオンの場合、バンクやプログラム・ページ・ ボタンやバリュー・ダイアルを操作すると、選択したバンクやページにある プログラム名がディスプレイに表示されますが、各プログラムのセッティン グはロードされません。またこの間、プログラム・ボタンのLEDが点滅し、 ペンディング・ロードがオンになっていることを知らせます。ペンディング・ ロードは、プログラム・ボタンを押してプログラムのセッティングがロードさ れると解除されます。

ソート・モード

(SHIFT)ボタンを押しながら(PAGE >)ボタンを押すとカテゴリー・ソート・モードがオンになり、(SHIFT)ボタンを押しながらもう一度(PAGE >) ボタンを押すとアルファベット順のソート・モードになります。これらのモードで並び替えられたプログラムはバリュー・ダイアルで一覧できます。

カテゴリー・ソートではプログラムがカテゴリー別に表示されます。カテゴ リーの変更は、ページ・ボタンのどちらかを押して行います。カテゴリー・リ ストは17ページをご参照ください。

アルファベット順のソートではプログラム名のABC順に表示されます。頭 文字を変更する場合は、プログラム・ページ・ボタンのどちらかを押します。 プログラム・バンク・ボタンやプログラム・ボタンはソート・モードとは関係なく 使用できます。例えば、ABC順ソート・モードでBetty 1というプログラムを 探したとします。そのプログラムはバンク2、ページ20、プログラム3だった とします。この時、(PROGRAM 4)ボタンを押すとプログラム名に関係な くバンク2、ページ20、プログラム4が選択できます。

カーソル、デリート、インサート

(STORE AS...)を使った保存作業中に〔PROGRAM PAGE〕ボタンを押 すとプログラム名のカーソル移動ができ、文字はバリュー・ダイアルで選択 できます。

[SHIFT]ボタンを押しながら(DEL)や(INS)ボタンを押してプログラム名の文字のデリートやインサートが行えます。

マスター・クロック

マスター・クロックを使用す ると、アルペジエイターや シンセのLFO、ディレイやエ フェクト1、2を同期させるこ とができます。まったく同じ 周期で同期させるだけでな



く、それぞれ比例関係にある異なる周期で同期させることも可能です。これによりリズミックな効果を簡単に引き出せます。

(MST CLK)ボタンを4回タップするとテンポ入力が行えます。タップ入力 がうまく行かなかった場合、ディスプレイにはタップ入力が何回入力された かが表示されます。

[SHIFT]ボタンを押しながら(MST CLK)ボタンを押してマスター・クロックのテンポを調整することができます。調整はバリュー・ダイアルで行います。(SHIFT)ボタンをもう一度押すと元のモードに戻ります。ここで設定したテンポはプログラムに保存されます。

また、マスター・クロック・テンポの設定は〔TAP/SET〕ボタンを押しながら でも行えます。

マスター・クロック・テンポが設定されると、そのテンポに対して比例関係に ある様々なテンポ(サブディビジョン)で同期させることができます。マス ター・クロックを変更してもこの関係を崩さずに同期できます。

サブディビジョンの詳細につきましては、各ユニット(LFO、アルペジオ、エフェクト)のページをご参照ください。

モーフ・アサイン

モーフ機能は複数のパラメーターを1つの「ソース」でリアルタイム・コント ロールできるパワフルな機能です。フットペダルでピアノとシンセ・サウン ドの音量バランスをコントロールしたり、モジュレーション・ホイールでB3 サウンドを劇的に変化させたり、アフタータッチでエフェクトを徐々に盛り 上がらせたりすることを、同時に行えるのです。

プログラム・バンク・ボタンの上にある3つ のモーフ・アサイン・ボタンがそれぞれの モーフ・ソースを表しています。



モーフ・アサインの設定は(MORPH ASSIGN)ボタンを押し、同時に変化させ たいパラメーターを変化させたい方向に 動かします。また、設定を行う前に変化さ

せたいパラメーターの設定値をあらかじめ決めておくことが設定のコツです。



変化させるパラメーターの初期値(プログラムにメモリーされた設定値)を 「ファースト・セッティング」(上図の左のダイアル)とし、それからそのパラ メーターを変化させた後のセッティング(セカンド・セッティング)に設定し ます。モーフ・ソースが最大値になった時点でセカンド・セッティングに達し ます。

(MORPH ASSIGN)ボタンをダブルタップすると、ボタンを押し続けた状態になり、複数のパラメーターを設定する時間的余裕ができます。この状態はもう一度(MORPH ASSIGN)ボタンを押せば解除できます。

ひとつのモーフ・ソースで複数のパラメーターを同時にコントロールできます。また、パラメーターは数値が増える方向だけでなく、逆に減る方向にも設定できます。

☆ モーフ機能は2つのスロットにまたがって動作します。

モーフ・デスティネーション

ロータリー・エンコーダー(周囲にパラメーターの設定値を表示する LED が付いているノブ)のパラメーターや、ロータリー・スピード、オルガン・ド ローバーでモーフ機能を設定できます。同時にコントロールできるパラ メーター数に制限はありません。

モーフ・ソースでコントロールできるパラメーターは次のとおりです:

- ・ 個々のインストゥルメントのレベル
- シンセ・オシレーターのシェイプ
- シンセ・フィルターのフィルター・フリケンシー
- オルガン・セクションのドローバー
- ・個々のエフェクトのレイト/テンポ
- ・個々のエフェクトのアマウント(エフェクト量)
- エスクターナル・セクションのパラメーター・セッティング(詳しくは40 ページをご参照ください)
- ロータリー・スピード(モジュレーション・ホイールでのみコントロール可能。スロー/ファストの切替ではなく、連続的にスピード・コントロールを行えます。)

モーフィングを消去する

(SHIFT)ボタンを押しながら(MORPH ASSIGN)ボタンを押すとフォー カスされている(エディット可能状態の)スロットのモーフィングを消去 できます。特定のモーフ・アサインのみを消去したい場合は、(MORPH ASSIGN)ボタンを押しながら消去したいパラメーターのモーフ・セッティ ング(セカンド・セッティング)が消えるようにノブを回します。

KBゾーン

Nord Stage 2のキーボードは、ロワー(LO)、アッパー(UP)、ハイ(HI) の最大3ゾーンにスプリットすることができます。どのインストゥルメント・セクションもどのゾーンに(あるいはすべてのゾーンに)アサインすることができます。

スプリットの設定はKBゾーン・ボタンで行います。スプリットをオンにし、 (SHIFT)ボタンを押しながら各インストゥルメント(またはエスクターナ ル・セクション)のバリュー・ダイアルの下にある(KB ZONE SELECT)ボ タンでアサインしたいゾーンを設定します。



ゾーンを設定するとバリュー・ダイアルの下にある緑のLEDでアサインしたゾーンを表示します。

【SHIFT】ボタンを押しながら(KB2)、(KB3)ボタンを押すとロワー、アッパー、ハイの境界(スプリット・ポイント)を変更できます。スプリット・ポイントは鍵盤上の緑のLEDで表示されます。

KBゾーンの設定は両方のスロットに対して同時に有効となりますが、インストゥルメントのアサインはスロットごとに設定できます。

スプリットに関する詳細は20ページをご参照ください。

コモン機能

Nord Stage 2のインストゥルメントやエフェクト、エクスターナル・セク ションで共通した機能をここでご紹介します。

インストゥルメント&エクスターナル・コントロール

Nord Stage 2には3種のインストゥ ルメント(オルガン、ピアノ、シンセサイ ザー)が内蔵されています。各インス トゥルメントとも2パートのマルチティン バーです。つまり、各インストゥルメント ごとに2つのサウンド・エンジンを搭載し ているということです。これらの「エンジ ン」は内部的にA、B2つのスロットにそ れぞれ接続されています。



エクスターナル・セクションは外部MIDI 機器をコントロールする時(あるいは

シーケンサーなどにMIDIデータを送信する時)に使用します。スロットAと Bとで異なるMIDIチャンネルで送信することができます。

レベル・エンコーダー

レベル・エンコーダーは各セクションのトップに配置され、各インストゥルメントの音量を調整できます。

インストゥルメントの音量はモーフ機能 でリアルタイム・コントロールをすること も可能です。詳しくは18ページをご覧く ださい。また、エクスターナル・セクション のレベル・エンコーダーではMIDIデータ を送信できます。



オン/オフ・ボタン

オン/オフ·ボタンは各セクションや各 インストゥルメントのオン/オフを行 うボタンです。オンの時は対応する LEDが点灯し、緑のLEDで使用して いるKBゾーンを表示します。また、



KBゾーンへのアサインはシフト・ボタンを押しながら操作する以外に、この ボタンをダブルタップすることでも行えます。

KBゾーン・セレクト・ボタン

各インストゥルメントのキーボード・ゾーンへのアサインは、このボタンで行います。(SHIFT)ボタンを押しながらアサインしたいゾーンを選択します。

スプリットを作成する

異なるインストゥルメントを鍵盤上の異なるエリアにアサインできるスプ リット機能の設定は非常に簡単です。手順は次のとおりです:

- 2つのインストゥルメントのKBゾーンをそれぞれ設定します。設定が 完了するとLED(LO/UP/HI)が点灯します。
- (2) バリュー・ダイアルの上にある(KB ZONES 2)ボタンを押します。 これでキーボードがアッパーとロワーの2つのエリアに分割されます。スプリット・ポイントは鍵盤上の緑のLEDで表示されます。
- (3) ロワー側にインストゥルメントをアサインしましょう。まず(SHIFT)ボ タンを押しながらアサインしたいインストゥルメントの(KB ZONE SELECT)をボタンを「LO」が点灯するまで押します。
- (4) 続いてもう一方のインストゥルメントをアッパーにアサインします。 (SHIFT)ボタンを押しながらアッパーにアサインするインストゥル メントの(KB ZONE SELECT)ボタンをUP/HI両方のLEDが点灯 するまで押します。

これで鍵盤上の2つのエリアにそれぞれインストゥルメントが配置されました。

(KB ZONE SELECT)ボタンをダブルタップして設定することも可能で す。この方法は、(SHIFT)ボタンを使用することなく、片手で操作できるた め便利な方法です。

(KB ZONES 3)ボタンを押すと3つのキーボード・ゾーンを使ったスプ リットを作成できます。(SHIFT)ボタンを押しながらアサインしたいイン ストゥルメントの(KB ZONE SELECT)ボタンを(または(KB ZONE SELECT)ボタンをダブルタップ)押します。ゾーンは次のとおりです:

- LO/UP/HIのLEDがすべて点灯しているインストゥルメントはすべての ゾーン(ゾーン1~3)で音が出ます。
- ・LOのLEDのみが点灯している場合はゾーン1でのみ発音します。
- ・LO/UPのLEDが点灯している場合はゾーン1と2で発音します。
- ・UPのLEDのみが点灯している場合はゾーン2でのみ発音します。
- ・UP/HIのLEDが点灯している場合はゾーン2と3で発音します。
- ・HIのLEDのみが点灯している場合はゾーン3でのみ発音します。
- LEDがすべて消えている場合、そのインストゥルメントは本機のキーボードでは発音されず、外部MIDI機器からの信号により発音します(そのインストゥルメントが別のMIDIチャンネルに設定されている場合のみ)。この場合、本機のキーボードでは発音しませんが、音色エディットなどパネル上の操作は行えます。



スプリット・ポイントの設定

ゾーン2と3のスプリット・ポイントの設定は、次の手順で行います:

- (SHIFT)ボタンを押しながら(SET LO SPLIT)ボタンを数回押します。緑のスプリット・インジケーターが鍵盤上のスプリット可能な位置を 移動します。スプリット・ポイントは各オクターブのCとFにあります。
- 上記と同じ手順で(SET HI SPLIT)ボタンを数回押してゾーン3のスプ リット・ポイントを設定します。
- ② 2つのゾーンでスプリットを設定する場合は、(SET LO SPLIT)ボタンでス プリット・ポイントを設定します。
- キーボード・ゾーン・スプリットはスロットA、Bの両方で共有します。

レイヤーにする

2つまたは3つのインストゥルメントを同じキーボード・ゾーンにアサインすることを「レイヤーにする」といい、鍵盤を弾くと複数のインストゥルメントが同時に発音します。例えばピアノをアッパー・ゾーンとハイ・ゾーンにアサインし、オルガンをハイ・ゾーンにのみアサインするといったように、スプリットとレイヤーを併用することも可能です。2つのスロットを同時に使用するというレイヤーの方法もあります。

オクターブ・シフト

(OCTAVE SHIFT)ボタンを使って、各インストゥルメントのピッチをオク ターブ単位で変更できます。なお、変更は各インストゥルメントの発音範 囲内で行えます。



ノート・レンジ

Nord Stage 2の各インストゥルメントには、それぞれ発音可能な範囲が あります:

- •オルガンは88鍵の最低音/最高音から上下1オクターブの範囲まで発音できます。
- ・ピアノは88鍵の最低音から1オクターブ下の範囲まで発音できます。
- シンセはオルガンと同様、88鍵の最低音/最高音から上下1オクターブの範囲まで発音できます。

各インストゥルメントとも、アサインされているキーボード・ゾーンに発音可 能範囲を超えるピッチが含まれるようなトランスポーズを行うことはできま せん。また、インストゥルメントをキーボードの全域で発音させる場合は、最 大で上下1オクターブまでのみトランスポーズを行えます。

スプリットを使用していて、2オクターブのゾーンにピアノがアサインされている場合、そのピアノは上下にトランスポーズ可能ですが、そのゾーンが ピアノの発音可能範囲に収まっている必要があります。逆に言えば、発音可能範囲に入っていれば、どんなゾーンの設定をしても発音できるという ことになります。



上図のように、C4~C6のキーボード・ゾーンにピアノをアサインしたとします。オクターブ・シフトを使用しない場合、ピアノはそのゾーンで実音で発音します。また、点線で表示したピッチもオクターブ・シフトを使って発音可能です。この例では2オクターブのゾーンではピアノを2オクターブにわたってトランスポーズすることができます。

ピッチ・スティックとサスティン・ペダル

ピッチ・スティックとサスティン・ペダルに反応す るかどうかは各インストゥルメントごと(または エスクターナル・セクション)に設定できます。

(SHIFT)ボタンを押しながら、各インストゥル メントの左側の(OCTAVE)ボタンを押すと、そ のインストゥルメントでサスティン・ペダルが使 用できるようになります。この時、SUSTPED LEDが点灯します。再度(OCTAVE)ボタンを 押すとピッチ・スティックが使用できる状態に切 り替わり、もう一度押すと両方が使用可能になり



ます。さらにもう一度押すと両方のLEDが消灯し、どちらにも反応しないようになります。

ピッチ・スティックのベンド・レンジは±2半音です。

ほとんどのファクトリー・プログラムでは、オルガンはピッチ・スティック、サ スティン・ペダルのどちらにも反応しないように設定されています。ピアノ はサスティン・ペダルのみ使用でき、シンセではほとんどのプログラムで両 方が使用できるようになっています。但し例外的なプログラムもあります。 また、ここの設定を変更してプログラムにメモリーしたい場合は忘れずに 保存しておきましょう。

ラッチ・ペダルとKBゲート

ラッチ・ペダル機能は、シンセのアルペジオのラッチ機能で、キーボードで 押さえたコードや各ノートのサスティンをペダルでコントロールし、しかも 他のインストゥルメントのサスティンに影響を及ぼさないという機能のこと です。ラッチ機能は(SHIFT)ボタンを押しながら各インストゥルメントの右 の(OCTAVE)(LATCH PED)ボタンを押してオンにします。この時ON LEDが点灯します。この機能は、ペダルを踏んだ時に弾いていた鍵盤にの みサスティンがかかるピアノのソステヌートとよく似ています。

Nord Triple Pedalを使用している場合、センターのペダルでラッチ・ペ ダル機能を使用できます。また、通常のサスティン・ペダルはローター/ラッ チ・インプットに接続して使用することも可能です。ローター/ラッチ・イン プットをすでにお使いで、新たにラッチ機能を使用する場合は、システム・メ ニューで設定を変更する必要があります。詳しくは43ページの「ローター/ ラッチ・ペダル機能」をご参照ください。

KBゲート機能は、ラッチ・ペダルを踏んでいる間はインストゥルメントを発音させないようにする機能です。

これらの機能は同時に使用することが可能です。その時は両方のLEDが 点灯します。

アウトプット・ルーティング

Nord Stage 2には、4系統のオーディオ出力があります。各インストゥル メントのアウトプットをアウトプット1&2(デフォルト)または3&4(以上ス テレオ)または3、4(モノ)へ自由にアサインできます。アウトプット・ルー ティングはプログラムごとに設定できますが、すべてのプログラムに適用 する(グローバル)ようにもできます。グローバル・セッティングはデフォルト の1&2になっています。グローバル・モードのデフォルト状態では、プログ ラムごとの設定を優先するようにメモリーされています。詳しくは42ペー ジのシステム・メニューのチャプターをご参照ください。

デュアル・スロット・セットアップ

(SLOT A) (SLOT B)の両方のボタンを押します。この時、両方のス ロットLEDが点灯し、両スロットともオンになります。どちらかのスロットが フォーカスされている場合、そのスロットのエディットをパネル上で行えま す。この時、フォーカスされているスロットのLEDが点滅します。スロットの フォーカスを切り替えるときは、そのスロット・ボタンを押します。

どちらかのスロットをオフにしたい場合は、残しておきたいほうのスロット・ ボタンを押しながら、オフにしたいスロットのボタンを短く押します。 他方のスロットから現在オンになっているスロットへセッティングをコピーす るには、コピー元のスロット・ボタンを押しながらバリュー・ダイアルを回し てコピー先のスロットを指定し、スロット・ボタンを放します。

両方のスロットをオンにすると1インストゥルメント・セクションにつき2つの サウンド、2つのエフェクト・セクションにアクセスできます。つまり、クラビ ネットとエレピ、あるいは2つのシンセというように2つのサウンドを同時に 演奏することができます。

但し、オルガン・セクションについては少し事情が異なります。2つの完全に 異なるサウンドではなく、オリジナルのB3や二段鍵盤のFarfisaやVoxの ように、1つのオルガン・エンジンを二段鍵盤として使用できます。

外部キーボードを使う:デュアルKB

外部キーボードを使ってスロットBをコントロールするための手順は次のとおりです:

外部キーボードの送信MIDIチャンネルを設定し、同じチャンネルをNord Stage 2の「Dual KB」チャンネルに合わせます。設定はMIDIメニューで 行います。詳しくは44ページをご参照ください。

(SHIFT)ボタンを押しながら(DUAL KB)ボタンを押します。すると、 DUAL KBのインジケーターが点灯します。

Nord Stage 2の鍵盤はスロットAをコントロールし、外部キーボードはスロットBをコントロールします。この時、両方のパネルをアクティブにすることはできません。

この機能は、ライブなどのシチュエーションでNord Stage 2とセカンド・ キーボードでNord Stage 2のサウンドを弾き分けたい場合に効果的で す。デュアルKB機能をオンにすることにより、面倒なMIDIの設定などを省 略してすぐに演奏することができます。また、この機能は本機のパネルから 簡単にオンにすることができ、すぐにセカンド・キーボードを本機の「第2鍵 盤」にすることができます。

もう1つのメリットは、どちらのスロットもエディット可能な点です。本機の 鍵盤は常にスロットAを、外部キーボードは常にスロットBをコントロールし ます。例えば、本機の鍵盤でスロットAのサウンドを片手で弾きながら外部 キーボードで演奏するスロットBのエディット(ドローバーなど)を同時に行 えるのです。

 デュアルKBの設定は、スロットのセッティングとともにプログラムにメモ リーされます。つまり、複雑なキーボードのセッティングもボタン1つで切り 替えることができ、ライブにうってつけの機能です。

さらに多くののキーボードを使用する

Nord Stage 2を2台以上のキーボードでコントロールしたい場合もある かも知れません。例えば、2台の外部キーボードで本機のオルガンを演奏 し、本機の鍵盤ではピアノを弾きたいという場合などが考えられます。本 機の自由度の高いMIDI設定機能により、これも問題なく行えます。詳しく はMIDIチャブターをご参照ください。

マスター・レベル

マスター・レベル・コントロールはパネルの左 上部にあります。ここでNord Stage 2の全 体音量とヘッドフォン出力を調節します。



 マスター・レベル・コントロールはプログラ ムにメモリーされません。

6 オルガン



Nord Stage 2のオルガン・セクションには、トーンホイールB3オルガン、 Vox、Farfisaの2種類のトランジスター・オルガンを忠実に再現した3タイ プのオルガン・モデルが内蔵されています。

オルガン・セクションには次の3つのメイン・エリアがあります:

- ・ベーシックなオルガン・サウンドを生み出すドローバー・セクション
- パーカッション・エフェクトをコントロールするパーカッション・エリア(B3 オルガン・モデルのみ)
- ビブラート/コーラス・エリア(オルガン・モデルによって使用できるエフェ クトや効果のかかり方が異なります)

ドローバー・ボタンを押している間に逆方向のボタンを押すこともできます。

Farfモデルでは、ドローバー・ボタンはレジスターのオン/オフ操作を行うス イッチとして動作します。

オルガン・モデルを選択する

オルガン・モデルの選択は(ORGAN MODEL)ボタンで行います。なお、1 プログラムにつき使用できるオルガン・モデルは1つのみです。

ドローバー・ボタン

Nord Stage 2のドローバーは機械式ドローバーに代わり、ボタンとLED バー・グラフを採用しました。これによる大きなメリットはプリセットやプロ グラムを切り替えたときに常に正しいセッティングを表示できる点にありま す。また、ボタンでのドローバー操作も無理なく自然に行なえます。

本機のドローバーはオリジナル・オルガンの機械式ドローバーと同様、引き 出して音が出て、押し込むと音が小さくなる方式を採用しています。

ドローバー・ボタンは押し続けると自動的に音量が増減するようになっていますので、何度も繰り返しボタンを押す必要がありません。

※ ドローバーはモジュレーション・ホイールやコントロール・ペダルを使用して 劇的に音色を変化させることができるモーフ機能でコントロールすること ができます。

B3モデル

B3モデルはクラシックなエレクトロメカニカル・トーンホイール・オルガン を忠実にデジタル・モデルで再現したものです。オリジナル・サウンドのあら ゆるニュアンスを余すところなく忠実に再現できる革新的な技術を採用し て実現したこのモデルには、次のような主な特長もあります:

- オリジナルのコーラス、ビブラート・スキャナーを忠実に再現。
- ドローバー内部で不規則に発生するコンタクト・バウンスをモデリング。
- オルガン・サウンドの「ボディ」を構成するオリジナルの内蔵プリアンプの ユニークな周波数特性を忠実に再現。
- トーンホイール回路で発生するエネルギー・ロスによるコンプレッション 効果のシミュレーション
- ・オリジナル同様のトーンホイール・チューニングを採用。
- ・驚異的に素早いキーボード・レスポンス。
- 全鍵ポリフォニック。

B3ドローバー

トーンホイール・オルガンの各ドローバーの倍音のインターバルは、ドローバーの下にプリントされています。

ドローバーの基本的な操作法につきましては、前ページの「ドローバー・ボ タン」をご覧ください。各ドローバーからは打鍵したピッチに対して一定の 比率の倍音が発音されます。

下図はC3を打鍵した時に発音する9本のドローバーのピッチ・インターバルを示したものです。SUB3ドローバーは、実際には FUND(ファンダメンタル:基音)の5度上のピッチですが、多くの場合、聴感上は基音よりも低いピッチに聴き取られます。



ビブラート&コーラス

トーンホイール・オルガンに内蔵されたオリジナルのビブラート&コーラス・ スキャナーは、モジュレーションがかかったディレイ・ラインと回転式スキャ ナーを組み合わせたものでした。ビブラート・エフェクトには、オーディオ信 号にフェイズ・シフターが接続されていました。コーラス・エフェクトでは、 フェイズ・モジュレーションされた音が原音にミックスされていました。

Nord Stage 2ではオリジナルと同様、3種のコーラス(C1~C3)と3種 のビブラート(V1~V3)を使用できます。[VIBRATO/CHORUS]セレク ター・ボタンでこのうちの1種を選択できます。このエフェクトは、スロットご とにオン/オフできます。



パーカッション

パーカッションは、1基のエンベロープ・ジェネレーターで構成され、2ndま たは3rdの倍音を発音し、サウンドにさらなるアタックを追加できるエフェ クトです。

エンベロープ・ジェネレーターは、打鍵時にわずかの瞬間だけ開きます。 パーカッションはシングル・トリガーでノン・レガートのエフェクトですから、 他に打鍵している音がない時でないと発音しません。言い換えれば、単音 やコードを弾いている時に、それらの音が完全にリリースしない間に別の 鍵盤を打鍵(レガート奏法)しても、その音にはパーカッションがかからな いということです。このため、すべての音にパーカッションをかけたい場合 は、前の音を完全にリリースさせてから次の音を打鍵するノン・レガートで 演奏する必要があります。 (VOLUME SOFT)ボタンはパーカッションの音量をノーマルとソフトの 切替を行います。また、(DECAY FAST)ボタンはパーカッションのディケ イのスロー/ファスト切替を行います。



パーカッション・ノーマル

[HARMONIC THIRD]ボタンはパーカッション・エフェクトのソースとなる 倍音を2ndまたは3rdから選択する時に使用します。

▲ パーカッションはレイヤーやスプリットを使用していない場合は、スロットA またはスロットBのどちらかで使用できます。なお、レイヤーやスプリットを 使用している場合は、スロットBでのみ使用できます。

キー・クリック・コントロール

パーカッション・ソフト

オリジナルのキー・クリックは鍵盤の接点でランダムに発生するコンタクト・ バウンスによるもので、当初は設計ミスと捉えられていました。ところがこ の設計ミスによるサウンドがミュージシャンの間で好評となり、今ではオル ガン・サウンドに欠かせないファクターの1つになっています。キー・クリッ クのレベルはサウンド・メニューで設定できます。詳しくは44ページをご参 照ください。

B3モデルには3種のトーンホイール・モデルがあり、これらはサウンド・メ ニューで切り替えることができます。新品同様のクリーンなサウンドから長 年使い古したサウンドまで、劇的にサウンドが変化しますのでぜひお試しく ださい。

オルガン・プリセット | & ||

1プログラム内に2つのオルガン・プリセットをスロットごと、オルガン・モデ ルごとにメモリーできます。オルガン・プリセットは、プログラムやスロットを 切り替えることなく、オルガン・サウンドをクイックに切り替えるためのもの です。



プリセット I&IIの切替は(PRESET II)ボタンで行います。各プリセットには ドローバーのセッティング、ビブラート/コーラスのオン/オフがメモリーで きます。

Voxモデル

オリジナルのVox™オルガンは1960年代初期に出現したすべてのトラン ジスター式コンボ・オルガンの中で最も有名なオルガンと言えます。トラン ジスター技術の普及により、オルガンをコンパクトでポータブルな楽器と して開発できるようになりました。トーンホイール式オルガンの分厚く力強 いサウンドと比べて、トランジスター式オルガンのサウンドは一般的に耳に つく線の細いものでしたが、一聴してすぐにそれと分かる特徴的なサウン ドと高い可搬性、そしてクールなデザイン(リバースカラーのキーボードや クローム・フィニッシュの「Zフレーム」スタンドなど)で当時は絶大な人気を 誇りました。そのサウンドはやがて時代を超えたクラシックなものとなり、 Nord Stage 2で忠実に再現されました。

Voxドローバー

Voxモデルの各ドローバーの名称は、ドローバーLEDの直上の行にプリントされています。

ドローバーの基本的な操作法につきましては、23ページの「ドローバー・ボ タン」をご参照ください。

Voxモデルでは7本のドローバーで各倍音の音量をコントロールして音 色を作ります。各倍音は打鍵したノートと一定比率のピッチになります。下 図は、C3を打鍵した時の各ドローバーのインターバルを示したものです。 図のとおり、アッパーとロワーでドローバーの構成が異なりますが、Nord Stage 2でもそれを忠実に再現しています。



アッパーとロワーの右端のドローバーは図のようなインターバルの倍音を 1つにまとめたもので、フィルターを通したソフトでダークなサウンドと、 フィルターを通さないブライトで耳につくサウンドの2種類があります。

▲ 右端のドローバーが完全に押し込まれた状態(音量が0の状態)になると、 Voxオルガンは音が全く出なくなります。

ビブラート

Voxモデルにはいくつかのビブラートとコーラスがあり、ビブラート・セクションの(ON)ボタンでオン/オフを切り替えられます。ビブラートのV3 セッティングはオリジナルを忠実に再現したものです。

Voxモデルのビブラートは上下鍵盤(スウェル/グレート)に共通してかかります。

Farfモデル

Farfisaオルガンは、特徴的なブザーのようなサウンドから、これまで製造 されたすべてのオルガンで最もそれと分かるサウンドのビンテージ・キー ボードですが、実はサウンド・バリエーションが豊富な点もこのオルガンの 大きな特徴なのです。Fluteはソフトな音、Oboeは耳につく音、Trumpet はブライトな音というように、各音色名はその楽器音をシミュレートしたも のではなく、その端的な特長を楽器名に例えたものです。

Farfレジスター

Farfモデルの各ドローバー/レジスター名は、ドローバーLEDの上の1行目 にプリントされています。

Farfモデルではドローバーはオン/オフ・スイッチ、または「レジスター・セレクター」として機能します。オリジナルのFarfisaオルガンでは、ドローバーではなく、インストゥルメント・ボイス(実際には異なるフィルター・セッティング)を切り替えるスイッチが装備されていました。このため、ドローバー・ボタンも各ボイスのオン/オフ・スイッチとして動作します。ドローバーLEDの5~8でオンになっているボイスを、1~4はオフになっているボイスをそれぞれ表示します。以下の表はオリジナルのレジスター名をまとめたものです。

レジスター・セレクター	ボイス	パネル上の表記
1	Bass 16	BASS16
2	Strings 16	STR16
3	Flute 8	FLUTE8
4	Oboe 8	OBOE8
5	Trumpet 8	TRMP8
6	Strings 8	STR8
7	Flute 4	FLUTE4
8	Strings 4	STR4
9	基音に対してオクターブ と5度上のブライトな音	

下の図はC3を打鍵した時の各ボイスのピッチ・インターバルを示したもの です。ピッチが同じボイスがありますが、音色のキャラクターはそれぞれ異 なります。



ビブラート

オリジナルのFarfisaオルガンのビブラートはそれぞれ周期の異なるライトとヘビーという2種類の基本的なビブラート・モードがありました。Farfモデルでも複数のタイプのビブラート、コーラスを内蔵し、ビブラート・セクションの(ON)ボタンでオン/オフできます。

V1、V2、V3の各セッティングはオリジナルを忠実に再現したものです。また、Farfモデルではビブラートは両方のスロットに共通してかかります。

スウェル・コントロール

スウェルはエクスプレッション・ペダルでコントロールするオルガン特有の 機能です。これは単なるボリューム・コントロールではなく、B3では特殊 な方法を使用しており、音量とともに音色も微妙に変化しているのです。 Nord Stage 2でスウェル・コントロールを使用する場合は、一般的なエ クスプレッション・ペダルを本機リアパネルの(ORGAN SWELL)インプッ トに接続(58ページをご参照ください)し、ペダルの設定をシステム・メ ニューで行います(42ページをご覧ください)。

エクスプレッション・ペダルが1つしかない場合でも、システム・メニューで モーフ機能のコントローラーとスウェル・ペダル機能を切り替えて使用でき ます。詳しくは43ページをお読みください。

ロータリー・スピーカー

ロータリー・スピーカーのコントロールはオルガン・セクションにあります。 ロータリー・スピーカーおよびそのセッティングに関する詳細は、39ページ のエフェクト・リファレンスをご参照ください。

7 ピアノ

ピアノ・サウンド

Nord Stage 2のピアノには6種類のタイプがあり、各タイプにはさらに いくつかのインストゥルメント・モデルがあります。ピアノ・インストゥルメン トはNord Sound Managerを使用してUSB経由で自由に追加すること ができます(詳細は46ページの「Sound Manager」をご参照ください)。

工場出荷時の状態では、厳選されたアコー スティック、エレクトリック・ピアノや、ハー プシコードなどの高品位サウンドが内蔵さ れています。これらのサウンドはサウンド そのもののみならず、それぞれの楽器な らではのあらゆるニュアンスも余すところ なく収録すべく、膨大な時間を費やして作 成されたものばかりです。各ピアノ・インス トゥルメントは各音域を細かく、しかも数 多くの強弱も含めて作成しました。そのた め、あらゆるサウンドがナチュラルで弾き 心地よいものばかりなのです。

すべてのピアノ・インストゥルメントはフ ラッシュ・メモリーに保存されていますの で、Nordから無料で公開される新規インス トゥルメントなどを自由に追加したり入れ 替えたりすることが可能です。ピアノ・サン プルのメモリー容量は約500MBです。

Nord Sound Managerから本機にビアノ・インストゥルメントを転送(ダウンロード)すると、そのインストゥルメントのタイプに応じたメモリー・ロケーションに自動的に保存されます。

ピアノ・インストゥルメントを使用するプログラムにはそのピアノ・インストゥ ルメントのタイプやモデル・ナンバーを識別するデータが入っています。そ のため、本機にロードされていないピアノ・インストゥルメントを必要とする プログラムを選択すると、タイプ、モデルLEDが点滅し、ロードされていな いモデル・ナンバーを表示します。この場合、同じタイプの別のモデルを選 び直すか、またはNord Sound Managerを使用して必要なインストゥル メントを本機にロードしましょう。



ピアノ・セレクト

タイプ

(PIANO TYPE)セレクターでピアノのタイプを選択します。

タイプ	内容
Grand	アコースティック&エレクリック・グランド・ピアノ
Upright	アップライト・ピアノ
E Piano 1	エレクトリック・ピアノ(タイン)
E Piano 2	エレクトリック・ピアノ(リード)
Clavinet	クラビネット
Harpsi	ハープシコード

 ピアノ・タイプはNord本社のHansという人が設定しましたので、別のピア ノ・タイプに変更することはできません。

インフォ

(SHIFT)ボタンを押しながら(TYPE/INFO)ボタンを押すと、その時選択 していたピアノの名前や簡単な説明、バージョン・ナンバーがディスプレイ に表示されます。

モデル

各ピアノ・タイプには本機のメモリー内容に応じてそれぞれいくつかのピアノ・モデルが入っています。(MODEL)ボタンを押して、欲しいサウンドを 選択します。この時、モデル・ナンバーがLEDディスプレイに表示され、モデ ル・ネームがLCDディスプレイの2行目に表示されます。

▲ 不慮の事故などでフラッシュ・メモリーに保存されているデータに破損が 起きた場合、本機の電源投入時にデータが破損されている旨のメッセージ がLCDディスプレイに表示されます。また、そのデータを使用しているプ ログラムを選択するとタイプおよびモデルLEDが点滅します。(SHIFT/ EXIT)ボタンを押して本機の使用を続けられますが、早めにNord Sound Managerを使用して破損したデータの消去とリロードをしてください。

クラビネット

オリジナルのClavinet D6では、ロッカー・スイッチでピックアップの組み 合わせを選択できました。Nord Stage 2でも(TYPE)ボタンでクラビ ネットを選択し、(MODEL)ボタンを押すことでこの機能を忠実に再現して います。

ピックアップ・タイプ

Clav Model A	「ネック」側のピックアップを使用したソフトなサウンド
Clav Model B	「 「ブリッジ」側のピックアップを使用したブライトなサウンド。
Clav Model C	 両方のピックアップを同位相で出力したパワフル・サウンド。
Clav Model D	両方のピックアップを使用し、位相を反転させ、基音成分がほ とんど打ち消された線の細いサウンド。

ダイナミクス

(SHIFT)ボタンを押しながら(MODEL)ボタンを押すと、ダイナミクス・レ スポンスを選択することができます。これでレスポンス・カーブを変更する ことができ、お好みのタッチで演奏することができます。

すべてのLEDが消灯している場合、デフォルトのカーブが使用されています。ダイナミクス・セッティング1はデフォルトと比べてややライトなタッチで最大ベロシティに達し、2ではよりライトなタッチで、3はもっともライトなレスポンス・カーブです。

アコースティックス

アコースティックス機能によりストリング・レゾナン スやメカニカル・ノイズなど、ピアノ・サウンドをより リアルに演奏することができます。



ストリング・レゾナンス

ストリング・レゾナンスとは、演奏しているピッチの基音や倍音成分にピアノの他の弦が共鳴する音響現象のことです。

この機能をオンにすると、グランド・ピアノやアップライト・ピアノの内部で起きている豊かで素晴らしい音響現象をすべての音域で再現します。

また、サスティン・ペダルを踏んでいくつかのノートを打鍵しても、ストリン グ・レゾナンスの音を聴き取れます。

ストリング・レゾナンス機能をサポートしていないビアノを選択した場合、この機能は使用できません。また、スモール(Sml)バージョンのグランド、アップライト・ビアノ、エレクトリック・ビアノはこの機能をサポートしていません。

ロング・リリース

ロング・リリースをオンにすると、アコースティックまたはエレクトリック・ピアノのリリースがわずかに長くなります。これは、アコースティックやエレクトロメカニカル・インストゥルメントのダンパー・テンションを調整するのと同じ効果となります。また、リリースのかかり具合はノートごとにタッチの強弱に反応するようになっています。

ロング・リリース機能はv5.3以降のビアノ・サウンドに対応しており、この機能に対応していないビアノを選択した場合、この機能は使用できません。

ペダル・ノイズ

ペダル・ノイズはNord Triple Pedal(別売オプション)を本機に接続した 時に使用できる機能です。この機能をオンにすると、アコースティックやエ レクトリック・ピアノのサスティン・ペダルから発生するメカニカル・ノイズを 再現することができます。また、Nord Triple Pedalはダイナミック方式を 採用していますので、サスティン・ペダルを踏む力具合でノイズの量を調節 することができます。

 ペダル・ノイズ機能をサポートしてないピアノを選択した場合、この機能は 使用できません。

Nord Triple Pedal

Nord Stage 2は3本ペダルを装備したNord Triple Pedal(別売オプ ション)に対応しています。このペダルを使用することにより、Nord Stage 2のパワフルな機能をさらに引き出すことが可能です。

● ペダル・ノイズ機能は、対応したピアノを選択した場合にのみ使用できます。

ハーフ・ペダリング

Nord Triple Pedalでは、ハーフ・ペダリングに対応したピアノの選択時に ハーフ・ペダリング・テクニックを使用することができます。

ソステヌート

センターのペダルはソステヌート/ラッチ・ペダルです。このペダルを使用すると、その時打鍵していた音のみにサスティンがかかり、その他の音にはサスティンがかかりません。なお、この機能は(SHIFT)ボタンを押しながら右の(OCTAVE)ボタンを押してラッチ・ペダル機能をオンにすることで使用できます。オンにすると、(LATCH PED)LEDが点灯します。

ソフト・ペダル

左のペダルはソフト・ペダル、別名ウナ・コルダです。このペダルを踏むと、 すべての音域で音量がわずかに下がると同時にわずかに丸みを帯びた音 色になります。

スロット・デチューン/Clav EQ

Clav EQ

オリジナルのクラビネットでは、ピックアップ・セレク ター以外に4つのロッカー・スイッチがあり、内蔵EQを コントロールすることができました。これらのEQセッ ティングをNord Stage 2でも再現しました。(SLOT DETUNE/CLAV EQ)ボタンを押して、オリジナルと同 様にBrilliant/Treble、Medium/Softのセッティング を選択できます。



 Medium/Softのセッティングは(SHIFT)ボタンを押しながら(SLOT DETUNE/CLAV EQ)ボタンを押すと選択できます。

スロット・デチューン

スロットA、Bの両方を使ってレイヤーにしている場合、各スロットのチューニングをわずかにずらすデチューン機能を使用できます。なお、この機能は ピアノ・サウンドでのみ使用できます。

8 シンセ



はじめに

Nord Stage 2のシンセ・セクションは、オルガンやピアノ以外の様々なサ ウンドを簡単に作り出せるライブ向けシンセサイザーとして設計しました。 コンパクトさと使いやすさを重視しながらも、突き刺さるようなリード、図 太いベース、ゆらめくようなパッドやキラキラとしたベル系など、あらゆる タイプのシンセ・サウンドを作り出せます。このチャプターではシンセ・セク ションのすべてのパラメーターをご紹介します。

このシンセ・セクションは、忠実にモデリングされたアナログ・スタイルの 波形を基本とした減算合成(サブトラクティブ:倍音を豊富に含んだオシ レーター波形をフィルターで加工する)タイプのシンセサイザーですが、 FM(周波数変調)やウェーブテーブル・シンセシスや、サンプル波形もオシ レーター波形に使用できます。Nord Sample Libraryの膨大なストック をサンプルとして利用できるほか、ユーザー自身のオリジナルサンプルも Nord Sample Editorを使用することにより作成できます。

サブトラクティブ・シンセシスでは、倍音を豊富に含んだブライトなオシレー ター波形を出発点とし、フィルターで倍音を削り取ることにより音色を作 り出します。また、発音中にフィルターのカットオフ・フリケンシーをモジュ レーションさせることにより、ダイナミックな音色変化を生み出します。

シンセ・セクションには、パルス・ウィズス・モジュレーションやオシレーター・ シンク、FMアマウントのコントロールなど、ダイナミックでリッチなサウン ドを生み出す様々なパラメーターを内蔵しています。また、リアルタイム の音色変化に欠かせないエンベロープを2基、LFOを1基搭載しました。

シンセ・セクションの最大同時発音数は18ボイスで、これを各スロットにダ イナミック・アロケーション(必要なボイス数を互いに融通しあう)方式で シェアします。2つのスロットを同時に使用すれば、2つの異なる音色をレ イヤーにしたり、スプリットにすることができます。これにより極めて複雑な シンセ・サウンドを作り出すことも可能です。

オシレーター

設計に多大な時間を費やし、パワフルで多様 なサウンドを生み出すオシレーター・セクション には、アナログ、FM(周波数変調)、デジタル・ ウェーブテーブル、サンプル・プレイバックとい う4種のアーキテクチャーを装備しています。 各アーキテクチャーはそれぞれに特化したアル ゴリズムを内蔵し、(SHAPE)ノブでコントロー ルすることができます。

osc
SHAPE SKIP SHAPE SKIP

例えば、アナログ・カテゴリーには様々な波形 (ハード・シンクの有無を含む)が内蔵され、 (SHAPE)ノブでパルス・ウィズス・モジュレー ションやシンク・オシレーターのピッチなど、そ

れぞれの波形に特化した音色変化が得られます。この(SHAPE)パラメー ターはLFOやモジュレーション・エンベロープでコントロールし、ダイナミッ クなサウンドを作り出すことも可能です。また、(SHAPE)パラメーターは モーフ機能でコントロールこともできます。

さらに、このオシレーター・セクションには各ボイスにつき複数のエクスト ラ・オシレーターを内蔵した波形もあり、これらはユニゾン・パラメーター (35ページをご参照ください)で使用することができます。これらのバー チャル・オシレーターは発音数を消費することなく分厚いサウンドを作り出 すことができます。

シェイプ

シェイプ・コントロールは、各波形やアルゴリズムによりそれぞれ異なる方 式でオシレーター波形のサウンドを様々に変化させることができるパラ メーターです。モジュレーション・エンベロープやLFOによるコントロール に加えて、モーフ機能を使ってモジュレーション・ホイールやアフタータッ チ、エクスプレッション・ペダルでリアルタイムにコントロールすることがで きます。

```
① ウェーブテーブル・セクションでは(SHAPE)ノブは使用しません。
```

シェイプ・モジュレーション

〔SHAPE MOD〕ノブはシェイプ・パラメーターによるモジュレーション量を調整するノブです。シェイプ・パラメーターはモジュレーション・エンベロープやLFOでモジュレーションすることができます。

ウェーブフォーム・セレクター・ボタン

(WAVEFORM)セレクター・ボタンでオシレーターのカテゴリーを選択し、 LEDディスプレイの下にあるセレクター・ダイアルで波形やアルゴリズムを 選択します。

アナログ波形

アナログ波形には三角波、ノコギリ波、パルス波があり、それぞれにセレク ター・ダイアルで選択できる4種のバリエーション波形があります。概略を 下の表にまとめました。

表示	波形	内容
	通常の三角波、ノコギリ 波、パルス波	無加工の波形です。
ShP	シェイプで変化する波形	三角波:シェイプ・コントロールで倍音が 増えます。
		ノコギリ波:シェイプ・コントロールにより位 相が最大180°変化するノコギリ波が追加 され、最大値ではピッチが1オクターブ変化 したようなサウンドになります。
		パルス波:シェイプ・コントロールでパルス 幅を調整します。
dtn	デチューン可能なデュア ル波形	2つの波形のピッチをシェイプ・ノブで±1オ クターブの範囲で調整できます。
Snc	シンク波形	ハード・シンク用のセカンド・オシレーターの ピッチを調整できます。

波形を変更すると、その名前がLCDディスプレイに短時間表示されます。

三角波

三角波は、奇数次倍音のみをわずかに含んだ波形です。



ノコギリ波

ノコギリ波は、整数次倍音を豊富に含んだブライトなサウンドで、あらゆる タイプのシンセ・サウンドに適した波形です。



パルス波

パルス波は、奇数次倍音(3倍音、5倍音、7倍音 ... n倍音)を含んだ波形 で、パルス幅が50%の時に矩形波になります。この波形はパルス幅によっ て倍音構成が大きく変化するのが特徴です。下の図は、パルス幅が50%、 10%、5%時の波形と倍音構成(スペクトラム)をまとめたものです。



ウェーブフォーム・セレクター・ボタンで「ShP」を選択した時、(SHAPE) ノブを使い、パルス幅を50%から1%まで変化させることができます。ま た、(SHAPE)はモーフ機能(19ページをご参照ください)やLFO、モジュ レーション・エンベロープでコントロールすることも可能です。この波形は 様々なタイプのサウンドに適していますが、ノコギリ波に比べて軽めのサ ウンドにマッチします。

ノイズ

ファクトリー・サウンド・バンクのサンプル・セレクションにホワイト・ノイズと ピンク・ノイズのサンプルが入っています。

オシレーター・シンク波形

ノコギリ波、パルス波、三角波で「Snc」オプションを選択すると、オシレー ター・シンクをかけることができます。オシレーター・シンクは、一方のオシ レーター(マスター)の周期でもう一方のオシレーター(スレーブ)の周期 を強制的にリセットさせるテクニックです。シンク波形を選択すると、表に 現れない「隠れた」オシレーターが作動します。オシレーター・シンクは、い わゆる「ハード・シンク」サウンドと呼ばれるリード・サウンドに最適な方法で す。オシレーター・シンクをかけると、2つのオシレーターのピッチはマス ター・オシレーターのピッチに強制的にロックされます。この時、スレーブの ピッチを(SHAPE)ノブで変化させると、マスター・オシレーターの倍音が スレーブのピッチに共鳴して、音色全体は特定の倍音が大きく強調された アクの強いサウンドになります。



オシレーター・シンクを使用する時は、(SHAPE)や(SHAPE MOD)を モーフ・アサインやモジュレーション・エンベロープでコントロールすると倍 音構成に連続的な変化が起こり、効果的です。

フリケンシー・モジュレーション

フリケンシー・モジュレーション(FM:周波数変調)、あるオシレーター(モ ジュレーター)が別のオシレーター(キャリア)の周波数を変調(モジュレー ト)することが基本的な考え方です。キャリアはさらに別のオシレーターを モジュレートすることもあります。Nord Stage 2のFMシンセシスでは、 最高3つまでのオシレーター(オペレーター)を直列に配置し、モジュレー ターの一部にフィードバックを備えたものも含め、様々な FM アルゴリズ ムを内蔵しています。



上の図は2個のオペレーターによるFMシンセシスの概念図で、深くFM変 調した結果の波形を示したものです。

変調後の波形はオペレーター自身のサイン波と比べてはるかに多くの倍 音を含み、変調の深さによってサウンド・キャラクターも大きく変化します。

FMシンセシスには、オシレーターの数やフィードバックの有無、各オシレーターの周波数比が異なる多くのFMアルゴリズムを内蔵しています。

- ・FMアルゴリズムの選択は、ウェーブフォーム・ダイアルで行います。
- (SHAPE)パラメーターでモジュレーション量やフィードバック量を調整 できます。

FMアルゴリズムは1オシレーター、2オシレーター、3オシレーターの基本 タイプがあり、それぞれにフィードバックを備えています。デフォルト状態 ではフィードバックはオフになっています。

[SHAPE] ノブでFMアマウント(変調の深さ)とフィードバック量をコント ロールします。ノブを回すとすべてのモジュレーター出力が同時に上がり ます。FMアマウントが増加する(変調が深くなる)につれ、倍音の量も多 くなります。[SHAPE] パラメーターをモジュレーション・エンベロープや LFOでコントロールすると音色が連続的に変化します。また、モーフ機能 を使ってモジュレーション・ホイールやアフタータッチ、ペダルでコントロー ルすることも可能です。 各アルゴリズムはそれぞれ固定の周波数比になっています。必要に応じて これらのアルゴリズムを選択して使用します。アルゴリズムを選択すると、 そのアルゴリズムのオペレーター数や周波数比、フィードバックの有無な どがLCDディスプレイに表示されます。LEDディスプレイには周波数比が 表示され、フィードバックがあるアルゴリズムにはドットが付きます。下の表 はすべてのアルゴリズムの周波数比やフィードバックの有無などをまとめ たものです。

FMアルゴリズム

LED	LCD	内容(FB= フィードバック)
Sin	1-0P (+FB)	キャリアのみ FB 付き
11	2-0P 1:1	キャリア+モジュレータ 周波数比=1:1
21	2-0P 2:1	キャリア+モジュレータ 周波数比 =2:1
31	2-0P 3:1	キャリア+モジュレータ 周波数比 =3:1
41	2-0P 4:1	キャリア+モジュレータ 周波数比 =4:1
51	2-0P 5:1	キャリア+モジュレータ 周波数比 =5:1
61	2-0P 6:1	キャリア+モジュレータ 周波数比 =6:1
71	2-0P 7:1	キャリア+モジュレータ 周波数比 =7:1
81	2-0P 8:1	キャリア+モジュレータ 周波数比 =8:1
91	2-0P 9:1	キャリア+モジュレータ 周波数比 =9:1
1.1	2-0P 1:1 (+FB)	キャリア+モジュレータ+ FB 周波数比=1:1
2.1	2-0P 2:1 (+FB)	キャリア+モジュレータ+ FB 周波数比 =2:1
3.1	2-0P 3:1 (+FB)	キャリア+モジュレータ+ FB 周波数比 =3:1
4.1	2-0P 4:1 (+FB)	キャリア+モジュレータ+ FB 周波数比 =4:1
5.1	2-0P 5:1 (+FB)	キャリア+モジュレータ+ FB 周波数比 =5:1
6.1	2-0P 6:1 (+FB)	キャリア+モジュレータ+ FB 周波数比 =6:1
7.1	2-0P 7:1 (+FB)	キャリア+モジュレータ+ FB 周波数比 =7:1
8.1	2-0P 8:1 (+FB)	キャリア+モジュレータ+ FB 周波数比 =8:1
9.1	2-0P 9:1 (+FB)	キャリア+モジュレータ+ FB 周波数比 =9:1
111	3-0P 1:1:1	キャリア+モジュレータ 周波数比=1:1:1
211	3-0P 2:1:1	キャリア+モジュレータ 周波数比=2:1:1
311	3-0P 3:1:1	キャリア+モジュレータ 周波数比=3:1:1
511	3-0P 5:1:1	キャリア+モジュレータ 周波数比 =5:1:1
911	3-0P 9:1:1	キャリア+モジュレータ 周波数比=9:1:1
221	3-0P 2:2:1	キャリア+モジュレータ 周波数比 =2:2:1
421	3-0P 4:2:1	キャリア+モジュレータ 周波数比 =4:2:1
821	3-0P 8:2:1	キャリア+モジュレータ 周波数比 =8:2:1
1.11	3-0P 1:1:1(+FB)	キャリア+モジュレータ+ FB 周波数比=1:1:1
1.21	3-0P 1:2:1(+FB)	キャリア+モジュレータ+ FB 周波数比 =1:2:1
1.31	3-0P 1:3:1(+FB)	キャリア+モジュレータ+ FB 周波数比=1:3:1
1.51	3-0P 1:5:1(+FB)	キャリア+モジュレータ+ FB 周波数比=1:5:1
1.91	3-0P 1:9:1(+FB)	キャリア+モジュレータ+ FB 周波数比=1:9:1
1.F2	3-0P 1:1:2(+FB)	キャリア+モジュレータ+ FB 周波数比=1:1:2
2.F2	3-0P 2:1:1(+FB)	キャリア+モジュレータ+ FB 周波数比=2:1:2
3.F2	3-0P 3:1:2(+FB)	キャリア+モジュレータ+ FB 周波数比=3:1:2
5.F2	3-0P 5:1:2(+FB)	キャリア+モジュレータ+ FB 周波数比=5:1:2
9.F2	3-0P 9:1:2(+FB)	キャリア+モジュレータ+ FB 周波数比=9:1:2

ヒント! 1オペレーターのアルゴリズムで、(SHAPE)ノブをOにすると純粋
 なサイン波になります。

ウェーブテーブル

このカテゴリーには62種類の様々な特徴のデジタル波形が内蔵されています。これらの波形は他のカテゴリーでは得られないようなサウンド・キャラクターで、リッチで興味深いサウンドの波形を厳選しました。また、波形の作成には、鍵盤上の全域で使用しやすいように先進的なウェーブテーブル・シンセシス技術を採用しました。

デジタル波形の中にはスペクトラム上複数のピークを備えたボイスのよう なサウンド作りに適したもの(3、7、8、12)や、複数のスペクトラムをオー バーラップさせたもの(5、6、18、19)などもあります。他にも倍音成分を 非常に多く含みつつ、基音成分が希薄なもの(21、23、26、27)などもあ ります。これらの波形を使用して、異なるフィルター・セッティングにするだ けでも、かなり豊富なサウンド・バラエティーを得られます。

デジタル・ウェーブテーブル・カテゴリーを選択した時は、(SHAPE)ノブは
 使用しません。

サンプル

サンプル・カテゴリーではNord Sample Libraryからのサンプルをオシ レーターの波形として使用することができ、後段のフィルターなどで加工 することができます。これにより、Nord Stage 2のシンセ・セクションは非 常に幅広いサウンドを得ることができます。Nord Sample Editorを使用 すればユーザー自身によるオリジナル・サンプルを本機にロードさせること も可能です。

Nord Stage 2のサンプル・メモリーは最大で約384MBのNord Sample Libraryフォーマットのファイルをメモリーできます。また、各サン プル・ファイルは自由に入れ替えることができます。なお、工場出荷時の状 態でも非常に多くのサンプル・ファイルが内蔵されていますが、本機に付属 のDVD-ROMやNord ウェブサイト(www.nordkeyboards.com)にはさ らに膨大なサンプルがあります。

サンプルの選択は(WAVEFORM)ダイアルで行います。

スキップ・サンプル・アタック

サンプル使用時は、(SHAPE)コントロールでスキップ・サンプル・アタック 機能が使えます。この機能をオンにすると、サンプルの再生開始ポイントが 波形の先頭ではない別のスタート・ポイントから再生され、サンプル波形の アタック部分の大部分か、すべてをバイパスさせることができます。

ロード・サウンド

シンセ・セクションで作ったサウンドをプログラムとして保存すると、当然な がら他のセクションのセッティングも含めて1つのプログラムとして保存さ れます。ところが、シンセ・セクションだけはプログラムとは関係なくシンセ・ サウンドだけを独自に保存したり、呼び出したりすることができます。この 方法で、お気に入りのシンセ・サウンド・ライブラリーを構築していつでも必 要なときにアクセスすることができます。

シンセ・サウンドを選択する

Nord Stage 2には300個のシンセ・サウンド/パッチ専用のメモリー・ロ ケーションがあります。シンセ・サウンドの選択は、(SHIFT)ボタンを押しな がら(WAVEFORM)ボタンを押し、(WAVEFORM)セレクター・ダイアル を回すと行えます。各シンセ・サウンド名はLCDディスプレイに表示され、 同時に本機で演奏できる状態になります。

フィルター・セクション

フィルターは音色のキャラクターを決定づけ る最も重要なコンポーネントのひとつです。 オシレーターによって生み出された倍音構 成をフィルターで加工し、同時にフィルター は様々な機能で変調させることができます。 Nord Stage 2では、クラシカルなシンセサ イザー・フィルターの様々な特徴を受け継い だ設計を採用しました。

Nord Stage 2には複数のフィルター・タイ プがありますが、基本的なパラメーターは共 通しています。(FREQUENCY)はカットオフ・ フリケンシーを、(RESONANCE)はレゾナン スをそれぞれコントロールします。



フィルター・ボタン

フィルター・タイプの選択は(FILTER)ボタンを押して行います。Nord Stage 2に搭載されたフィルターを1つずつご紹介します:

ローパス - LP 24 & LP 12



カットオフ・フリケンシーよりも高域の成分は弱められ、低域成分はそのま ま通過します。

LP12(12dB/oct)のフィルターは24dBのフィルターよりも多くの高域 成分を残す特性があります。このタイプのフィルターは初期のOberheim シンセサイザーで採用されていました。また、12dBフィルターは2ポー ル・フィルターとも呼ばれています。

LP24はクラシックないわゆる「シンセ・フィルター」で、Minimoogや Prophet-5などに採用されたタイプのフィルターです。このタイプのフィ ルターは24dB/octのスロープにより、12dBフィルターよりも急激に高 域成分をカットします。別名、4ポール・フィルターとも呼ばれています。

 これらのLPフィルターでは、カットオフ・フリケンシー周辺の帯域を強調 するレゾナンスを使用できます。レゾナンスを上げるとサウンドは少し細 くなります。

ハイパス - HP



HP では、フィルター・フリケンシーより低域が弱められ、高域はそのまま通過します。

バンドパス- BP



バンドパス・フィルターは、フィルター・フリケンシー周辺の信号を通し、フィ ルター・フリケンシーよりも高域、低域を弱めます。

レゾナンスは通過させる帯域の幅を調整します。

ノッチ



ノッチ・フィルターは、バンドパス・フィルターとちょうど反対の動作、つまり フィルター・フリケンシー周辺の帯域をカットし、その他の帯域を通過させ ます。

・レゾナンスはノッチ・フィルターがカットする帯域の幅を調整します。

フィルター・フリケンシー



フィルター・フリケンシーでカットオフ・フリケンシー、つまりフィルターが カットし始める周波数を設定します。このパラメーターはモーフ機能でコン トロールすることができます。

上の図はローパス・フィルターにおける3つの異なるフィルター・フリケン シーのようすをイラストにしたものです。図の左からスロープまでの範囲 が、フィルターから通過できる帯域となります。スロープから右の帯域は フィルターによって弱められます。このスロープが左へ行くほどサウンドは ソフトになります。スロープの頂点にある「こぶ」はレゾナンスで作られま す。以上、理科の時間でした。

KBトラック

音響の基本をおさらいをしましょう。オシレーター波形のピッチが上がると、その波形の倍音も一緒に上がります。それをフリケンシー固定のフィルターに通した場合、ピッチが上がるにつれてこもった音になってしまいます。この現象を解消するのが、KBトラックの役割です。

KBトラックがオフの場合、フィルター・フリケンシーの設定は演奏する音程 に関わらず常に一定です。オンの場合は、演奏する音程に応じてフリケン シーが移動します。

レゾナンス

レゾナンスは、フィルターの特性をさらに細かく調整するパ ラメーターです。レゾナンスが上がるとカットオフ・フリケン シー周辺の帯域が強調され、サウンド全体は徐々に線が細 くなります。さらに上げると、カットオフ・フリケンシー周辺 の帯域で起きていた共鳴現象が一層強くなり発振を始めま す。つまり、もうひとつの音がフィルターから発生するので す。この発振しているピッチは、フィルター・フリケンシーの 設定で変化します。



フリケンシー・モジュレーション1 - LFO

フィルター・フリケンシーはロー・フリケンシー・オシレーター、つまりLFOで コントロールすることができます。モジュレーション量は〔FREQ MOD1〕 ノブで設定できます。

フリケンシー・モジュレーション2

(FREQ MOD 2)ノブは2種類のモジュレーション量をコントロールしま す。ノブを時計の12時の位置から右に回すとモジュレーション・エンベロー プによるモジュレーション量の調整、逆に左へ回すとベロシティでフィル ター・フリケンシーを変化させるモジュレーション量を設定できます。

エンベロープ

エンベロープは「音のかたち」、つまり打鍵してから音が鳴り終わるまでの 時間的変化を作り出します。



モジュレーション・エンベロープ

モジュレーション・エンベロープは3ステージ・タイプのエンベ ロープで、音色の時間的変化を作り出す場合に使用します。 例えば、フィルター・フリケンシーに使用した場合、ブライトな アタックを作り出したりします。モジュレーション・エンベロー プの各ステージは次のとおりです:

アタック

アタックは打鍵してからエンベロープが最大値に達するまでの時間を設定します。〔ATTACK〕ノブを時計回りに回すとアタック・タイムが長くなります。



ディケイ

鍵盤が押されている状態が続き、アタックの段階を終了すると、エンベロープはゼロ・レベルに向かって降下します。この時間を(DECAY)ノブで調整します。ディケイ・タイムが最大の場合、鍵盤から手が離れるまでエンベロープは最大値をキープし続けます。

リリース

鍵盤から手が離れると、エンベロープはリリースの段階に入ります。このリ リースにかかる時間を(RELEASE)ノブで設定します。

アンプ・エンベロープ

アンプは、オシレーターからスタートした信号の最終段階に あり、ここで音量をコントロールします。アンプをエンベロー プでモジュレーションさせると、サウンドが鳴り始めてから消 えるまでの時間的変化を作り出すことができます。この音量 の時間的変化は、私たちが音を聴き分ける際に非常に重要と しているファクターの1つです。ここの設定次第でサウンドは 「ソフトな音」、「ハードな音」、「短い音」、「伸びのある音」な どになります。



アンプ・エンベロープも、モジュレーション・エンベロープと同様、3ステージ構成です。

アタック

(ATTACK)ノブで打鍵時に音量がゼロから最大値になるまでの時間を 設定します。アタックの設定値が高い場合、サウンドの音量は徐々に上がる 「フェイドイン」の状態になります。

ディケイ

鍵盤が押されている状態が続き、アタックの段階を終了すると、エンベロープはゼロ・レベルに向かって降下します。この時間を(DECAY)ノブで調整します。ディケイ・タイムが最大の場合、鍵盤から手が離れるまでエンベロープは最大値をキープし続けます。

リリース

鍵盤から手が離れると、エンベロープはリリースの段階に入ります。このリ リースにかかる時間を(RELEASE)ノブで設定します。

LFO

LFOはLow Frequency Oscillator(ロー・フリケン シー・オシレーター)の略で、次のような特徴の波形を出 力します:



- LFOは一般的に非常に低い周波数の波形を出力します。
 LFOは一般的に可聴帯域の周速数を使用せず。
- LFOは一般的に可聴帯域の周波数を使用せず、 Nord Stage 2のオシレーターにある(SHAPE)パ ラメーターやフィルター・フリケンシーのモジュレーションといった、シン

マメーターやフィルター・フリケンシーのモシュレーションといった、シンセサイザーの他の機能のモジュレーションに使用します。

LFOの周期(周波数)は(RATE)ノブで設定します。レンジは0.03Hz~523Hzです。

(WAVE SELECTOR)ボタンでLFOの波形を選択します。

波形	内容
	矩形波(LED消灯時)
	ぶつ切りのような変化、例えばトリルやハッキリとしたトレモロなどに 使用します。
$\overline{\mathbf{N}}$	ノコギリ波
	傾斜のあるモジュレーションに使用します。
\land	三角波
	ナチュラルなビブラートやアナログ・シンセのパルス・ウィズス・モジュ レーションなどに使用します。
S/H	サンプル&ホールド
	ランダムなモジュレーションを生み出します。

マスター・クロック

[SHIFT]ボタンを押しながらLFOの(WAVEFORM)ボタンを押すとLFOの周期がNord Stage 2のマスター・クロックと同期します。

LFOがマスター・クロックと同期している場合、(RATE)ノブではマスター・ クロックのテンポに対する相対的な比率(サブディビジョン)をコントロール します。1/2はクロックのテンポに対する2分音符、1/4 は4分音符、1/8 は8分音符というようになります。マスター・クロック機能に関する詳細は 18ページをご参照ください。

ベロシティ

アンプ・エンベロープ・ベロシティ



(AMP ENV VELOCITY)LEDの点灯時は、キーボー ド・ベロシティでシンセ・サウンドの音量をコントロールできます。

モジュレーション・エンベロープ・ベロシティ

(MOD ENV VELOCITY)LEDが点灯しているときは、モジュレーション・ エンベロープの出力レベルをキーボード・ベロシティでコントロールできま す。鍵盤を強く弾くほどモジュレーション・エンベロープでコントロールして いるパラメーターの変化が大きくなります。

ボイス・セクション

このセクションで、シンセ・セクションの様々 なボイス・モードを設定できます。モノフォ ニックやポリフォニック、グライド(ポルタメン ト)の設定や、パワフルなユニゾン・モードも 使用できます。



ボイス・モード:モノ

モノ・モードでは単音のみを発音し、ちょうど昔のモノフォニック・シンセと同 じようになります。打鍵中に別の鍵盤を弾くと、後に弾いたほうのピッチに 替わります。この時、後に弾いた方の鍵盤から手を離すと最初に弾いた音 がリトリガーされます。

モノ・モードをオンにすると、セレクター・ボタンにある(MONO)LEDが点灯します。

ボイス・モード:レガート

レガート・モードもモノ・モードと同様、単音のモードです。モノ・モードとの 違いは、最初に打鍵した手を離さないうちに別の鍵盤を弾く(レガート奏 法)と、次の音のピッチに移りますが、エンベロープは前の音のものを途中 の段階のまま使い、エンベロープは新たにトリガーしません。

但し、打鍵した手を離してから次の鍵盤を弾いた(ノンレガート)場合は、次の音はエンベロープの先頭から発音します。

グライド

(GLIDE) ノブがゼロ以外の位置にある場合、グライド機能がオンになります。グライド機能とは、最初に弾いたピッチと次に弾いたピッチとの間を 滑らかにつなぐ機能で、ポルタメントとも呼ばれています。グライド機能 はレガートおよびモノ・モードでのみ使用できます。グライドのかかり方は 一定の比率でピッチが変化する、いわゆる「コンスタント・レイト」を採用し ていますので、最初に弾いたピッチと次に弾いたピッチの間隔が広い場合 は、次に弾いたピッチに達するまでに時間がかかります。グライドの深さは (GLIDE) ノブで設定します。

レガート・モードがオンの場合、グライドはレガート奏法をした時のみかかりますので、グライドをかけたい場合とかけない場合とを弾き分けることができます。

ユニゾン

Nord Stage 2のシンセ・オシレーターには、いくつかの「隠れた」オシレーターが内蔵されています。その数はアルゴリズムによって異なりますが、多くの場合2基から4基の間です。 ユニゾン機能をオンにすると、それぞれわずかにデチューン されたサウンドが元のサウンドに足され、非常に分厚いクラ シックなシンセ・サウンドになります。なお、このユニゾン機能 は発音数を減らすことなく使用できるのです!



ユニゾン用オシレーターの数およびデチューン量は、ユニゾン・セレクター・ ボタンで切り替えられます。

セッティング1、2、3はクラシックなデュアル・オシレーターのデチューン効果が得られ、数字が大きくなるほどデチューンが深くなります。

MULTI1、2、3のセッティングでは複数のボイスによるデチューン効果となり、非常にパワフルなサウンドになります。

ビブラート

ビブラートは、オシレーターのピッチをモジュレートしてナチュ ラルなビブラートをかけることができます。



このビブラートには3種の方法があり、ビブラート・セクション のセレクター・ボタンで切り替えることができます:

アフタータッチ(A T)が選択されている場合、アフタータッチでビブラート をかけることができます。

DLY1、2、3が選択されている場合、ビブラートが時間をかけて徐々にかかります。この時間の長さは、サウンド・メニューで設定できます。詳しくは42ページをご参照ください。

WHLが選択されている場合、ビブラートの深さをモジュレーション・ホイー ルで調整できます。

シンセ・サウンドを保存する

シンセ・サウンドを保存するには、(SHIFT)ボタンを押しながらビブラート・ セクションにある(STORE SYNTH)ボタンを押します。すると、ウェーブ フォーム・ディスプレイが点滅を始めます。ウェーブフォーム・セレクター・ダ イアルで保存先のメモリー・ロケーションを選択します。

シンセ・サウンドに名前を付ける場合は、プログラムのリネームと同様、 (PAGE)ボタンを押してカーソルを移動させ、バリュー・ダイアルで文字 を選択します。詳しくは16ページをご参照ください。

(STORE SYNTH)ボタンをもう一度押して保存が完了します。

● 保存作業を途中でキャンセルしたい場合は、(SHIFT)ボタンを押します。

アルペジエイター

アルペジエイターは、鍵盤上でコード を押さえると、そのコードの構成音を1 音ずつ次々に演奏する機能です。パラ メーターは、ディレクション、レンジ、ス ピードの3つです。Nord Stage 2の アルペジエイターでは、4種のディレク



ション(UP、DOWN、UP/DOWN、RANDOM)を複数のオクターブ・レン ジで演奏します。アルペジオのスピードは(RATE)でコントロールする場 合と、本機のマスター・クロック機能と同期させる方法の2通りがあります。

(HOLD)ボタンで鍵盤から手を離してもアルペジオ演奏を続けます。

(ON)ボタンを押してアルペジエイターをオンにします。(ARPEGGIO)セレクター・ボタンでディレクションを設定します。LEDが消灯しているときはアップ(低い音から高い音へ順に演奏)になります。その他にダウン(DN:高い音から低い音へ順に演奏)、アップ&ダウン(U/D:低い音順に演奏)、次に高い音順に演奏)、ランダム(RND:構成音をランダムに演奏)があります。

(SHIFT)ボタンを押しながら(ARPEGGIO)セレクター・ボタンを押すとオ クターブ・レンジを切り替えられます。LEDがすべて消えている状態では、 弾いたピッチのままでアルペジオ演奏をします。最大4オクターブまでレン ジを選択できます。

(RATE)ノブでアルペジオのテンポを設定します。テンポはBPMでLCD に表示されます。(RATE)の設定が非常に高い場合、ディプレイでの表示 は通常の4分音符単位のテンポに代わって8分音符または16分音符単位 のテンポ表示になることがあります。例えば「84:8」と表示されている場 合、8分音符単位のテンポ表示ですので、実際のテンポは168BPMとなり ます。

(SHIFT)ボタンを押しながらアルペジオの(ON)ボタンを押すとアル ペジエイターはNord Stage 2のマスター・クロックと同期します。この 時(RATE)ノブでアルペジオのサブディビジョンを選択することができ ます。サブディビジョンとはマスター・クロックに対する相対比のことです。 1/2は2分音符、1/4は4分音符、1/8は8分音符となります。また、「T」は 三連符です。

マスター・クロックとテンポの設定方法につきましては、18ページをご参照 ください。

サウンドを初期化する(SOUND INIT)

シンセ・サウンドをまっさらの状態から音作りしたい時などにイニシャライ ズ機能を使用します。この機能を使用するとその時選択していたシンセ・サ ウンドがデフォルトの基本セッティングになります。方法は(SHIFT)ボタン を押しながらアルペジオの(HOLD)ボタンを押します。

9 エフェクト



オーバービュー

Nord Stage 2のエフェクトは大きく分けて次の3つのメイン・カテゴリー に分類できます:

スロット・エフェクト - 各インストゥルメントごと(スロットごと)に使用でき るエフェクトです。スロット・エフェクトはメインのエフェクト・セクションと AmpSim/EQセクションにあります。すべてのスロット・エフェクトはスロッ トA/Bでそれぞれ独立していますので、各プログラムではそれぞれ異なる 2つのスロット・エフェクトを使用できます。これらのエフェクトはマスター・ クロックとの同期も可能で、非常にクリエイティブなサウンド作りに役立ち ます。

グローバル・エフェクト - すべてのインストゥルメントに同時にかかり、アウトプットのCH1&2にルーティングされています。グローバル・エフェクトにはコンプレッサーとリバーブがあり、フロント・パネルのいちばん右側にあります。

ロータリー・スピーカーはスロット・エフェクトと似た動作をしますが、わずかに異なる点があります。詳しくは39ページのロータリー・スピーカーの項目をご覧ください。

モノ/ステレオとエフェクト・ルーティングについて

エフェクトの中にはモノ・イン/モノ・アウトのものや、ステレオ・イン/ステレ オ・アウトのもの、あるいはモノ・イン/ステレオ・アウトのものがあります。こ れらの構成は各エフェクトの項目でご紹介します。

スロット・エフェクト スロット・エフェクトをオンにする

スロット・エフェクトをオンにするには、各エフェクト・セ クションの最下部にある(ON)ボタンを押します。す ると、LEDが点灯してどのインストゥルメントにエフェ クトがアサインされているかを表示します。(SHIFT) ボタンを押しながら(SOURCE)ボタンを押すと、エ フェクトがかかるインストゥルメントを切り替えられま す。



エフェクトがかかるインストゥルメントを選択する方法には(SOURCE)ボ タンをダブルタップする方法もあります。この方法は(SHIFT)ボタンを使 用する必要がなく、片手で操作できますので便利です。

スロット・エフェクトの設定をする

メインのエフェクト・セクション(EFFECT1/EFFECT2/DELAY)にある (RATE/TEMPO)、(AMOUNT)ノブで各エフェクトの音作りをします。 この2つのノブでコントロールするパラメーターはエフェクトごとに異な り、各エフェクトごとに次ページ以降でご紹介します。(RATE/TEMPO)、 (AMOUNT)ノブはモーフ機能でコントロールすることも可能です。詳し くは19ページをご参照ください。

(FOCUS)ボタン

複数のエフェクトをオンに している場合(エフェクト 1と2など)で、それぞれの エフェクトをエディットする 時は(FOCUS)ボタンでエ フェクトを切り替えて行い ます。(FOCUS)ボタンに あるLEDで、どのエフェクト



(エフェクト1、エフェクト2、ディレイ)がフォーカスされている(エディット 可能な状態)かを表示します。

マスター・クロック

マスター・クロックに同期可能なエフェクトを選択している場合で、 (SHIFT)ボタンを押しながら(FOCUS)ボタンを押すと、マスター・クロッ クとの同期を開始します。この時、(RATE/TEMPO)ノブの動作は通常の ものからマスター・クロックに対するサブディビジョンに切り替わります。

サブディビジョンの中にはキチンと割り切れるものだけがあるとは限りません。ディレイには感じの良いスウィング感や三連符になるものもあります。例えば、1/4S(スウィング)や1/4T(三連符)、1/4D(符点4分音符)などがあります。また、LFOやエフェクト1、2では周期の長いサブディビジョン(4/1、2/1など)もあり、これらは小節をまたぐような長い周期になります。

エフェクト・オフ時にエフェクト・タイプを選択する

エフェクトがオフの場合でも、オフになっているエフェクトのエフェクト・セ レクター・ボタンでエフェクト・タイプを選択できます。セレクター・ボタンを 1回押すと、セレクターLEDが短時間点灯してその時選択していたエフェ クトを表示します。また、セレクター・ボタンを繰り返し押すと、エフェクトを オンにしなくてもエフェクト・タイプを切り替えることができます。この方法 で、実際にエフェクトをオンにする前に正しいエフェクトを選択したかどう かを確認できます。

この機能はエフェクト1、2、アンプ・シミュレーション・モデル、リバーブで使用できます。

また、エフェクト・オフの状態でもエフェクトのエディットを行えます。この場合、設定値はディスプレイに表示されます。

エフェクト1

エフェクト1セクションには6種類のモジュレーション・タイ プのエフェクトがあり、セレクター・ボタンで切り替えます。 エフェクト1に入っているエフェクトは、次のとおりです:

A-Pan(オート・パン)

オート・パンは左右のアウトプット間をスムーズにサウンド が行き来するエフェクトです。



パンニングのスピードと広がりはそれぞれ(RATE/ TEMPO)と(AMOUNT)ノブでコントロールします。ま た、オート・パン・エフェクトはステレオ・イン/ステレオ・アウト です。

応用例:インストゥルメントのパンポットとして使う

A-Panエフェクトをインストゥルメントのマニュアル・パンポットとして使う ことができます:

パンを振りたいインストゥルメントのエフェクト1をオンにし、エフェクト・タイプからA-Panを選びます。

(2) (RATE/TEMPO)ノブをOにセットし、(AMOUNT)ノブでミキサーのパンポットと操作する要領で左右間のお好きな位置に定位させることができます。

Trem(トレモロ)

トレモロは音量をモジュレートして周期的に変化させるエフェクトで、エレク トリック・ピアノによく使われます。トレモロ・エフェクトはステレオ・イン/ス テレオ・アウトです。

(RATE/TEMPO)と(AMOUNT)ノブでトレモロの周期と深さを調節します。トレモロ・エフェクトの出力レベルは、(AMOUNT)がOの時に最大になりますのでご注意ください。

RM(リング・モジュレーション)

リング・モジュレーションは2つの入力信号を互いに掛け算するエフェクト で、不協和なベルのような音になります。Nord Stage 2のリング・モジュ レーションでは、インストゥルメントからの信号とエフェクト内蔵のサイン波 を掛け算するようになっています。

(RATE/TEMPO)ノブでサイン波のピッチを、(AMOUNT)ノブでリング・ モジュレーションの深さをコントロールします。このエフェクトは、モノ・イン /モノ・アウトです。

Wa-Wa(ワウ)

ワウ・モジュレーションは別名「Qauck」とも呼ばれる非常に特徴的なエフェクトで、エレクトリック・ピアノでよく使われます。クラビネットでもぜひお試しください。このエフェクトはローパス・タイプのフィルターを使ったもので、フィルターのフリケンシーをモジュレートさせていますので、スイープする時にサウンド・キャラクターが大きく変化します。ワウ・エフェクトはモノ・イン/モノ・アウトです。

(RATE/TEMPO)ノブでワウのペダル・ポジションを、(AMOUNT)ノブで エフェクト音と原音のバランス(ドライ/ウェット)を調整します。

(RATE/TEMPO)パラメーターをモーフ機能にアサインし、エクスプレッ ション・ペダルでコントロールすることも可能です。詳しくは19ページをご 参照ください。

A-Wah1&2(オート・ワウ)

オート・ワウ1、2はワウ・エフェクトのバリエーションです。オート・ワウは入 力信号の音量変化(エンベロープ・フォロワー)でフィルターのフリケンシー をコントロールする、いわば「ベロシティ・センシティブ」なエフェクトです。 (RATE/TEMPO) ノブでワウのレンジを、(AMOUNT) ノブでドライ/ ウェットのバランスをそれぞれ調整します。

オート・ワウ2も1と同様の動作ですが、サウンド・キャラクターが異なります。

オート・ワウはモノ・イン/モノ・アウトです。

エフェクト2

エフェクト2セクションにはビンテージ・スタイルのエフェ クトが6種類入っています。

Phaser 1&2

フェイザー1&2は70年代に活躍したBi-Phase、Small Stoneをベースにしたエフェクトです。



フェイザー・エフェクトはいわゆるスイープ・サウンドが特 徴的で、エレクトリック・ピアノによく合うエフェクトです。 フェイズ・シフトの周期は(RATE/TEMPO)ノブで、フェ イズ・シフトの深さは(AMOUNT)で調整します。このエ フェクトはモノ・イン/モノ・アウトです。

Flanger

フランジャーは強烈なコム・フィルター効果を生み出すエフェクトです。うね りの周期は(RATE/TEMPO)ノブで、効果の深さは(AMOUNT)ノブで 調整します。フランジャーはモノ・イン/モノ・アウトです。

Vibe

バイブ・エフェクトもあるビンテージ・エフェクターからヒントを得て開発したエフェクトです。一般的なフェイザーとは異なる方法でフェイズ・フィルターを多段階に配列したものです。このエフェクトはモノ・イン/モノ・アウトです。

Chorus 1&2

コーラス・エフェクトは、わずかにデチューンされたオーディオ信号の「コ ピー」を原音とミックスして音に厚みを加えるエフェクトです。「コピー」 サウンドのデチューンの周期を(RATE/TEMPO)ノブで、エフェクト量を (AMOUNT)ノブで調整します。このエフェクトはステレオ・イン/ステレ オ・アウトです。

ディレイ

ディレイは、リピート・エコーを作り出すエフェクトです。ディ レイ・タイムは(RATE/TEMPO)ノブで設定します(20 ~750ms)。(RATE/TEMPO)ノブを回すと、ディレイ・ タイムとともにそれに対応するテンポやそのテンポでの サブディビジョンがディスプレイに短時間表示されます。 (AMOUNT)ノブで原音とディレイ音のバランスを調整し ます。



(FEEDBACK)ノブでディレイを繰り返す量を調整します。 ディレイは、ステレオ・イン / ステレオ・アウトです。

ディレイには2種類のモードがあります。アナログ・モード とノーマル/デジタル・モードの2種類です。アナログ・モー

ドは(RATE/TEMPO)ノブの動きに応じてディレイ音のピッチが揺れ動く モードです。ノーマル/デジタル・モードではそれは起きません。モードの切 替はサウンド・メニューで行います。詳しくは43ページをご参照ください。

ピンポン・モード

[SHIFT]ボタンを押しながらタップ・テンボ・ボタンを押すとピンポン・モードになります。このモードでは、ディレイ・リピートを左右のチャンネルに交互に出すことができます。ディレイ・タイムを短くすると、リピートが非対称になり、リバーブ・エフェクトの初期反射音のようなサウンドになります。

タップ・テンポ

(TAP TEMPO)ボタンを使用して曲のテンポに合ったディレイ・タイムを 設定することができます。方法は、欲しいディレイ・タイムのテンポを(TAP TEMPO)ボタンで数回叩くと、あとは自動的にディレイ・タイムが調整され ます。

(TAP TEMPO)LED が点灯している間にディレイ・タイムを計算しますの で別のテンポを入力する際は、LED が消えるのをお待ちください。また、 タップ・テンポ入力中はディレイ音のピッチは変わりません。

アンプ・シミュレーター/EQ

このエフェクトは3バンドEQとアンプ/スピー カー・キャビネット・シミュレーターを組み合わせた エフェクトです。アンプやスピーカー・シミュレー ターは複数のタイプがあり、それぞれ周波数特性 が異なり、ゲインやロードなどの反応も異なりま す。これらのアンプやスピーカー・キャビネットの サウンド・キャラクターを利用して、ライン楽器に ありがちなクリーン過ぎるサウンドをよりオーガ ニックに、完璧なサウンドに仕上げます。

このエフェクトならではの現象に、オーバードラ イブがあります。このサウンドは長年の間、多くの ミュージシャン達が愛好してきたものです。この アンプ・シミュレーターでは、組み合わせるアンプ とキャビネットごとに歪み方も忠実にモデリング し、リアルなサウンドをお楽しみいただけます。



アンプ・モデルを選択していない場合は、このセクションは通常のEQとオーバードライブ・エフェクトになります。

アンプ・モデルを使用し、(DRIVE)ノブが上がっている状態ではモノ・イン/ モノ・アウトになり、アンプ・モデルを使用していない場合は、ステレオ・イン/ ステレオ・アウトになります。

アンプ・モデル

アンプ・モデルの選択は、セレクター・ボタンで行います。アンプ・モデルに は次のタイプがあります:

モデル	内容
JC	Roland Jazz Chorusのキャビネットをチューブ・アンプで駆動し
	にサリントのシミュレーション
Small	Wurlitzer 200Aの内蔵スピーカーをチューブ・アンプで駆動し
	たサウンドのシミュレーション
Twin	Fender Twinのチューブ・アンプとスピーカー・キャビネットのシ
	ミュレーション

Drive

(DRIVE)ノブでアンプ・シミュレーター・セクションのオーバードライブ量を調整します。オーバードライブがかかると(DRIVE)LEDが点灯します。

EQセクション

トレブル、ミッド、ベースの3バンドイコライザーです。ミッドは周波数可 変タイプです。各バンドの周波数はトレブルが4kHz、ミッドは200Hz~ 8kHz、ベースは100Hzです。ブースト/カット量は±15dBです。

グローバル・エフェクト

グローバル・エフェクトを音にすると、コンプレッサーと リバーブがかかります。なお、これらのエフェクトはアウ トプットCH1/2とヘッドフォンに流れる信号にのみか かり、アウトプットCH3/4へ流れる信号にはかかりま せん。どちらのエフェクトもステレオ・イン/ステレオ・ア ウトです。

コンプレッサー

コンプレッサーはダイナミクスを均等にするエフェク トで、低いレベルの音を持ち上げ、高いレベルの音 を下げます。これにより、タイトでパンチのあるサウ ンドになり、特にライブでのミックスがしやすくなりま す。(ON)ボタンでコンプレッサーがオンになります。 (AMOUNT)ノブでコンプレッサーのかかり具合を調 整します。



リバーブ

リバーブ・セクションは、様々な音響環境で発生する自然な残響音をシミュ レートするエフェクトです。このセクションには6タイプのリバーブがあり、 それぞれ残響の長さや密度が異なります。各タイプを選択すると、そのタ イプのLEDが点灯します。

ホール・リバーブは大ホールの音響特性をシミュレートしたもので、長い残響音が特徴です。ステージ・リバーブはそれよりもやや短めの残響音、ルームは短い残響音にアンビエンスをプラスしたものです。

「Reverb 1」はメロウなサウンドで、「2」はよりブライトなサウンド・キャラ クターです。

(DRY/WET)ノブでリバーブ音と原音のバランスを調整します。

ロータリーの回転が切り替わる速度を、サウンド・メニューで設定することができます。詳しくは43ページをご参照ください。

ロータリー・スピードは段階的に切り替える以外に、モーフ機能を使って無 段階にコントロールすることができます。これにより、ファストやスロー、ス トップ以外のスピードにもセットできます。

(DRIVE)ノブでオーバードライブの量を調整できます。これはオリジナル のロータリー・スピーカーのプリアンプ部で発生するオーバードライブを再 現したものです。

サスティン・ペダルまたはフットスイッチを(ROTOR SPEED)ペダル・イン プットに接續すると、ローター・スピードをペダルでコントロールできます。 詳しくは58ページをご覧ください。

シグナル・ルーティングについて

ロータリー・エフェクトは本機の内部では、その他のエフェクトの後段に接続されています。そのため、スロットA/Bの両方をオンにした場合、両方のサウンドがミックスされた信号がこのエフェクトに入ります。これは例えば、スプリット・オルガン機能を使って二段鍵盤オルガンのように使用する場合、オリジナルのオルガンと同様、どちらのサウンドにもロータリー・エフェクトがかかるということになります。

 (DRIVE)パラメーターは入力するインストゥルメントのレベル設定によっ て効き具合が大きく変わります。インストゥルメントの音量が非常に小さい と、オリジナルと同様、ドライブできる量も非常に限定的になります。例えば スウェル・ペダルでオルガンの音量を上げると、ロータリー・エフェクトでの オーバードライブ量もその分だけ増えます。

ロータリー・パラメーター

ロータリー・スピーカーのスピードが切り替わる速度は、サウンド・メニュー で設定できます。詳しくは43ページをお読みください。

ロータリー・スピーカー

Nord Stage 2のロータリー・スピーカーは、回転する ローターやホーンはもちろんのこと、オリジナルの内蔵 プリアンプの特性も忠実に再現したものです。このエ フェクトはモノ・イン/ステレオ・アウトです。



- ロータリー・エフェクトはスロット・エフェクト同様、 インストゥルメントごとにオン/オフできます。操作は (SOURCE)ボタンで行います。
- ・ロータリーのファスト/スロー切替は(SLOW/ STOP)ボタンで行います。
- ・このエフェクトにはスピード切替以外にストップ・ モードもあります。ローターの回転を止めるには、 (STOP MODE) ボタンを押し、次に(SLOW/ STOP)ボタンを押します。止まっている状態は、エ

フェクトがオフになっているということではなく、実際にローターが静止している状態のことです。この状態から(SLOW/STOP)ボタンを押すと、回転スピードが徐々に上がりファストになります。これは、ファストとストップしかなかった初期のロータリー・スピーカーの動作を再現したものです。

10 エクスターナル・セクション

EXTERN

PARAMETER

KB ZONE SELECT OCTAVE SHIFT

🕽 PSTICK 🛛 🚺 SUSTPED

ON OFF

エクスターナル・セクション

Nord Stage 2には外部MIDI機器をコントロー ルする機能が搭載されています。これがエクス ターナル・セクションです。外部MIDI機器のコン トロールに必須となるすべての機能があり、本 機の内蔵音源や機能を操作するのと同じくらい 簡単に使用することができます。

エクスターナル・セクションは、インストゥルメン ト・セクションとほぼ同様の動作をします。キー ボード・ゾーンの設定もインストゥルメント・セク ションと同様です。このセクションでは多目的の (PARAMETER)ノブを備え、MIDIボリューム やコンティニュアス・コントローラー・メッセージ の設定が行えます。(PARAMETER SELECT) ボタンを押し、送信したいパラメーターを選択し ます。

MIDIチャンネルやプログラム・チェンジ、コン ティニュアス・コントローラー・メッセージやその 他MIDI関連の細かな設定は、エクスターナル・ メニューで行えます(44ページをご参照くださ い)。また、これらの設定はプログラムごとにメモ リーできますので、プログラムを切り替えるだけ 簡単に外部MIDI機器にアクセスすることができ ます。

セッティングする

- MIDIケーブルをNord Stage 2のMIDI OUTから外部MIDI機器の MIDI INに接続します。
- (2) (SHIFT)ボタンを押しながら(EXTERN)ボタンを押して、エクス ターナル・メニューに入ります。
- (3) (PAGE)ボタンを押して「Extern MIDI A/B」ページにアクセスします。
- (4) バリュー・ダイアルで送信MIDIチャンネル(1~16)を選択します。 (SLOT A)(SLOT B)ボタンを押してスロットごとに設定できます。 (EXIT)ボタン(SHIFT)を押してメニューから抜けます。
- 5 外部MIDI機器のMIDIチャンネルをこの時設定したMIDIチャンネル に合わせます。



オンにする

インストゥルメント・セクションをオンにする操作と同様、(PARAMETER) ノブの下にある(ON)ボタンを押してエクスターナル・セクションをオンに します。

キーボード・ゾーン

エクスターナル・セクションはスロットごとにあり、インストゥルメント・セクションと同様にキーボード・ゾーンを使ってレイヤーやスプリット作成することができます。エクスターナル・セクションがLOゾーンにのみアサインされている場合、外部MIDI機器はそのゾーンを演奏した時にのみ反応します。

エクスターナル・セクションには通常のキーボード・ゾーンに加え、本 機のキーボードをまったくアサインしないオプションもあります。こ れは、本機のキーボードをアサインしないだけで、ピッチ・スティックや (PARAMETER)ノブからはMIDI信号を送信できるというものです。こ のオプションは、キーボードによるノート・データを必要としない外部MIDI 機器をコントロールする際に便利です。このオプションは(SHIFT)ボタン を押しながらエクスターナル・セクションの(ON)ボタンを押すと選択でき、 この時、ゾーンのLEDは消え、パラメーターのLEDが点灯します。

キーボード・ゾーンの設定方法は、20ページをご参照ください。

オクターブ・シフト

エクスターナル・セクションの(OCTAVE SHIFT)ボタンの動作は、インス トゥルメント・セクションとまったく同様です。シフト・レンジは外部MIDI機器 で発音できる範囲やその時アサインしている外部MIDI機器でのキーボー ド・ゾーンのレンジによります。

ピッチ・スティック/サスティン・ペダル・メッセージ

(SHIFT)ボタンを押しながら(PSTICK)または(SUSTPED)ボタンを押 すと、Nord Stage 2から外部MIDI機器へピッチ・ベンドやサスティン・ペ ダル・メッセージをエクスターナルMIDIチャンネルで送信できます。この時 (PSTICK)または(SUSTPED)LED が点灯します。



エクスターナル・パラメーター

パラメーター・セクションには3つのセレクト・ボタンと(PARAMETER)ノブ (ロータリー・エンコーダー)があります。操作法はいたってシンプルです。 セレクト・ボタンでパラメーターを選び、(PARAMETER)ノブで設定する だけです。

[PARAMETER]ノブはモーフ機能でコントロールすることができます。 詳しくは18ページをご参照ください。これにより、外部MIDI機器へ送信す るMIDIパラメーターをモジュレーション・ホイールやエクスプレッション・ペ ダル、アフタータッチでコントロールすることができます。

パラメーター・セレクト・ボタンで次のパラメーターを選択できます:

ボリューム

ボリューム(VOLUME)が選択されると、(PARAMETER)ノブでMIDIボ リューム(CC7:0~127)を送信できます。これにより外部MIDI機器の レベルをコントロールできます。なお、外部MIDI機器でこのMIDI CCメッ セージを受信できるように設定する必要がある場合がありますのでご注意 ください。

プログラム・チェンジ

プログラム・チェンジ(PROG CHANGE)を選択すると、(PARAMETER) ノブでMIDIプログラム・チェンジ・メッセージ(0~127)を送信でき、外部 MIDI機器のプログラムを選択することができます。この機能は他のパラ メーターと動作が少し異なり、(PARAMETER)ノブの周囲にあるLED1 つで1プログラムとなりますので、127個すべてのプログラム・チェンジ・ メッセージにアクセスするためには、このノブを何周か回します。なお、外 部MIDI機器側でMIDIプログラム・チェンジ・メッセージを受信できる状態に 設定する必要がある場合がありますのでご注意ください。

▲ エクスターナル・セクションを使用しなくても本機でバンク、ページ、プログラムを選択した時にMIDIプログラム・チェンジ・メッセージを送信することができ、外部MIDI機器で受信してしまうことがあります。このような場合、スロットA、スロットBのMIDIチャンネルがエクスターナルMIDIチャンネルと同じチャンネルになっていないかどうかをご確認ください。また、MIDIメニューでエクスターナル・セクション以外からMIDIプログラム・チェンジ・メッセージの送信をオフにすることもできます。

外部MIDI機器のプログラムがバンクとプログラムで構成されている場合、 エクスターナル・メニューでバンク・チェンジ・メッセージを送信できるように するオプションもあります。詳しくは44ページをご参照ください。

MIDI CC

この機能により、外部MIDI機器へMIDIコントロール・チェンジ・メッセージ を送信することができます。まず最初にエクスターナル・メニューでどの MIDIコントロール・チェンジ・メッセージを送信するかを設定する必要があ ります。手順は次のとおりです:

- (SHIFT)ボタンを押しながら(EXTERN)ボタンを押してエクス ターナル・メニューに入ります。
- (2) (PAGE)ボタンで「Extern MIDI CC Number」を選択します。
- (3) バリュー・ダイアルでMIDI CCナンバー(0~119)を選択します。この時、外部MIDI機器のどのパラメーターがどのMIDI CCナンバーに対応しているかを確認する必要があるかも知れません。
- (4) (EXIT)ボタン(SHIFT)を押してメニューから抜けます。

MIDI CCナンバーの設定が完了しましたら、エクスターナル・セクションの (MIDI CC)ボタンを押すとMIDI CCメッセージを送信できる状態になり (PARAMETER)ノブでコントロールすることができます。この時、外部 MIDI機器側でMIDI CCメッセージを受信できる状態に設定する必要があ る場合もありますのでご注意ください。

センド・オン・ロード

センド・オン・ロード機能がオンの場合、Nord Stage 2でプログラムを選択した時にプログラム・チェンジ、MIDIボリューム、MIDI CCメッセージを送信します。この機能を使用しない場合は、エクスターナル・メニューにある 「Send On Load」をオフにします。

11 ×=ュ-

システム、サウンド、MIDI、エクスターナルの各メニューで設定を変更すると、その場で本機全体の設定として有効となると同時に自動的に保存 され、次に変更するまでキープされます。各メニューには(SHIFT)ボタンを押しながら(SYSTEM)、(SOUND)、(MIDI)、(EXTERN)の各ボタン ((PROGRAM1)~(PROGRAM 4))を押して入ります。メニュー内の各パラメーターの選択は(PAGE <)、(PAGE >)ボタンを使用し、設定の変更 はバリュー・ダイアルで行います。また、メニューから抜けるには(EXIT)ボタン((SHIFT))を押します。

例外的に「MIDI Local On/Off」の設定は自動的に保存されず、Nord Stage 2の電源投入時に必ずオンになります。

システム・メニュー

[SHIFT]ボタンを押しながら[PROGRAM1/SYSTEM]を押すとシステム・メニューに入ります。各設定は[PAGE <]、(PAGE >)ボタンで選択できます。バリュー・ダイアルで設定を変更するとき、(SLOT A)、(SLOT B) ボタンを押して設定を変更したいスロットを選択できます。設定変更が終わりましたら(EXIT)ボタン([SHIFT])を押してメニューから抜けます。

Global Transpose

この設定はNord Stage 2全体のトランスポーズを半音単位でセットします。プログラムごとに保存できるパネル上でのトランスポーズ機能を使用した場合、ここでの設定値と足されて実行します。

レンジ:±6半音(デフォルト値=0)

Fine Tune

Nord Stage 2のピッチを細かい精度でチューニングします。

レンジ:±50セント(デフォルト値=0)

Output Routing

Nord Stage 2のインストゥルメントの出力先は、本機全体としてのグ ローバル設定、またはプログラムごとの設定の2通りで設定できます。プロ グラムでのアウトプットの選択は、個々のプログラム・パラメーターとして 保存されます。このパラメーターで「Global」を選択した場合、本機のオー ディオ信号の出力先は、個々のプログラムでの設定値よりも優先してすべ てのプログラムで同じ設定になります。

レンジ: Global (デフォルト値)、Program

Organ Audio A/B Output

オルガン・セクションのオーディオ信号の出力先(ステレオ・ペアまたはモノ・ アウト)を設定します。Output Routingが「Program」に設定されている 場合、これらの設定はプログラムごとに保存されます。

レンジ:1&2(デフォルト値)、3&4、3、4

Piano Audio A/B Output

ピアノ・セクションの各スロットの出力先(ステレオ・ペアまたはモノ・アウト)を設定します。このパラメーターを選択し、(SLOT A)または(SLOT B)ボタンを押してそれぞれのスロットでの設定を行います。Output Routingが「Program」に設定されている場合、これらの設定はプログラムごとに保存されます。

レンジ:1&2(デフォルト値)、3&4、3、4

Synth Audio A/B Output

シンセ・セクションの各スロットの出力先(ステレオ・ペアまたはモノ・アウト)を設定します。このパラメーターを選択し、(SLOT A)または(SLOT B)ボタンを押してそれぞれのスロットでの設定を行います。Output Routingが[Program]に設定されている場合、これらの設定はプログラムごとに保存されます。

レンジ:1&2(デフォルト値)、3&4、3、4

Organ Keyboard Trig Point

オルガン・サウンドのキーボード・トリガー設定を行います。「High」に設定 されている場合、オルガン・サウンドは鍵盤を完全に押し込まれる前の浅い タッチの段階で発音します。これは、オリジナルのトーンホイール・オルガン の動作に近いモードです。

レンジ: High、Low(デフォルト値)

Sustain Pedal Type

サスティン・ペダルには極性があり、ペダルと本機の極性が合っていないと ペダルを踏んでいない時にサスティンがかかってしまい、踏んだ時にサス ティンが止まります。このような場合、このパラメーターで極性を反転させ ます。

レンジ: Open、Closed(デフォルト値)、Triple (Nord Triple Pedal)

Sustain Pedal Use As Rotor

サスティン・ペダル1つでサスティン・ペダルとローター・スピード・ペダルの 機能を使い分けたい場合、このパラメーターで設定します。

レンジ:On、Off(デフォルト値)

Rotor/Latch Pedal Type

(ROTOR/LATCH)インプットに接続したペダルの極性が本機と合っていない場合に、このパラメーターで極性を反転させます。

レンジ: Open、Closed(デフォルト値)

Rotor/Latch Pedal Function

(ROTOR/LATCH)インプットに接続したペダルの機能をローター・スピー ドまたはラッチ/ソステヌートのどちらかに切り替えます。

レンジ:Latch、Rotor(デフォルト値)

Rotor Pedal Mode

(ROTOR/LATCH)インプットに接続したペダルがモーメンタリー・タイプのもので、ローター・スピードをコントロールしている場合、このパラメーターでペダルを踏んだ時の動作を切り替えます。「Hold」の場合、ペダルを踏んでいる間だけファスト(またはスロー:ペダルの極性によってどちらかになります)になり、ペダルから足を離すとスローになります。「Toggle」の場合は、オン/オフ・タイプのペダル・スイッチのようにペダルを踏む都度スピードが切り替わります。

レンジ:Hold(デフォルト値)、Toggle

Ctrl Pedal Type

Nord Stage 2は多くのブランドのコントロール・ペダルを(CTRL PEDAL)インプットに接続できます。コントロール・ペダルを使用する際、このパラメーターで主な各ペダルの特性に合わせます。

お使いのペダルがこのパラメーターのプリセットにない場合、このパラメーターを設定中に、コントロール・ペダルを操作すると、ディスプレイにペダルのレンジが0から100のパーセンテージで表示され、最適なセッティングを見つけ出すのに有効です。

レンジ:Roland EV-5(デフォルト値)、Roland EV-7、Yamaha FC-7、 Korg (EXP-2 & XVP-10)、Fatar (& Studiologic VP/25)

Control Pedal Use as Swell

(CONTROL PEDAL)インプットに接続したコントロール・ペダルをスウェ ル・ペダルとして使用する場合に、このパラメーターを設定します。「Yes」 に設定した場合、別のペダルを(ORGAN SWELL)インプットに接続して いても、ここでの設定が優先され、どちらのペダルを使用してもスウェル・ ペダルとして使用できてしまいますのでご注意ください。

レンジ:No(デフォルト値)、Yes

Swell Pedal Type

スウェル・ペダルの設定を行います。詳細は上の「Ctrl Pedal Type」をご覧ください。

レンジ: Roland EV-5(デフォルト値)、Roland EV-7、Yamaha FC-7、 Korg (EXP-2 & XVP-10)、Fatar (& Studiologic VP/25)

Swell Pedal Dest

(SWELL PEDAL)インプットに接続したペダルのコントロール先を設定 します。「Organ」の場合、オルガン・セクションにのみスウェル・コントロー ルが効き、「All」の場合は、ピアノ、シンセの各セクションのボリューム・コン トロールとしても動作します。

レンジ: Organ(デフォルト値)、All

Memory Protection

工場出荷時、このパラメーターは「On」になっています。この場合、プログ ラムやシンセ・サウンドを保存することはできません。プログラムなどをエ ディットして保存する場合、この設定を「Off」にします。なお、メニューの各 設定やライブ・バッファはこの設定に関係なく保存されます。

レンジ:On(デフォルト値)、Off

サウンド・メニュー

(SHIFT)ボタンを押しながら(PROGRAM 2/SOUND)ボタンを押して サウンド・メニューに入ります。(PAGE <)または(PAGE >)ボタンで各パ ラメーターを選び、バリュー・ダイアルで設定を変更できます。変更が終わ りましたら(EXIT)ボタン((SHIFT))を押してメニューから抜けます。

Organ Key Click B3

B3オルガン・モデルのキー・クリックのレベルを設定します。

レンジ:Low、Normal(デフォルト値)、High

Organ Tonewheel Mode

B3オルガン・モデルのトーンホイール・クロストークやケーブル・リーケージ のレベルを設定します。

レンジ: Clean、Vintage1(デフォルト値)、Vintage2

Piano Pedal Noise

Nord Triple Pedalを使用し、ペダル・ノイズ機能をオンにした場合の、ピアノのペダル・ノイズのレベルを設定します。

レンジ:+/-6dB(デフォルト値=OdB)

Piano String Res

ストリング・レゾナンス機能をオンにした場合の、ストリング・レゾナンスのレベルを設定します(アコースティック・ピアノ・モデルのミディアム、ラージ、 エクストラ・ラージ・サイズでのみ使用可能)

レンジ:+/-6dB(デフォルト値 = 0dB)

Synth Vibrato Rate

シンセ・ビブラートの周期(スピード)を設定します。

① この設定はプログラムごとに保存されます。

レンジ:4.00~8.00Hz(デフォルト値 = 6.00Hz)

Synth Dly Vibrato Amount

シンセ・セクションでディレイ・ビブラートがオンになっている時のディレイの長さを設定します。

● この設定はプログラムごとに保存されます。

レンジ:0~50 cent(デフォルト値 = 25 cent)

FX Delay Mode

ディレイ・エフェクトの(RATE/TEMPO)ノブを操作した時に、ディレイ音のピッチが変化するかどうかを設定します。「Analog」の場合、ピッチが変化し、「Normal」の場合は変化しません。

レンジ: Analog(デフォルト値)、Normal

FX Rotary Speaker Acc

ロータリー・スピーカーのスピードを切り替えた時に、スピードが徐々に変 化する速さを設定します。

レンジ:Low、Normal(デフォルト値)、High

MIDIX___

(SHIFT)ボタンを押しながら(PROGRAM 3/MIDI)ボタンを押して MIDIメニューに入ります。(PAGE <)、(PAGE >)ボタンで各パラメー ターを選び、バリュー・ダイアルで設定を変更します。この時、(SLOT A)、 (SLOT B)ボタンで設定を変更したいスロットを選択できます。変更が終 わりましたら(EXIT)ボタン((SHIFT))を押してメニューから抜けます。

MIDI Control Local

Nord Stage 2の鍵盤、フロント・パネルの接続を内部音源とプログラム、 またはMIDI信号のみを送信するか(ローカル・コントロール)の設定をしま す。ローカル・オンが通常のモードで、ローカル・オフの場合は、フロント・パ ネルとキーボードはMIDI信号のみを送信し、内部音源のコントロールや発 音は行いません(音が出ない状態になります)。

レンジ:On(デフォルト値)、Off

このパラメーターの設定は本機の電源投入時に必ず「On」になります。

MIDI Slot A/B Channel

スロットA/BのMIDIチャンネルを設定します。

レンジ:1~16、USB1~USB16、Off(デフォルト値:A=ch1、B=ch2)

MIDI Organ A/B Channel

オルガン・セクションA/BのMIDIチャンネルを設定します。「Off」以外に設定した場合、そのオルガン(AまたはB)はKBゾーンにまったくアサインされなくなり、このパラメーターで設定したチャンネルのMIDI信号を受信した時のみ発音します。

レンジ:1~16、USB1~USB16、Off(デフォルト値)

MIDI Piano A/B Channel

ピアノ・セクションA/BのMIDIチャンネルを設定します。「Off」以外に設定 した場合、そのピアノ(スロットAまたはB)はKBゾーンにまったくアサイン されなくなり、このパラメーターで設定したチャンネルのMIDI信号を受信 した時のみ発音します。

レンジ:1~16、USB1~USB16、Off(デフォルト値)

MIDI Synth A/B Channel

シンセ・セクションA/BのMIDIチャンネルを設定します。「Off」以外に設定 した場合、そのシンセ(スロットAまたはB)はKBゾーンにまったくアサイン されなくなり、このパラメーターで設定したチャンネルのMIDI信号を受信 した時のみ発音します。

レンジ:1~16、USB1~USB16、Off(デフォルト値)

MIDI Dual KB Channel

デュアルKBモードをオンにした場合の外部MIDIキーボードのMIDIチャン ネルを設定します。詳しくは15ページをご参照ください。

レンジ:1~16、Off(デフォルト値 = 16)

MIDI Prog Change Mode

MIDIプログラム・チェンジ・メッセージの送信/受信設定を行います。

ここでの設定は本機のプログラムのみに対する設定で、エクスターナル・セクションの設定ではありません。

レンジ: Off, Send, Receive, Send & Receive(デフォルト値)

MIDI Ctrl Change Mode

MIDIコントローラー・メッセージの送受信設定を行います。

レンジ: Off, Send, Receive, Send & Receive(デフォルト値)

Send MIDI Ctrl

選択したスロットのすべてのパラメーター・セッティングをMIDIコントロー ラー信号としてダンプ送信することができます。(STORE)ボタンを押す と送信が始まります。

レンジ:Slot A、Slot B

エクスターナル・メニュー

(SHIFT)ボタンを押しながら(PROGRAM 4/EXTERN)ボタンを押すと エクスターナル・メニューに入ります。(PAGE <)、(PAGE >)ボタンでパ ラメーターを選び、バリュー・ダイアルで設定の変更ができます。変更が終 わりましたら(EXIT)ボタン((SHIFT))でメニューから抜けます。

- エクスターナル・メニューのほとんどのパラメーターはスロットごとに設定 できます。
- エクスターナル・メニューのほとんどのパラメーター・セッティングはプログラムごとに保存されます。例外はExtern MIDI A/B Channelが「Global」に設定された場合と、Send on Loadです(このパラメーターは常にグローバルです)。

Extern MIDI Mode

エクスターナル・セクションのMIDIチャンネルは2通りの方法で設定できます。ひとつはグローバルに、もうひとつはプログラムごとに設定できます。 「Global」が選択された場合は、エクスターナル・セクションのMIDIチャン ネルA/Bはすべてのプログラムで同じ設定になります。「Program」の場 合は、エクスターナル・セクションのMIDIチャンネルA/Bはプログラムごと に保存されます。

レンジ: Global、Program(デフォルト値)

Extern MIDI A/B Channel

エクスターナル・セクションの各スロットから送信するMIDIチャンネルを設定します。

レンジ: 1~16(デフォルト値: Slot A=14、Slot B=15)、USB1~ USB16

Extern MIDI A/B Volume

エクスターナル・セクションはMIDIボリューム・メッセージ(0~127)を送 信でき、外部MIDI機器のレベルをコントロールできます。

レンジ:Off(デフォルト値)、0~127

Extern MIDI A/B Prog Change

エクスターナル・セクションはMIDIプログラム・チェンジ・メッセージ(0~ 127)を送信し、外部MIDI機器のプログラムを切り替えることができます。

レンジ:Off(デフォルト値)、1~128

Extern MIDI A/B Bank Sel cc 00

コントロール・チェンジ・アドレス00(cc00)のMIDIバンク・セレクト・メッ セージを設定します。

レンジ:Off、O~127

Extern MIDI A/B Bank Sel cc 32

コントロール・チェンジ・アドレス32(cc32)のMIDIバンク・セレクト・メッ セージの値を設定します。

バンクのナンバリング方法とMIDIとの関係は、機器によって異なりますので、このパラメーターを設定する際は、お使いの外部MIDI機器の取扱説明書でご確認ください。

レンジ:Off(デフォルト値)、O~127

Extern MIDI A/B CC Number

エクスターナル・セクションの(MIDI CC)をオンにした時に送信するMIDI コントローラー・ナンバーを設定します。

レンジ: MIDI CC 0~119(デフォルト値 = 2)

Extern MIDI A/B CC Value

選択したMIDI CCナンバーの値を送信します。

レンジ:Off(デフォルト値)、1~127

Extern MIDI A/B Send Wheel

モジュレーション・ホイールのMIDI データ(CC1) を送信するかどうかを選択します。

レンジ:Yes(デフォルト値)、No

Extern MIDI A/B Send A.Touch

アフタータッチのMIDIデータを送信するかどうかを選択します。

レンジ:Yes(デフォルト値)、No

Extern MIDI A/B Send CtrlPed

本機の(CONTROL PEDAL)インプットに接続したコントロール・ペダル からエクスプレッションMIDIデータ(CC11)を送信するかどうかを選択し ます。

レンジ:Yes(デフォルト値)、No

Extern MIDI A/B Vel Curve

エクスターナル・セクションに適用するベロシティ・レスポンス・カーブを設定します。

レンジ:Soft、Norm、Hard

Extern MIDI Send on Load

本機でプログラムを切り替えた時に、エクスターナル・セクションのプログ ラム・チェンジ、ボリューム、MIDI CC メッセージも自動的に送信するかどう かを選択します。

レンジ:Off(デフォルト値)、On

12 Nord Sound Manager

Nord Sound ManagerはNord Stage 2本体内の様々なメモリー・エリア(「パーティション」と呼びます)の管理、構築を行うためのアプリケーション・ソフトウェアです。また、Nord Stage 2へピアノ・サウンドやプログラムを転送(「ダウンロード」と呼びます)する際に使用したり、Nord Stage 2本体内のメモリーからピアノ・サウンドやプログラム(これらを「サウンド」と呼びます)をコンピュータへ転送(「アップロード」と呼びます)する際にもこのアプリケーションを使用します。Nord Sound Managerにはサウンドを本体にダウンロードする様々な方法があり、また同時にNord Stage 2のメモリー全体のバックアップやレストア機能もあります。

動作環境

Nord Sound ManagerはMac OS X 10.4以降、Windows XP、Windows 7、Windows Vistaに対応しています。なお、Windowsコンピュータで Nord Sound Managerを使用される際は、Clavia USB Driver version 3.0以降をインストールする必要があります。

 Nord Stage 2のOSアップデートやUSB Driver、インストールのための手順書はNord ウェブサイト(www.nordkeyboards.com(英文))から入手できます。 また、本機に付属のDVDにも収録されています。

インストール

USB Driverのインストール

- Mac OS Xユーザーの方はこの手順は不要です。
- Windowsコンピュータ(XP、Vista、7)ユーザーの方は本機付属 DVD内にあるClavia USB Driver v3.0 Setup.exeをダブルク リックします。
- (2) 画面に表示される指示に従って操作を進めます。
- インストール完了後、Nord Stage 2を接続するとUSB Driverが 起動します。コンピュータとNord Stage 2はUSBケーブルで接続 します。
- (4) Nord Stage 2がコンピュータに接続されると、USB Driverが自動的に起動し、Windowsタスク・バーのノーティフィケーション・エリアに確認画面が表示されます。

Sound Managerのインストール

- (1) Windowsユーザー:本機付属DVD内のNord Sound Manager フォルダを開き、Nord Sound Manager v5.x Setup.exeを実 行し、指示に従って慎重に作業を進めます。インストールが完了する と、本アプリケーションはスタートメニューからアクセスできます。
- (2) Mac OS Xユーザー:本機付属DVD内のNord Sound Manager フォルダを開き、Nord Sound Manager 5.x.dmgをダブルクリッ クし、Nord Sound Managerアプリケーションをアプリケーション・ フォルダにドラッグします。
- A Nord Sound Manager、Clavia USB DriverはNordウェブ (www.nordkeyboards.com)からダウンロードできます。その他 のアップデートなども随時行っておりますので、定期的にアクセスし てください。



Z Organize D	ual View	Auto Select Sound Up Sound D	win Renar	ne D	elete	Bank Up	Bank Down	Backup	Restor
Piano Samp	Lib Prop	gram Synth							
Bank: All	19 s	ounds 🔻					Q		Clear
Bank 🔺	Loc	Name	Size	Ver	Info				
Grand	1	Grand Imperial BdorfBeta Lrg 5.2	89.3 MB	5.20					
Grand	2	Grand Lady D StwD Beta Med 5.2	61.0 MB	5.20					
Grand	3	Studio Grand 2 YaC7 Beta Med 5.2	55.4 MB	5.20					
Grand	4	Electric Grand 1 CP80 5.1	8.5 MB	5.10					
Upright	1	Black Upright Petr Beta Med 5.2	51.6 MB	5.20					
Upright	2	Queen Upright BdorfBeta Med 5.2	51.6 MB	5.20					
Upright	3	Romantic UprightSchimBeta Med5.2	48.2 MB	5.20					
Upright	4	Saloon Upright BaumgBeta Sml 5.2	30.1 MB	5.20					
EPiano1	1	EPiano 1 Mk I LowD Beta 5.2	6.2 MB	5.20					
EPiano1	2	EPiano 2 Mk I ClosBeta 5.2	5.9 MB	5.20					
EPiano1	3	EPiano 3 Mk II ShalBeta 5.2	6.9 MB	5.20					
EPiano1	4	EPiano 4 Mk V Clos Beta 5.2	7.2 MB	5.20					
EPiano 1	5	EP5 Bright Tines Cust Beta 5.2	14.8 MB	5.20					
EPiano 1	6	EP6 SparkleTop VintaBeta 5.2	12.2 MB	5.20					
EPiano2	1	Wurlitzer 1 200A Beta 5.2	6.0 MB	5.20					
Clavinet	1	Clavinet D6 5.0	5.7 MB	5.00					
Harps	1	Ital Harpsich 1A Short Str 5.0	10.9 MB	5.00					
Harps	2	Ital Harpsich 1D Lute 5.0	7.9 MB	5.00					
Harps	3	French Harpsi 1D Lo8 Lo4 5.0	14.8 MB	5.00					

ピアノ、サンプル、プログラム、シンセの各パーティションをタブで切り替え て表示することができます。

Nord Stage 2がコンピュータに接続されていない場合、各ページやアイコン、メモリー・ロケーションは薄く表示されます。

▲ Nord Sound ManagerはNord Stage 2と常にオンライン状態にあり ますので、本アブリケーション上での操作はすぐさまNord Stage 2本体 内のメモリー内容を書き換えるようになっています。例えば、Nord Sound Manager上にリスト表示されているピアノやプログラムを消去すると、そ のサウンドはNord Stage 2本体のフラッシュ・メモリーから消去されてし まいますので十分にご注意の上操作してください。

ツールバー



Nord Sound Managerでよく使う機能は、ツールバーからダイレクトに アクセスできます。使用したい機能のアイコンをクリックすると、さらに詳 細な操作や確認のためのダイアログなどが表示されます。

タブ

Samp Lib Program Synth

作業をしたいパーティションの選択は、タブで行います。ピアノ・パーティションの編集をする場合はPianoタブ、サンプル・パーティションはSamp Libタブ、ProgramやSynthタブではプログラムやシンセ・サウンドのファ イル管理が行えます。本アプリケーションとこのチャブターでは、個々のピ アノやサンプル、プログラムを「サウンド」と呼んでいます。

③ コンピュータのキーボードのコントロールを押しながらタブを押すと本アプ リのタブを切り替えることができます。

リストの見出しをクリックしてリストの内容をロケーション、名前、サイズ、 バージョン、作成日順に昇順または降順で並べ替えることができます。

パーティション・メモリー・インジケーター

画面下部にあるメモリー・インジケーターで、選択したパーティションのメ モリー使用状況を確認できます。赤いエリアは使用中メモリー、緑は空き 容量です。

右クリック

サウンドの上で右クリックをすると、次のようなコンテクスト・メニューが表示されます:

Select in Instrument

リスト上で選択したサウンドをNord Stage 2上でも選択させる時に使用します。

Upload

選択したサウンドをNord Stage 2からコンピュータのハードディスクに アップロードします。

Download

このオプションはサウンドが入っていない空き ロケーション上で右クリックした時のみ使用で きます。このオプションでコンピュータのハー ドディスク上にあるファイルをNord Stage 2の空きロケーションににダウンロードします。



Rename

サウンドのリネームとプログ ラムのカテゴリー設定を行 います。リネームに使用でき る文字はアルファベット(大 文字/小文字)、0~9、ハイ フン(-)です。また、文字は

Rename File	×
File Name	Category
22 Violins MW	String 👻
	OK Cancel

最長16文字まで入ります。その他の文字を使用した場合、本アプリケー ションのリストに表示されませんのでご注意ください。

 ピアノとサンブルはリネームできません。これらのアイテム上で右クリック をしてもリネームのオブションは使用できません。

Delete

選択したサウンドをNord Stage 2のメモリーから消去します。

ファイル・フォーマット

本アプリケーションとNord Stage 2で作成または使用できるファイルの 拡張子は、次のとおりです:

- •.npno: Nord Piano Libraryのピアノ・ファイルです。
- Nord Stage 2はバージョン 5以降のピアノ・ファイルに対応しています。
- •.nsmp:Nord Sample Libraryのサンプル・ファイルです。
- .ns2p: Nord Stage 2のプログラム・ファイルです。
- •.ns2s:シンセ・サウンドのファイルです。
- .ns2b: Nord Stage 2のバックアップ・ファイルです。

コンピュータ上の他のファイルと同様、これらのファイルもリネームやメー ルに添付したり、コピー、ムーブ、消去や不測の事態に備えて別のハード ディスクに保管しておくことができます。

クイック・ツアー

Nord Sound Manager の各機能をご紹介します。

ピアノをNord Stage 2に転送する

工場出荷時のNord Stage 2のピアノ・パーティションは、ピアノ・サウン ドで満載の状態になっています。ここへ新たにピアノをダンロードする 場合、あらかじめ入っていたピアノ・サウンドを一部デリートする必要が あります。デリートするピアノを後で使用したい場合、それらは本機の付 属DVDに収録されていますのでそちらをご利用ください。また、www. nordkeyboards.comのライブラリー・エリアからも入手できます。

ピアノを消去する

- Nord Stage 2とコンピュータをUSB ケーブルで接続し、Nord Sound Managerを起動します。
- (2) Pianoタブを選択し、Nord Stage 2のピアノ・パーティションの内容を表示します。
- デリートするピアノを選択し、ツールバーにあるデリート・アイコンを クリックします。

あるいはデリートしたいピアノを右クリックし、表示されるコンテクスト・メ ニューからデリートを選択することも可能です。または、デリートしたいピ アノを選択し、コンピュータのキーボードのバックスペースまたはデリート・ キーで消去することもできます。

(4) 確認のダイアログが表示され、確認すると選択したピアノはデリート されます。

新しいサウンドをダウンロードする

- ドラッグ&ドロップによる方法:新しいサウンドが入っているコン ピュータのハードディスクのフォルダを開きます。
- (2) 開いたフォルダとNord Sound Managerの画面の両方が見えるように位置を調整します。
- (3) 新しいサウンドを本アプリケーションのリストの空いているところへ ドラッグします。ドラッグ先がグレーになってからマウス・ボタンを離 します。
- (4) ドラッグか完了するとClean Deleted Space処理が自動的に始ま り、新しいピアノがNord Stage 2にダウンロードされます。Nord Stage 2のメモリー空き容量が足りない場合、本アプリケーション の画面左下のテキスト・エリアにメッセージが表示されます。
- ビュー・メニューのオーガナイズ・オブションがオンの場合、新しいサウンド をバンク内のどの空きロケーションでもドラッグ&ドロップできます。このオ ブションがオフの場合、新しいサウンドは自動的にバンク内の最初の空きロ ケーションに入ります。また、Nord Stage 2のモデル・セレクターで様々な ロケーションを選択できます。
- ピアノ・サウンドはそれぞれカテゴリー別に分類され、それぞれ決められた バンクに入るようになっています。例えば、エレクトリック・ビアノはグランド・ バンクには入れられません。同様に、グランド・ピアノはクラビネット・バンク には入りません。

- (1) **ツールバーまたはメニュー・コマンドを使う方法**: ツールバーの Sound Downアイコンをクリックします。ファイル・メニューにも同じ コマンドがあります: Sound Download (Ctrl-D)
- (2) ブラウズ画面からダウンロードしたいサウンドが入っているフォル ダ、サウンドを選択し、Openをクリックします。これでサウンドはバン クに追加されます。

ダウンロード・キュー

ドラッグ&ドロップでもツールバーやメニュー・コマンドによる方法でも、複数のサウンドを順々に追加することができます。これらのサウンドはダウンロード・キューに一旦入ります。必要に応じてNord Stage 2のメモリーが消去され、サウンドを追加した順にダウンロードが行われます。

- (1)
- サウンドを追加したいパーティションを選択します。
- (2) コンピュータのハードディスクから追加したいサウンドをNord Sound Managerのリストの空きエリアにドラッグします。
- (3) 別のサウンドをリストの空きエリアにドラッグします。

1	EPiano 1 Mk I Low Deep 5.1	6.2 MB		Downloading (17%)
2	EPiano 2 Mk I ClosIdeal 5.1	5.9 MB		Queued
3	EPiano 3 Mk II Shallow 5.1	6.8 MB		Queued
4	EP5 Bright Tines CustomMod 5.1	14.8 MB	5.10	
1	Wurlitzer 1 200A 5.0	5.9 MB	5.00	
1	Clavinet D6 5.0	5.7 MB	5.00	
2	Ital Harpsich 1B Long Stri 5.0	9.7 MB	5.00	

ダウンロード・キューに入ったファイルは太字で表示されます。

(4) ダウンロード待ちの状態をキャンセルしたい場合は、待ち状態のすべてのファイルをデリートするか、Cancelボタンをクリックします。 Nord Stage 2側でメモリー・クリーン処理が始まっている分につきましては、キャンセルできません。

待ち状態のファイルをキューから削除するには、デリートしたいファイルを 右クリックするか、ツールバーやメニューからデリート・コマンドを選択する ことで行えます。

ダウンロード・キューにあるファイルは、ダウンロード・キュー処理中に移動または消去されます。

サウンドをアップロードする

- コンピュータのハードディスクにアップロードしたいサウンドが入っているパーティションを開きます。
- (2) バンクとサウンドを選択します。シフト・キーを押しながらクリックすると複数の隣り合ったファイルを選択でき、コントロール・キーを押しながらクリックすると複数の隣り合っていないファイルを選択できます。下図は複数のプログラムを選択した状態の例です。

Loc	*	Name	Categor
	1	The Grand	Grand
	2	Eltons Piano	Grand
	3	ZawiTines	EPiano
	4	SparkleTop	EPiano
	5	HardTines	EPiano

(3) ツールバーのSound Upアイコンをクリックするか、選択したサウンドを右クリックしてUploadを選択します。するとブラウズ画面が表示され、サウンドのアップロード先を指定できます。なお、アップロード処理は選択したサウンドの容量によって時間がかかる場合があります。

パーティション全体をアップロードする

- アップロードするパーティション(とバンク)がNord Sound Manager上で選択されていることを確認します。この後表示される ダイアログでバンクの変更もできます。
- (2) ツールバーのBank Upをクリック、またはファイル/バンク・メニューから Upload (Ctrl-Shift-U) コマンドを選択します。アップロードするバンクが正しいことを確認し、コンピュータのアップロード先を指定します。



バンク・リスト下部にあるドロップダウン・メニューからAllを選択することで バンク全体のサウンドを選択することも可能です。この場合も、パーティ ション全体がコンピュータにアップロードできます。

Create Subfoldersのオプションにチェックを入れてオンにすると、アップ ロード先のフォルダ内にパーティション/バンク/サウンドという階層構造を 自動的に作成します。

サウンドをNord Stage 2にダウンロードする

- ツールバーのBank Downをクリック、またはファイル/バンク・メ ニューからDownload(Ctrl-Shift-D)コマンドを選択します。
- (2) ダウンロード先のバンクが正しいことを確認し、ダウンロードする フォルダ(コンピュータ側)を選択します。
- ダウンロードの最終確認をするダイアログにあるDownloadをクリックする と、指定したバンク(Nord Stage 2 側)の内容が、ダウンロードするファイ ルと入れ替わります。



デスティネーション・バンクのドロップダウンからAllを選択すると、ダウン ロードするファイル(サウンド)が入っているフォルダを階層構造ごとNord Stage 2にダウンロードできます。また、Search Subfoldersがオンの場 合、階層構造のトップ・フォルダをダウンロードするファイルとしてブラウズ できます。

プログラム・パーティションを編集する

ドラッグ&ドロップで400プログラムあるプログラム・パーティションを編集 することができます。

- ビュー・メニューのOrganizeがオンになっていることを確認します。
- (2) 移動させたいプログラムを選択し、移動先へドラッグします。

プログラムを空きロケーションにドロップすると、プログラムは空きロケーションにムーブ(移動)します。また、プログラムを別のプログラムが入っているロケーションにドロップすると互いのプログラムの位置が入れ替わります。

(3) プログラムを選択し、コントロール・キーを押しながらドラッグすると プログラムがコピーされてドロップしたロケーションにペーストされ ます。

サーチ・ボックス

(1) サーチ・ボックスに文字を入れて検索すると、該当したプログラムな どのサウンドのみがリストに表示されます。

Q	Robert made me!	Clear

これは名前が重複したプログラムを見付け出す時などに便利です。

オート・セレクト

ツールバーのAuto Selectアイコンをクリックすると、オート・セレクト機能のオン/オフができます。



オート・セレクトがオンの場合、ピアノ・サウンドやプログラムをコンピュータの矢印キーでスクロールすることができ、カーソルが当たったサウンドはNord Stage 2上でも同時に選択された状態になります。

Nord Sound Manager上でピアノ・サウンドやプログラムをダブルクリックすると、そのサウンドがNord Stage 2上でも選択された状態になります。



Organize

オーガナイズ機能がオンの場合、選択したパーティション/バンク内のすべてのサウンドだけでなく、空きロケーションも表示します。これで例えば、リストの中間部にある空きロケーションにファイルをドラッグすることが可能になります。この機能がオフの場合、リストに表示されるのはサウンドだけとなり、リスト内の編集はできません。

Dual View

デュアル・ビュー機能がオンの場合、画面が2つのリストに分割して表示されます(プログラム・パーティションを選択している場合)。この時、ドロップ ダウン・メニューを使って2つのバンクを表示することができます。また、プログラムの入れ替えはドラッグ&ドロップで行えます。バンクをまたいだドラッグ&ドロップも可能です。

Auto Select

オート・セレクト機能がオンの場合、ピアノまたはプログラム・リストをコン ピュータの矢印キーでスクロールすることができ、選択したサウンドは Nord Stage 2上でも選択された状態になります。

Sound Up

サウンド・アップ機能を使ってサウンドをNord Stage 2からコンピュータ にアップロードできます。

Sound Down

サウンド・ダウン機能を使ってサウンドをコンピュータからNord Stage 2 の選択したパーティション内のメモリー可能ロケーションにダウンロードできます。

Rename

リネーム機能を使ってプロ グラムの名前を変更するこ とができます。最長16文字 までの名前を付けることが でき、使用できる文字はアル

Rename File	
File Name	Category
22 Violins MW	String 🔻
ОК	Cancel

ファベット(大文字/小文字)、O~9の数字、ハイフン(-)です。それ以外の 文字はNord Sound Managerのリストに表示されません。

ピアノとサンブルはリネームできませんので、それらを選択した時はこの機能は使用できません。

Delete

デリート機能は、選択したサウンドを削除する機能です。実行前に最終確認 のダイアログが表示されます。また、コンピュータのキーボードのバックス ペースまたはデリート・キーでも削除できます。

ピアノを削除すると、そのビアノを使用したすべてのプログラムで音が出なくなってしまいますのでご注意ください。

ピアノを削除して空きスペースができた場合、そのスペースはすぐに別の サウンドに使用することはできません。これは、空きスペースができてもそ のスペースを完全にクリーンな状態にする処理を行わないと、別のデータ を格納できないというフラッシュ・メモリーの特性によるものです。この処 理は、ピアノを追加する際に自動的に行われますが、手動で行うこともで き、その場合はファイル・メニューからClean Deleted Spaceコマンドを 選択します。 Nord Stage 2本体の(PIANO TYPE)LEDとMODEL LEDが点滅して いる場合、そのプログラムで使用するピアノ・サウンドが本体のメモリーに ない状態を示しています。この場合、別のピアノを使用したプログラムを選び直すか、必要なピアノ・サウンドをNord Stage 2にダウンロードしてくだ さい。

Bank Up

バンク・アップ機能はピアノまたはプログラムのバンク全体をコンピュータ にアップロードする機能です。デフォルトでは常にその時選択しているバン クがアップロードの対象になっていますが、もちろん別のパーティションや バンクを選択できます。Choose Folderボタンをクリックし、アップロード 先を指定します。

Create Subfoldersオプションにチェックを入れてオンにすると、アップ ロード先のフォルダにアップロード元と同じ階層構造を自動的に作成しま す。

アップロード先にアップロード元と同名のフォルダがある場合、そのフォル ダにアップロード元のサウンドが保存されますのでご注意ください。

Bank Down

バンク・ダウン機能を使ってコンピュータにあるピアノまたはプログラムの バンク全体をNord Stage 2にダウンロードすることができます。デフォ ルトのダウンロード先はその時選択されているバンクになりますが、別の パーティションやバンクも選択可能です。Choose Folderをクリックし、ダ ウンロードさせるフォルダを選択します。

▲ この機能を実行すると、ダウンロード先のバンクの内容すべてがダウンロード元の内容に書き換わりますので、十分ご注意の上この機能をご使用ください。

Backup

バックアップ機能はNord Stage 2のメモリにあるすべてのピアノ、プログ ラム、ライブ・プログラム、メニュー・セッティングが入ったバックアップ・ファ イル(拡張子:.ns2b)を作成してコンピュータに保存する機能です。バッ クアップ・ファイルの作成は、インストールしているピアノの容量によって時 間がかかることがあります。

バックアップ・ファイルは、いわゆる増分法で作成されます。これは、以前す でにバックアップ・ファイルを作成していた場合、同じファイル名でバック アップを行うと、以前作成したバックアップ・ファイルから変更されたピアノ やプログラムだけを以前のファイルに組み込む方式のことです。

最初にバックアップ・ファイルを作成する際に、本アプリケーションではバッ クアップ・ファイルの保存先を自動的にサジェストします(マイドキュメント /Nord Sound Manager files/)。他の場所に保存される際は、ブラウズ 画面で別の保存先を指定します。

Restore

以前に作成したバックアップ・ファイルを Nord Stage 2 に戻すのがレストア機能です。この機能を選択し、ブラウズ画面からバックアップ・ファイル (拡張子:.ns2b)を選択し、Openをクリックします。

▲ Openをクリックし、最終確認のダイアログで確認すると、レストア機能が実行されます。この時、Nord Stage 2に入っていたすべてのデータは消去され、バックアップ・ファイルの内容に入れ替わりますので、十分ご注意の上この機能をご使用ください。

メニュー

Nord Sound Managerでは、WinodwsやMac OS X のキーボード・ ショートカットが使用できます。メニューは Alt キーとメニュー・バーにある 下線の文字を押してアクセスできます。

ほとんどのコマンドはコントロール・キー(Mac の場合はコマンド・キー)を 押しながら、メニュー内のコマンド名の次にある文字をタイプすることでア クセスできます。

File

能です。

Sound Upload (Ctrl+U)

サウンド・アップロードはNord Stage

2のメモリーにあるサウンドをコン

ピュータに転送(アップロード)する機

File	Edit	View	Help	
So	ound U	pload.		Ctrl+U
Sound Download			Ctrl+D	
Bank Upload				Ctrl+Shift+U
Bank Download			Ctrl+Shift+D	
Backup			Ctrl+B	
R	Restore			Ctrl+R
Clean Deleted Space				
Fo	ormat			

Sound Download (Ctrl+D)

サウンド・ダウンロードを使ってコンピュータにあるサウンドをNord Stage 2の選択したパーティション内のメモリー可能なロケーションに転 送(ダウンロード)します。

Bank Upload (Ctrl+Shift+U)

バンク・アップロードは、Nord Stage 2上の選択されたパーティションまたはバンク全体のサウンド(ピアノまたはプログラム)をコンピュータにアップロードするコマンドです。

Allを選択すると、パーティション内のすべてのバンクのサウンドがアップ ロードされます。また、Nord Stage 2のメモリー内の階層構造(パーティ ション/バンク/サウンド)もそのままアップロード先のフォルダ内に自動作 成されます。

Bank Download (Ctrl+Shift+D)

バンク・ダウンロードは、コンピュータにあるバンク全体(あるいはすべての バンク)のサウンドをNord Stage 2にダウンロードするコマンドです。

 このコマンドを実行すると、選択したバンクのすべてのデータがNord Stage 2にダウンロードされます。

Backup (Ctrl+B)

バックアップはNord Stage 2内のすべてのピアノ、サンプル、プログラム、ライブ・プログラム、メニュー・セッティングが入ったバックアップ・ファイルを作成し、コンピュータに保存するコマンドです。

このコマンドで作成されるファイル(バックアップ・ファイル)の拡張子は.ns2bです。

バックアップ・ファイルの作成は、Nord Stage 2に入っているピアノの要領によって時間がかかることがあります。

Nord Sound Managerでのバックアップ・ファイル作成は、いわゆる増分 法と呼ばれる方式を採用しています。これは、前回作成したバックアップ・ ファイルと同じファイル名でバックアップを実行した場合、前回分から変更 された部分だけを前回分のバックアップ・ファイルから変更する方式です。

Restore (Ctrl+R)

レストアは以前に保存したバックアップ・ファイルをNord Stage 2に転送 するコマンドで、バックアップ・ファイルを選択し、Openをクリックして実行 します。

△ Openをクリックすると、最終確認のダイアログが表示され、そこで確認する とレストアがスタートします。この時、Nord Stage 2に入っていたすべて のデータは消去され、バックアップ・ファイルの内容に置き換わりますので、 十分ご注意の上このコマンドをご使用ください。

Clean Deleted Space

クリーン・デリーテッド・スペースは、ピアノやプログラムを削除したあとのメ モリー・スペースを完全にクリーンな状態にし、次にサウンドをメモリーでき る状態にするコマンドです。

 新たにピアノやブログラムをダウンロードすると、このコマンドが自動的に 実行されますが、手動でも実行できます。

Format

フォーマットは選択したパーティションのサウンドをすべて消去してしまう 非常に危険なコマンドです。実行前に確認画面が表示されます。

Exit (Ctrl+Q)

本アプリケーションを終了します。

li+

Rename (Ctrl+N)

リネームはプログラムやシンセ・サウンドの 名前を変更するコマンドです。最長16文 字までの名前を付けられ、使用できる文字

はA~Zのアルファベット(大文字/小文字)、O~9の数字、ハイフン(-)です。それ以外の文字はNord Sound Managerでは表示されません。

また、このコマンドでプログラムやシンセ・サウンドのカテゴリーを変更する ことができます。

 ピアノはリネームできません。ピアノを選択した時はこのコマンドは使用で きません。

Delete

デリートは、選択したアイテムをNord Stage 2のメモリーから削除する コマンドです。実行前に確認することができます。

Select All (Ctrl+A)

セレクト・オールは、バンク/パーティション内のすべてのアイテムを選択す るコマンドです。

Invert Selection

インバート・セレクションは、リスト内の最初に選択したアイテム以外のすべてを選択するコマンドです。

View

Organize (Ctrl+O)

オーガナイズにチェックが入ると、選択した パーティション/バンク内のサウンドと利用 できる空きロケーションのすべてがリストに 表示されます。これにより、リストの中間部 などにのコープなもとリスティーションにサウンドをド

View	Help	
🗸 Org	ganize	Ctrl+0
Dual View		Ctrl+L
Au	to Select	

ラッグ&ドロップで移動させることなどができます。オーガナイズがオフの 場合、空きロケーションは表示されません。

Dual View (Ctrl+L)

デュアル・ビューにチェックが入ると、画面が2つのリストに分割して表示されます。これで、プログラムのコピーや移動などの編集作業が簡単に行なえます。ドロップダウン・メニューで2つのバンクを表示させることも可能です。プログラムの編集はドラッグ&ドロップで行え、2つのバンク/リスト間のプログラムの移動なども行えます。

コンピュータのキーボードのコントロール・キーを押しながらドラッグ&ド ロップすると、選択したアイテムのコピーを行えます。

<u>E</u> dit	<u>V</u> iew <u>H</u> e	lp
Re	e <u>n</u> ame	Ctrl+N
Delete		Del
Se	lect <u>A</u> ll	Ctrl+A
In	vert Select	ion

Auto Select (Ctrl+K)

オート・セレクトがオンの場合、本アプリケーションのリスト上でコンピュー タのキーボードの矢印キーでリストにあるサウンド(ピアノ、サンプル、プロ グラム)をブラウズすると、Nord Stage 2上でもそれらが自動的に選択 された状態になります。

Help

About

<u>H</u> elp	
Ap	out

アバウトを選択すると、本アプリケーションのバージョン が表示され、対応するNord製品とそのOSバージョンも表示されます。

タブ

Piano	Program	
Bank:	All	24 sounds 🔽

Piano - Program

ピアノまたはプログラムのパーティションを選択します。コンピュータの キーボードのコントロール・キーを押しながらタブ・キーを押して表示を切り 替えることもできます。また、ドロップダウン・メニューを使って各パーティ ション内の特定のバンクを選択することも可能です。各パーティションの内 容はリスト形式で表示されます。

Search Box

サーチ・ボックスを使ってサウンドを検索することができます。検索キーに 該当したサウンドのみが表示されます。検索キーを消去する場合は、Clear をクリックします。すると再びすべてのアイテムが表示されます。

Loc - Location

各バンクはロケーションが数多く集まって構成されています。ロケーションの数はバンクの種類によって異なります。

Name

アイテムの名前です。

Category

プログラムのカテゴリーを表示します。

Size

ピアノのファイル・サイズを表示します。これは、ピアノ・パーティションのメ モリー残量をチェックする時などに便利です。なお、サイズはプログラム・リ ストには表示されません。

Ver - Version Number

各サウンドの作成時のバージョン・ナンバーを表示します。古いOSで作成 されたサウンドは新しいバージョンのフォーマットで使用できない場合もあ りますのでご注意ください。

Info

インフォ・エリアはNord Stage 2のメモリー内のピアノにファイルの破損 があった場合や、ファイルが読み込めなかった場合、予期せぬエラーが発 生した場合などのエラー情報を表示します。

Footer Area

フッタ・エリアは本アプリケーションの画面の下部にあります。

Partition Memory Indicator

パーティション・メモリー・インジケーターは、選択したパーティションのメモ リーの使用状況を表示します。赤いエリアは使用中のメモリーで、緑のエリ アは新たにサウンドを追加できる空きスペースです。

Cancel Button

キャンセル・ボタンを使用すると、コマンドなどの処理を中止できます。なお、レストア処理中はキャセル・ボタンは使用できません。

Progress Bars

プログレス・バーは上下2段構成で、上のバーは個々の処理の進行状況を、 下のバーはタスク全体の進行状況をそれぞれ表示します。

Message/Text Area

テキスト・エリアの左側は本アプリケーションのエラー・メッセージや確認事 項が表示されます。

右側のパートはNord Stage 2とコンピュータ、本アプリケーションとの通信状況を表示します。また、Nord Stage 2のOS バージョンもここに表示されます。

最新アップデートやサウンド

Nordウェブサイト(www.nordkeyboards.com) では最新版のNord Sound ManagerやNord Stage 2向けの新しいサウンドなどをご用意 し、みなさまのアクセスをお待ちしております。これらのアイテムはライブ ラリー・エリアから無料でダウンロードできます。

13 MIDI

MIDIインプリメンテーションについて

Nord Stage 2 では、次の MIDI メッセージの送受信が行えます。

ノート・オン/オフ

• ノート・オンおよびノート・オフの送受信

ピッチ・ベンド

・ ピッチ・ベンド・メッセージの送受信

コントローラー

MIDIメニュー(44ページをご参照ください)で、Nord Stage 2が送受信 できるコントロール・チェンジ・メッセージを選択できます。

- コントロール/エクスプレッション・ペダルを(ORGAN SWELL)インプットに接続した場合、コントローラー4として送受信が行えます。
- コントロール/エクスプレッション・ペダルを(CONTROL PEDAL)イン プットに接続した場合、コントローラー11(エクスプレッション)として送 受信が行えます。
- ・サスティン・ペダルを〔SUSTAIN PEDAL〕インプットに接続した場合、 コントローラー64(サスティン・ペダル)として送受信が行えます。
- その他のフロント・パネル上にあるほとんどのノブやボタンなどのコントローラーも、コントロール・チェンジ・メッセージの送受信ができ、MIDIシーケンサーなどにこれらのコントローラーの動きをレコーディングすることができます。各コントローラーとコントローラー・ナンバーの対応につきましては、55ページをご参照ください。

キーボード・ベロシティ

Nord Stage 2 は、キーボード・ベロシティ・メッセージの送受信ができま す。オルガン・サウンドは、受信したMIDIベロシティ・データに関係なく常に 一定のレベルで発音します。また、リリース・ベロシティの送信はできます が、受信はできません。

アフタータッチ

Nord Stage 2のキーボードはアフタータッチ・メッセージ(チャンネル・プレッシャーとも呼ばれます)の送信を行えます。アフタータッチは鍵盤を弾いてさらに鍵盤を押し込むと発生し、パラメーターをコントロールする信号に使用できます。

プログラム・チェンジ

MIDIメニューで、プログラム・チェンジ・メッセージの送信または受信(あるいはその両方)の設定が行えます。プログラム・チェンジ・メッセージの0~99で選択したバンクのプログラムに、100~104で5個のライブ・メモリーにそれぞれ対応しています。

バンク・セレクト

Nord Stage 2の4つのプログラム・バンクは、バンク・セレクト・メッセージ (CC 0、value 0、CC 32 value 0、1、2、3(0~3はバンクA~D))を 受信することで選択することができます。Nord Stage 2のバンク、プログ ラムをMIDI経由で選択する場合、バンク・セレクトをプログラム・チェンジ・ メッセージ(0~99)の直後に続くようにします。

Nord Stage 2とMIDIについて

Nord Stage 2のMIDI 機能は、可能な限りフレキシブルになるように設計されています。MIDIを使うシチュエーションには様々なシーンが考えられますが、ここでは代表的な4つのシナリオをご紹介しましょう。

外部MIDI機器をコントロールする

Nord Stage 2のエクスターナル・セクションは、本機をマスター・キーボードとして外部MIDI機器をライブ時などの機材セットに簡単に組み込めるように設計されたものです。そのため、エクスターナル・セクションのほとんどパラメーターはプログラムごとに保存することができ、本機でプログラムを切り替えた時に外部MIDI機器のセッティングも自動的に変更できるよう、様々なMIDIメッセージを送信することができます。

エクスターナル・セクションは、他のインストゥルメント・セクションと同様に スプリットやレイヤーを作成することができます。また、鍵盤を使用せず、フ ロント・パネルのみをコントローラーとして使用するセッティングなど、自由 度の高い設定を行えます。さらに、2つのスロットを使用すれば、2台の外 部MIDI機器をコントロールすることも可能です。

スロットA/Bでそれぞれ異なるMIDIチャンネルを設定できます。「Off(デフォルト値)」以外の設定にすると、そのチャンネルでMIDIメッセージを送信します。

外部MIDIキーボードを使用する

Nord Stage 2は、外部MIDIキーボードからコントロールしたり、本機の キーボードと併用することも簡単に行なえます。最もシンプルな方法は デュアルKB機能です。デュアルKBをオンにすると、本機のキーボードでス ロットAを、外部キーボードやペダル鍵盤、あるいはシーケンサーなどでス ロットBを演奏できます。

この時に必要となるのは、デュアルKBのMIDIチャンネルがお使いの外部 キーボードと合っているかどうか、そして使用するプログラムでデュアル KB機能がオンになっているかどうかの2点を確認するだけです。デュアル KB機能の詳細につきましては15ページをご参照ください。

MIDIでレコーディングする

デフォルトではスロットA/BのMIDI チャンネルは1と2に設定されています。これは本機での演奏をMIDIでレコーディングし、再生したときにMIDI チャンネルを変更しなくてもそのまま再生できるようにするためです。

鍵盤の演奏だけでなく、ペダルやモジュレーション・ホイール、ピッチ・ス ティック、フロント・パネルのノブやボタンの動きもMIDIでレコーディングす ることができます。

シーケンサーの設定が、入力されたMIDIデータを自動的に本機に戻すようになっている場合、Nord Stage 2側でMIDIローカルをオフにし、本機の鍵盤部と音源部が接続されていない状態にする必要がある場合もあります。

Nord Stage 2を音源として使う

本機のインストゥルメント・セクションはそれぞれ別のMIDIチャンネルで受信することができます。つまり、2つのピアノ・パート、2つのシンセ・パートに 二段鍵盤のオルガン・パートという複雑なアレンジを作ることが可能なので す。本機をマルチティンバー音源として使用する際のヒントをいくつかご紹介しましょう:

- •パネルA、BのMIDIチャンネルをオフにします。
- 各インストゥルメントのMIDIチャンネルをそれぞれ別のチャンネルにします(オルガンA、オルガンB、ピアノA、ピアノB、シンセA、シンセB)。
- (SHIFT)ボタンを押しながら(KB ZONE SELECT)ボタンを押して MIDI Input Only モードにします。この設定はインストゥルメントごとに 行います。MIDI Input Onlyモードになると、(KB ZONE SELECT)ボ タンにある緑のLEDがすべて消灯します。
- エクスターナル・セクションをオンにし、MIDIチャンネルを選択します。
 これでエクスターナル・セクションからシーケンサーやコンピュータに
 MIDIデータを送信できます。
- シーケンサーの各MIDIトラックのMIDIチャンネルをNord Stage 2の 各インストゥルメントのMIDIチャンネルと合わせます。シーケンサーの 各MIDIトラックのMIDIチャンネルが変更できない場合は、エクスター ナル・セクションのMIDIチャンネルを、音源として使用したい本機のイン ストゥルメント・セクションと同じチャンネルに設定します。

ローカル・オン/オフ

ローカル・オフは本機の鍵盤部と音源部が接続されていない状態にする設定です。これは例えば、本機からMIDIシーケンサーにMIDIデータを送り、シーケンサーから本機にMIDIデータがそのまま「エコー・バック」された際にMIDIがループしてしまい、データが2重になってしまう「ダブルトリガー」現象を防きたい時などに使用します。ローカル・オン/オフの設定はMIDIメニューで行います。詳しくは44ページをご参照ください。

パニック

Nord Stage 2がMIDI セットアップ中に音が止まらなくなってしまったら、 (SHIFT)ボタンを押しながら(PANIC)ボタンを押します。この操作をす ると、内部的にオール・ノート・オフが生成され、止まらなくなった発音を強 制的に停止させます。

USB MIDI

Nord Stage 2とシーケンサーを接続するには、2通りの方法があります。 ひとつはMIDI端子同士をMIDIケーブルで接続するトラディショナルな方 法、もうひとつはコンピュータなど、MIDI端子のないシーケンサーと接続 するためにUSBポート同士を USB ケーブルで接続する方法です。

Windows XP、Vista、Windows 7のコンピュータをお使いの場合、 Nord v3.x USB Driverが必要となります。このドライバーはコンピュー タを Nord Stage 2と接続し、インターネットに接続してWindowsアッ プデートで入手することができます。また、本機の付属DVDやNordウェブ サイト(www.nordkeyboards.com)からも入手できます。

Mac OS Xをご使用の方は、特にドライバーは不要です。

MIDIコントローラー・リスト

Nord Stage 2 パラメーター	MIDI CC ナンバー
Organ Preset II	3
Organ Swell	4
Organ Drawbar 1	9
Organ Drawbar 2	14
Organ Drawbar 3	15
Organ Drawbar 4	16
Organ Drawbar 5	17
Organ Drawbar 6	18
Organ Drawbar 7	19
Organ Drawbar 8	20
Organ Drawbar 9	21
Organ Percussion Enable	22
Organ Model	23
Organ Vibrato Type	24
Organ Vibrato Enable	25
Organ Percussion Harmonic	26
Organ Percussion Speed	27
Organ Percussion Level	28
Organ Octave Shift	99
Organ Level	100
Organ Enable	100
	101
Piano Type	8
Piano Model	29
Piano Slot Detune	5
Clav FQ 1	30
Clav EQ 2	31
Clav Model/Type	65
Piano Dynamics	33
Piano Acoustic	98
Piano Octave Shift	105
Piano I evel	106
Piano Enable	107
Piano Pedal Noise	108
Synth Octave Shift	111
Synth Level	112
Synth Enable	113
Synth Glide Rate	34
Synth Arp On/Off	109
Synth Arp Mst Clk	12
Synth Arp Rate	102
Synth Arp Pattern	103
Synth Arp Range	104
Synth Voice Mode	36
Synth Unison	37
Synth Vibrato Mode	38
Synth Mod Envelope Attack	39
Synth Mod Envelope Decav	40
Synth Mod Envelope Mode	41
Synth Mod Envelope Velocity	42
	l

Nord Stage 2 パラメーター	MIDI CC ナンバー
Synth LFO Rate	115
Synth LFO Waveform	116
LFO Master Clk	13
Synth Oscillator Mode	43
Synth Oscillator Shape	45
Synth Oscillator Shape Mod	46
Synth Filter Frequency	48
Synth Filter Resonance	49
Synth Filter Vel/Env Mod	2
Synth Filter LFO Mod	51
Synth Filter KBD (KB Track)	52
Synth Filter Type	53
Synth Amp Envelope Attack	54
Synth Amp Envelope Decay	55
Synth Amp Envelope Mode	56
Synth Amp Envelope Velocity	57
Effect 1 Type	60
Effect 1 Source	61
Effect 1 Amount	62
Effect 1 Rate	63
Effect 1 Enable	69
Effect 1 Mst Clk	117
Effect 2 Type	70
Effect 2 Source	71
Effect 2 Amount	72
Effect 2 Rate	73
Effect 2 Enable	74
Effect 2 Mst Clk	118
Delay Destination	75
Delay Amount	76
Delay Rate	77
Delay Feedback	78
Delay Ping Pong on/off	79
Delay Enable	80
Delay Mst Clk	119
AmpSim Type	81
AmpSim Destination	90
AmpSim Drive	83
AmpSim Bass EQ	84
AmpSim Mid amount EQ	85
AmpSim Mid Rage	6
AmpSim Treble EQ	86
AmpSim Enable	87
Rotor Destination	88
Rotor Drive	89
Rotor Speed	82
Rotor Stop	91
Rotor Enable	92
Compressor Amount	93
Comressor Enable	94

Nord Stage 2 パラメーター	MIDI CC ナンバー
Reverb Amount	95
Reverb Size	96
Reverb Enable	97
Pedal Sustain	64
Pedal Latch	66
Pedal Soft	67
Organ Swell Pedal	4
Ctrl Pedal	11
Rotor Speed Pedal	82

MIDIインプリメンテーション・チャート

ファンクション		送信	受信	備考
ベーシック・チャンネル		1–16	1–16	
デフォルト・チャンネル		1–16	1–16	
モード	デフォルト	モード3	モード3	
	メッセージ	×	×	
	その他			
ノート・ナンバー		0-127	0-127	
	トゥルー・ボイス			
ベロシティ	ノート・オン	○, v = 1-127	○, v = 1-127	
	ノート・オフ	○, v = 1-127	○, v = 1-127	
アフタータッチ	+-	×	×	
	チャンネル	0	0	
ピッチ・ベンダー		0	0	
コントロール・チェンジ		0	0	
プログラム・チェンジ		○、1−127	○、1−127	
トゥルー				
システム・エクスクルーシブ		0	0	
システム・コモン	ソング・ポジション	×	×	
	ソング・セレクト	×	×	
	チューン	×	×	
システム・リアルタイム	クロック	×	×	
	コマンド	×	×	
その他	ローカル・オン / オフ	×	×	
	オール・ノート・オフ	×	×	
	アクティブ・センス	×	×	
	リセット	×	×	
ナンバー	トゥルー・ボイス			

Mode 1: Omni On, Poly - Mode 2: Omni O, Mono - Mode 3: Omni Off,

Poly - Mode 4: Omni Off, Mono - O = Yes - X = No

Model: Nord Stage 2 OS v1.x Date: 2011-02-01

付録:接続について



オーディオの接続

ヘッドフォン

ヘッドフォンを接続します。ジャックは標準ステレオ・ジャックです。

オーディオ・アウト1-4

4つのオーディオ・アウトプット(CH OUT1~4)はすべてライン・レベル のアンバランス接続です。本機をオーディオ機器にステレオで接続する場 合、CH1およびCH2を使用します。ジャックはすべて標準ジャックです。接 続はオーディオ・ケーブルでアンプやレコーディング機器に接続します。

CH3およびCH4はインディビデュアル・アウトとして、ステレオまたはモノ ラルで使用できます。この設定はシステム・メニューで行います(42ページ をご参照ください)。

オーディオ接続の原則:

- すべての接続が済んでからアンプの電源を入れます。
- ・電源を入れる時は、アンプの電源を最後に入れます。
- ・電源を切る時は、アンプの電源を最初に切ります。
- ▲ 大音量での使用は、難聴など聴覚に重大な問題を引き起こす恐れがありますので、音量には十分ご注意ください。

モニター・イン

メトロノームやMP3プレイヤー、CDプレイヤーなどをこの端子に接続し、 本機のヘッドフォンからモニターすることができます。メトロノームを使っ た練習や、MP3やCDの好きな曲に合わせて演奏できます。端子はミニ・ス テレオ・ジャックです。

モニター・インに入ったオーディオ信号は本機のエフェクト・セクションには入りません。また、本機のアウトプット1~4にも流れず、ヘッドフォンでのみモニターできます。

USBの接続

Nord Stage 2のOSアップデートやNord Sound Managerを使ってピアノ・サウンドを入れ替える時に、本機とコンピュータをUSB接続します。

また、Nord Stage 2はUSBインターフェイスを経由してMIDIデータの 送受信が行えます。

 Microsoft Windows OS(XP、Vista、7)を使用しているコンピュータと 本機をUSB接続する際には、USBドライバーが必要になります。このドラ イバーは本機をコンピュータをUSBケーブルで接続し、インターネットに接 続すると、自動的にインストールされます。手動でインストールする場合は、 本機の付属DVDに収録されているUSBドライバーを、またはNord ウェブ サイト(www.nordkeyboards.com)からダウンロードできます。

MIDIの接続

MIDI IN

外部キーボードやコンピュータなどからMIDIデータを受信する場合、MIDI IN端子を使用します。

MIDI OUT

本機のキーボードやパネルから外部のMIDI音源モジュールやコンピュー タなどにMIDIデータを送信する場合、MIDI OUT端子を使用します。

譜面台

Nord Stage 2 HA88、HA76モデルには、譜面台(Music Stand EX: 別売オプション)用取り付けブラケットがリアパネルに付いています。

ペダルを接続する

Nord Stage 2には4つのペダル・インプットがあります(コントロール・ペ ダル・インプット(本機の様々なパラメーターにアサインしてコントロール します)、オルガン・スウェル・インプット、サスティン・ペダル・インプット、ロー ター/ラッチ・インプット)。また、インストゥルメント別に効果のオン/オフ切 替ができます。接続方法は下図を参考にしてください。

コントロール・ペダル・インプットやオルガン・スウェル・インプットに接続する エクスプレッション・タイプのペダルを接続する時には、ステレオ・プラグ仕 様のステレオ・ケーブルをご使用ください。また、ペダル側のジャックもス テレオ・ジャックであることをご確認ください。エクスプレッション・ペダルは 各社各モデルで特性が異なり、本来はペダルの特性に合わせて設定を変 更する必要がありますが、簡単に設定できるように主なペダル(Roland、 Yamaha、Korg、Fatar)のプリセットを本機に内蔵しました。これらのペダ ルをご使用の際は、システム・メニューでプリセットを選ぶだけで設定は完 了です。詳しくは43ページをご参照ください。



オルガン・スウェル・インプット

エクスプレッション・ペダルをオルガン・スウェル・インプットに接続すること ができます。B3オルガン・モデルでは、スウェル・コントロールによる音量変 化はもちろんのこと、周波数特性も微妙に変化するところまで忠実に再現 しています。また、オルガン・スウェル・インプットにペダルでNord Stage 2の全体音量もコントロールしたい場合は、システム・メニューで設定する ことも可能です。

ローター・スピード・ペダルを使用する

ローター/ラッチ・インプットにペダルを接続してロータリー・エフェクトのス ロー/ストップとファストを切り替えることができます。この設定がデフォル ト設定ですが、この端子に接続したペダルでホールドやトグル・モードで使 用したい場合は、システム・メニューで設定することも可能です。

ラッチ・ペダルを使用する

ローター/ラッチ・インプットにモーメンタリー・ペダルを接続して、選択した インストゥルメントのラッチ・ペダルとして使用できます。この機能はインス トゥルメントごとにオン/オフ設定がシステム・メニューで行えます。

サスティン・ペダル

Nord Stage 2にはサスティン・ペダル・インプットがあります。このイン プットにNordペダル(HA88、HA76モデルに付属)やRoland DP-6、 Yamaha FC-4などの一般的なモーメンタリー・ペダルを接続します。

Nord Triple Pedal

Nord Stage 2はNord Triple Pedal(別売オプション)に対応していま す。このペダルを接続して使用するには、システム・メニューでの設定が必 要となります。詳しくは42ページをご参照ください。



Nord Triple Pedalの標準ステレオ・コネクターを本機のサスティン・ペダル・インプットに接続します。

3つのペダル

Nord Triple Pedalは、3つのペダルを1つのユニットにまとめた多機能ペダルです。

右のペダルはサスティン・ペダルです。このペダルを踏むと、ペダルを離すまですべての音にサスティンがかかります。このペダルはまた、ペダル・ノイズ機能やハーフ・ペダル機能もサポートしています。

左のペダルはソフト・ペダル、別名ウナ・コルダです。このペダルを踏むと、 すべての音の音量がわずかに小さくなり、同時に音色も少しだけ柔らかく なります。

センターのペダルはソステヌート/ラッチ・ペダルです。このペダルを踏むと、その時弾いていた音だけにサスティンがかかり、その他の音にはサスティンがかかりません。

この機能はインストゥルメントごとにオン/オフを設定できます。(SHIFT) ボタンを押しながら、設定したいインストゥルメントの右の(OCTAVE)ボ タンを押します。(LATCH PED)LED が点灯したら設定完了です。

|| 付録:ファクトリー・プリセット

ファクトリー・プリセットとOS

インターナル・メモリー

Nord Stage 2のオペレーティング・システム、プログラム、ピアノ、サン プルはフラッシュ・メモリーに内蔵されています。フラッシュ・メモリーは電 源を切ってもメモリー内容をキープし続けるメリットがあるほかに、メモ リーの内容をいつでも書き換えることができるという大きなメリットもあり ます。つまり、OSのアップグレードやプログラムをコンピュータやシーケン サーから本機にダウンロードすることができ、しかもハードウェアの交換な どは一切不要なのです。本機はまた、USB端子を装備し、ピアノやサンプ ルのダウンロードもクイックかつ簡単に行なえます。本機のメモリー容量 はピアノ用が約500MB、サンプル用が約384MBあります。

Nord Stage 2の内蔵サウンド・メモリーは4バンク、20ページ、5プログラムの合計400プログラムです。また、5個のライブ・プログラムがあり、これらはエディットをするとその場で自動的に保存作業を行い、電源を切ってもその内容がキープされます。さらに、シンセ・セクションは独自に300個のシンセ・サウンドをメモリーすることができます。

Nord Stage 2は、工場出荷時の状態ではプログラム・バンクAと同じ内容 がバンクDにも保存されていますので、どちらかのバンクをエディットして 上書き保存しても、どちらかはファクトリー・プリセットのまま残すことがで きます。

ファクトリー・プリセット

Nord Stage 2のファクトリー・プログラムはすべて書き換え可能です。 キープしておきたいプログラムを誤って上書きしてしまうことがないよう に、定期的にプログラムのバックアップをコンピュータにとっておくことを お勧めします。この作業はNord Sound Managerで行えます。

工場出荷時の状態に戻す

Nord Stage 2の工場出荷時のメモリー内容は、本機の付属DVDにNord Sound Managerのバックアップ・ファイル形式で収録されています。ま た、Nord ウェブサイト(www.nordkeyboards.com)からダウンロードす ることも可能です。バックアップ・ファイルのレストア作業の詳細につきまし ては、50ページのNord Sound Managerチャプター、「Restore」の項 目をご参照ください。

OSアップグレード

Nord Stage 2の最新オペレーティング・システムはNordウェブサイト (www.nordkeyboards.com)からダウンロードできます。最新OSに は機能の改良の他に新機能が追加されることもありますので、定期的に Nordウェブサイトをチェックされることをお勧めします。

|| 索引

英数

B3モデル 23 B3ビブラート 24 Farfisaモデル 25 FMアルゴリズム 31 KBゲート 21 KBトラック 33 KBゾーン・セレクト 20 LFO 34 MIDIイン 57 MIDIインジケーター 17 MIDIアウト 57 Voxモデル 25

ア行

アコースティックス 28 アタック 34 アップロード 48 アルペジエイター 35 アルペジオ 35 アンプ・エンベロープ 34 アンプ・シミュレーター 38 アンプ・モデル 38 イグジット 16、51 イコライザー 38 インサート 18 インバート・セレクション 51 インフォ 52 ウェーブフォーム・セレクター 30 ウェーブテーブル 32 エクスターナル・メニュー 44 エクスターナル・セクション 40 エフェクト 26、35 オート・パン 37 オート・ワウ 37 オシレーター(シンセサイザー) 29 オシレーター・シンク 30 オクターブ・レンジ(アルペジオ) 35 オクターブ・シフト 21 オルガン・イニシャライズ 18 オルガン・スプリット 18 オルガン・プリセット 24 オルガン・モデル 23 オン/オフ・ボタン 20

カ行

カーソル 18
カテゴリー 17
キャンセル 52
キュー 48
グライド 35
クラビネット 27
クラビネットEQ 28
クリーン・デリーテッド・スペース 51
コーラス 38
コンプレッサー 39

サ行

サイズ 52 サウンド・アップ 50 サウンド・アップロード 51 サウンド・イニシャライズ 35 サウンド・ダウン 50 サウンド・メニュー 43 サスティン・ペダル 21 三角波 30 サンプル 32 シェイプ 29 シェイプ・モジュレーション 30 システム・メニュー 42 シフト 16 シンセ・イニシャライズ 18 スキップ・サンプル・アタック 32 ストップ・モード 39 ストリング・レゾナンス 28 ストリング・レゾナンス・レベル 43 スプリット・キーボード 19 スロット・ボタン 15 スロット・デチューン 28 スロット・エフェクト 36 セレクト・オール 51 ソート・モード 18 ソステヌート 7、28、58

夕行

ダイナミクス 28 ダウンロード 49 ディケイ 34 ディレイ 38 ディレクション 35 デュアルKB 15、22 デュアル・スロット 21 デリート 18、50、51 転送する 48 ドライブ 38 トランスポーズ 15 トリプル・ペダル 28 トレモロ 37 ドローバー 23

ナ行

ノイズ 30 ノコギリ波 30 ノッチ 33

八行

パーカッション 24 パーティション・メモリー 52 ハーフ・ペダリング 58 ハイパス 33 バイブ 38 パニック 16 バックアップ 50、51 バリュー・ダイアル 17 パルス波 30 バンドパス 33 バンク・ダウン 50 バンク・ダウンロード 51 バンク・アップ 50 バンク・アップロード 51 ピアノ 27、28 ピアノ・イニシャライズ 18 ピアノ・セレクト 27 ピアノ・モデル 27 ピッチ・スティック 21 ビブラート 35 ピンポン 38 フィルター 32 フィルター・フリケンシー・モジュレーション 33 フェイザー 38 フォーカス・ボタン 37 フォーマット 51 フランジャー 38 フリケンシー 33 フリケンシー・モジュレーション 31 プログラム 25 プログラム・ボタン 16 プログレス・バー 52 ペダル・ノイズ 28 ヘッドフォン 57 別名で保存16 ベロシティ 34 ボイス 34 保存 16

マ行

マスター・レベル 59 モジュレーション・エンベロープ 33 モニター・イン 57 モノ・モード 34 モノ・アウトプット 15 モーフ・アサイン 19 モーフの消去 19 モーフ・デスティネーション 19 マスター・クロック 18、37

ヤ行

ユニゾン 35

ラ行

ラッチ・ペダル 21
レガート・モード 35
レベル・エンコーダー 20
ライブ・モード 16
ロード・サウンド 32
ロケーション 52
ローパス 32
リリース 34
リネーム 50、51
レゾナンス 33
レストア 50、51
リバーブ 39
リング・モジュレーション 37
ロータリー 39

ワ行

ワウ 37

Nord Stage 2 仕様

• マスター・レベル・コントロール

- 木製ピッチ・スティック
- モジュレーション・ホイール
- 400プログラム: 4バンク x 20ページ x 5プログラム
- プログラム・カテゴリー
- ・ プログラム・ソート・モード:ナンバー、ABC、カテゴリー
- ライブ・バッファ x 5
- スロット・セットアップ x 2
- ・モーフ・ソースx3:モジュレーション・ホイール、コントロール・ペダル、アフタータッチ
- グローバル・モノ・アウトプット
- プログラマブル・トランスポーズ:±6半音
- ・マスター・クロック機能:マニュアル、外部MIDIクロック、タップ・テンポ
- 内部及び外部MIDIクロック・ソース
- USB-MIDI機能

オルガン・セクション

- ・B3トーンホイール・オルガン、Vox Continental、Farfisaモデル、全鍵発振
- デジタル・コントロール式ドローバー x 9
- パーカッション・コントロール
- ビブラート/コーラス・コントロール
- 1プログラムにつき2つのドローバー・セッティング
- ・2パート・マルチティンバー(デュアル・マニュアル(二段鍵盤)モード)

ピアノ・セクション

- メモリー容量:約500MB
- アコースティック・グランド・ピアノ、アップライト・ピアノ、エレクトリック・ピアノ、 Wurlitzer A200エレクトリック・ピアノ、クラビネットD6、ハープシコード、エレクト リック・グランド・ピアノ(CP-80含む)
- 最大同時発音数: 40~60ボイス
- ベロシティ・カーブ x 4
- クラビネットEQコントロール
- ストリング・レゾナンス機能(第2世代):アコースティック・グランド・ビアノ、アップライト・ピアノで使用可能
- セレクタブル・ピアノ・リリース機能
- ペダル・ノイズ機能(Nord Triple Pedal(別売オプション)にて使用可能、アコース ティック、エレクトリック・ピアノで使用可能)
- スロット・デチューン機能
- 2パート・マルチティンバー

シンセ・セクション

- サンプル・プレイバック・シンセシス:メモリー容量約380MB、最大999サンプル・ インストゥルメント
- アナログ・シンセシス:マルチブル・ウェーブフォーム(デュアルSaw、ハード・シンク、 PWMを含む)
- FMシンセシス:2または3オペレーター式FMシンセシス
- ・ウェーブテーブル・シンセシス:62波形
- ・最大同時発音数:18ボイス
- ユニゾン・コントロール:発音数に影響なく使用可能
- ・エンベロープ・ジェネレーター:アンプ用、モジュレーション用で各1基
- •フィルター部:12/24dBローパス、ハイパス、バンドパス、ノッチ、レゾナンス付き
- LFO:4波形(矩形波、三角波、ランブ波、サンプル&ホールド)、マスター・クロックと 同期可能
- 300パッチ・メモリー
- アルペジエイター:アップ、ダウン、アップ&ダウン、ランダム レンジ:1~4オク ターブ、マスター・クロックと同期可能
- 2パート・マルチティンバー

グローバル・パラメーター

- ・レベル・コントロール
- ・ ゾーン(スプリット・アサイン)コントロール

エフェクト・セクション

- ・エフェクト1: Ring Modulator、Tremolo、Pan、Wah、AutoWah1、Autowah2
- エフェクト2: Flanger、Vibe、Phaser x 2、Choruse x 2
- ディレイ:ピンポン・モード(ステレオ・タップ)可能、タップ・テンポ
- ・スピーカー・シミュレーション: JC、Twin、Small
- オーバードライブ付きチューブ・アンプ・シミュレーション
- 3バンドイコライザー : Bass 100Hz、Mid 200Hz~8 kHz、Treble 4kHz)
- ・ロータリー・スピーカー: 3スピード(Stop, Slow, Fast)、オーバードライブ
- ・エフェクトのRate/Tempoはマスター・クロックと同期可能

マスター・エフェクト

- ・コンプレッサー
- リバーブ:6タイプ(Hall1、2、Stage1、2、Room1、2)

キーボード

- HA88/HA76モデル:ハンマー・アクション・ウェイテッド・キーボード88鍵(A~C)、76鍵(E~G)
- ・SW73モデル:セミ・ウェイテッド・ウォーターフォール・キーボード73鍵(F~F)
- アフタータッチ
- 3スプリット・ゾーン対応(LEDポジション・インジケーター付き)

接続端子

- ・4アサイナブル・オーディオ・アウトプット:標準ジャック(アンバランス)
- ヘッドフォン・アウト:標準ステレオ・ジャック
- モニター・インプット:ミニ・ステレオ・ジャック
- サスティン・ペダル・インプット:標準ジャック(Nord Sustain Pedal、Korg DS-1H、Roland DP-2、DP-6、Yamaha FC-4、FC-5等のモーメンタリー・ペダルを 使用)、サスティン・ペダル・インプットはNord Triple Pedal(別売オプション)に対応
- ローター・ペダル・インブット:標準ジャック(モーメンタリー・ペダルまたはスイッチ・ タイブのペダルを使用)
- ・オルガン・スウェル・インプット:標準ステレオ・ジャック(Korg EXP-2、XVP-10、 Roland EV-5、Yamaha FC-7等のエクスプレッション・ペダルを使用)
- コントロール・ペダル・インプット:標準ステレオ・ジャック(Korg EXP-2、XVP-10、 Roland EV-5、Yamaha FC-7等のエクスプレッション・ペダルを使用)
- MIDI IN, MIDI OUT
- USB : タイプBコネクター
- ・ 電源コード・コネクター

付属品

- ・ダスト・カバー(HA88/76のみ)
- ・サスティン・ペダル(HA88/76のみ)
- ・ 電源コード
- Nord Sample DVD, Nord Piano DVD

• USBケーブル

別売オプション

- Nord Keyboard Stand EX
- Nord Soft Case
- Nord Triple Pedal
- Nord Music Stand EX

外形寸法、重量

- Nord Stage 2 HA88 : 1,297 (W) x 334 (D) x 121 (H) mm, 18.5kg
- Nord Stage 2 HA76 : 1,132 (W) x 334 (D) x 121 (H) mm,16.5kg
- Nord Stage 2 SW73 : 1,111 (W) x 297 (D) x 102 (H) mm,9.7kg

仕様は予告なく変更することがあります。

Steinway、Wurlitzer、Hohner、Clavinet、Farfisa、Vox、Korg、Roland、 Yamaha、Fatarはそれぞれの所有者が保有する商標で、Clavia社とは一切の関係は ありません。また、これらの商標は本機のサウンドや機能を説明するためにのみ使用し ています。